8　都市計画・街づくり

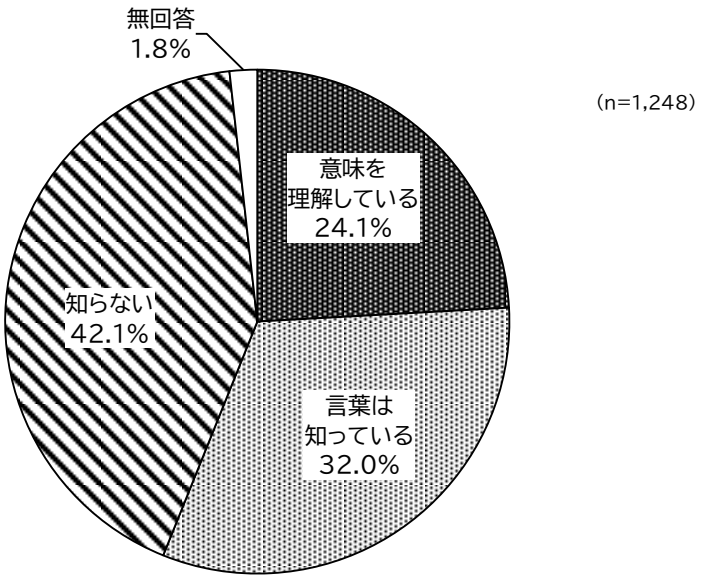
（1）生物多様性の認知度

問27　「生物多様性」について知っていますか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「知らない」が42.1%で最も高くなっている。「言葉は知っている」は32.0%、「意味を理解している」は24.1%である。

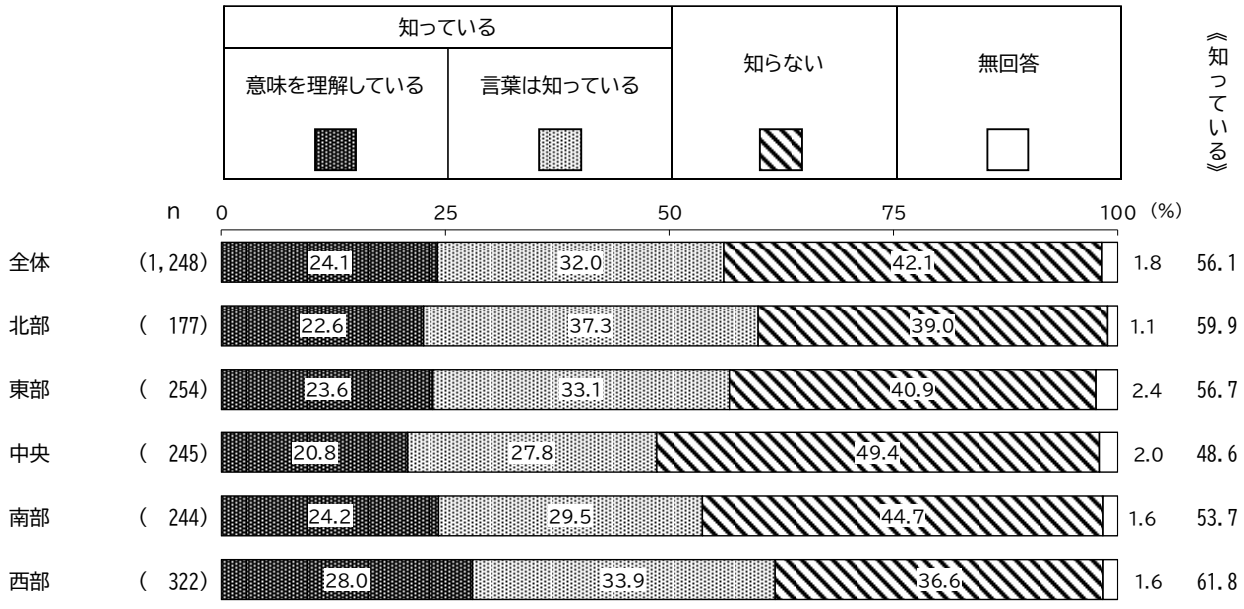
図８－１－１　生物多様性の認知度（全体）



②地区別

「意味を理解している」はすべての地区で３割未満になっている。「言葉は知っている」は北部地区（37.3%）が最も高く、「知らない」は中央地区（49.4%）で最も高くなっている。

図８－１－２　生物多様性の認知度（地区別）

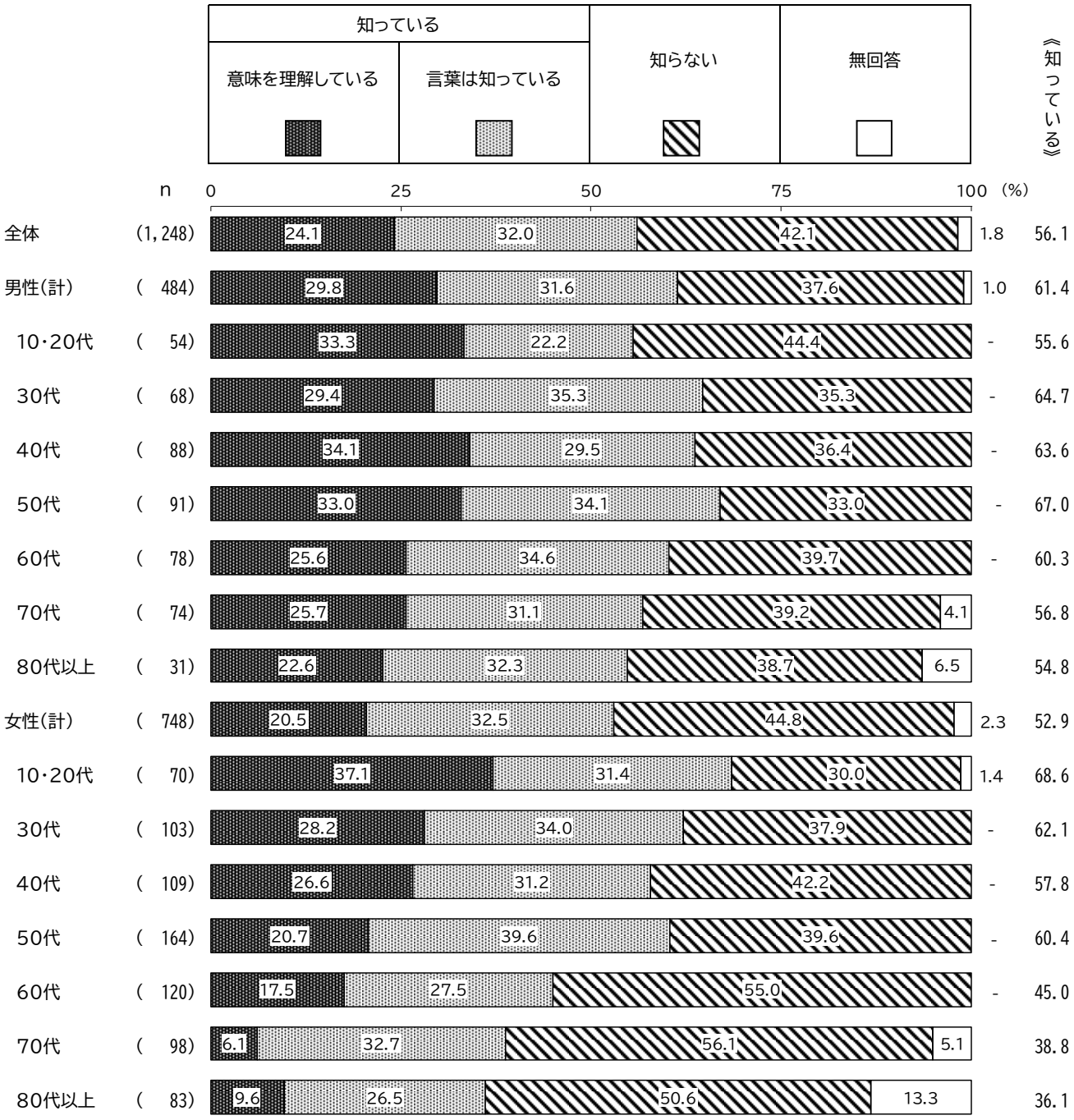


③性・年代別

「意味を理解している」は女性の10・20代（37.1%）が最も高く、次いで男性の40代（34.1%）が高くなっている。「意味を理解している」と「言葉は知っている」を合わせた『知っている』は女性では10・20代が最も高く、年齢が上がるほど低下する傾向がある。男性では50代が67.0%と最も高くなっている。

一方、「知らない」は女性の60代（55.0%）、70代（56.1%）、80代以上（50.6%）で5割を超えている。

図８－１－３　生物多様性の認知度（性・年代別）



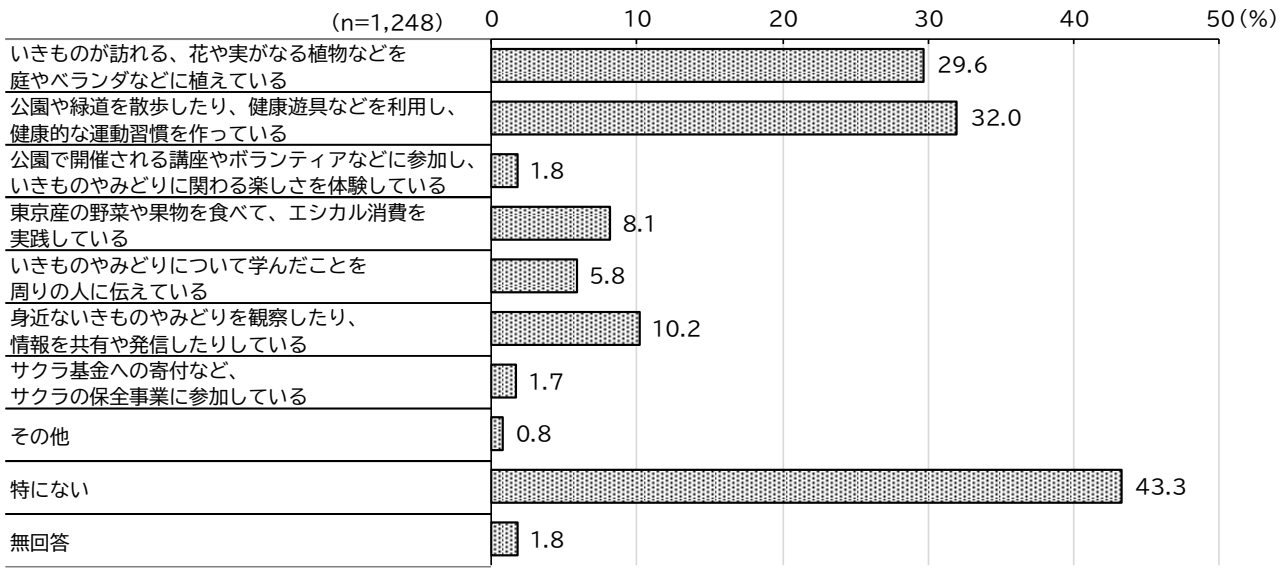
（2）みどりのまちづくりや生物多様性保全活動への取組状況

問28　身近ないきものやみどりを守り育てるために、あなたが現在取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

①全体

「特にない」を除くと「公園や緑道を散歩したり、健康遊具などを利用し、健康的な運動習慣を作っている（32.0%）」が最も高く、次いで「いきものが訪れる、花や実がなる植物などを庭やベランダなどに植えている（29.6%）」となっている。

図８－２－１　みどりのまちづくりや生物多様性保全活動への取組状況（全体）



②地区別

「特にない」を除くと北部地区、東部地区、中央地区では「公園や緑道を散歩したり、健康遊具などを利用し、健康的な運動習慣を作っている（36.2%、30.7%、28.6%）」が最も高くなっている。南部地区、西部地区では「いきものが訪れる、花や実がなる植物などを庭やベランダなどに植えている（29.9%、37.3%）」と最も高くなっている。

表８－２－１　みどりのまちづくりや生物多様性保全活動への取組状況（地区別）

(%)

	n	いきものが訪れる、花や実がなる植物などを庭やベランダなどに植えている	公園や緑道を散歩したり、健康遊具などを利用し、健康的な運動習慣を作っている	公園で開催される講座やボランティアなどに参加し、いきものやみどりに関わる楽しさを体験している	東京産の野菜や果物を食べて、エシカル消費を実践している	いきものやみどりについて学んだことを周りの人に伝えている	身近ないきものやみどりを観察したり、情報を共有や発信したりしている	サクラ基金への寄付など、サクラの保全事業に参加している	その他	特にない	無回答
全　体	1,248	29.6	32.0	1.8	8.1	5.8	10.2	1.7	0.8	43.3	1.8
北　部	177	28.2	36.2	2.3	7.3	7.3	11.9	1.1	0.6	44.1	0.6
東　部	254	24.0	30.7	2.0	7.9	6.3	7.9	0.4	1.2	46.5	3.5
中　央	245	26.5	28.6	1.2	7.3	7.8	13.5	2.9	2.0	47.3	0.8
南　部	244	29.9	27.9	1.6	7.0	6.6	10.7	2.0	0.4	41.4	2.0
西　部	322	37.3	36.6	1.9	9.9	2.8	8.4	1.9	0.0	37.9	1.6

③性・年代別

「特にない」を除くと男女ともに10・20代～40代は「公園や緑道を散歩したり、健康遊具などを利用し、健康的な運動習慣を作っている」が最も高くなっている。男性では60代および70代、女性では50代以降は「いきものが訪れる、花や実がなる植物などを庭やベランダなどに植えている」が最も高くなっている。

表８－２－２　みどりのまちづくりや生物多様性保全活動への取組状況（性・年代別）

（%）

	n	いきものが訪れる、花や実がなる植物などを庭やベランダなどに植えている	公園や緑道を散歩したり、健康遊具などを利用し、健康的な運動習慣を作っている	公園で開催される講座やボランティアなどに参加し、いきものやみどりに関わる楽しさを体験している	東京産の野菜や果物を食べて、エシカル消費を実践している	いきものやみどりについて学んだことを周りの人に伝えている	身近ないきものやみどりを観察したり、情報を共有や発信したりしている	サクラ基金への寄付など、サクラの保全事業に参加している	その他	特にない	無回答
全　体	1,248	29.6	32.0	1.8	8.1	5.8	10.2	1.7	0.8	43.3	1.8
男性 計	484	29.1	34.3	2.7	4.5	6.0	10.3	1.0	1.0	43.4	0.6
10･20代	54	16.7	44.4	1.9	5.6	3.7	9.3	0.0	0.0	40.7	0.0
30代	68	16.2	32.4	4.4	4.4	2.9	5.9	1.5	0.0	54.4	0.0
40代	88	27.3	29.5	1.1	4.5	8.0	14.8	0.0	1.1	48.9	0.0
50代	91	27.5	36.3	3.3	6.6	6.6	8.8	0.0	2.2	37.4	0.0
60代	78	33.3	25.6	0.0	3.8	6.4	7.7	1.3	1.3	47.4	1.3
70代	74	47.3	37.8	6.8	2.7	8.1	14.9	2.7	1.4	35.1	1.4
80代以上	31	35.5	41.9	0.0	3.2	3.2	9.7	3.2	0.0	35.5	3.2
女性 計	748	30.2	30.5	1.2	10.3	5.7	10.2	1.9	0.7	43.2	2.4
10･20代	70	17.1	40.0	0.0	14.3	2.9	7.1	0.0	0.0	50.0	1.4
30代	103	13.6	35.0	0.0	8.7	3.9	5.8	0.0	1.9	52.4	1.0
40代	109	26.6	34.9	4.6	9.2	4.6	19.3	0.0	0.9	44.0	0.0
50代	164	31.1	26.8	1.2	13.4	7.3	9.8	3.0	0.0	45.7	0.6
60代	120	36.7	30.0	0.8	10.8	6.7	8.3	0.8	0.0	39.2	0.8
70代	98	39.8	30.6	1.0	10.2	10.2	11.2	4.1	1.0	35.7	5.1
80代以上	83	44.6	18.1	0.0	3.6	2.4	8.4	4.8	1.2	34.9	10.8

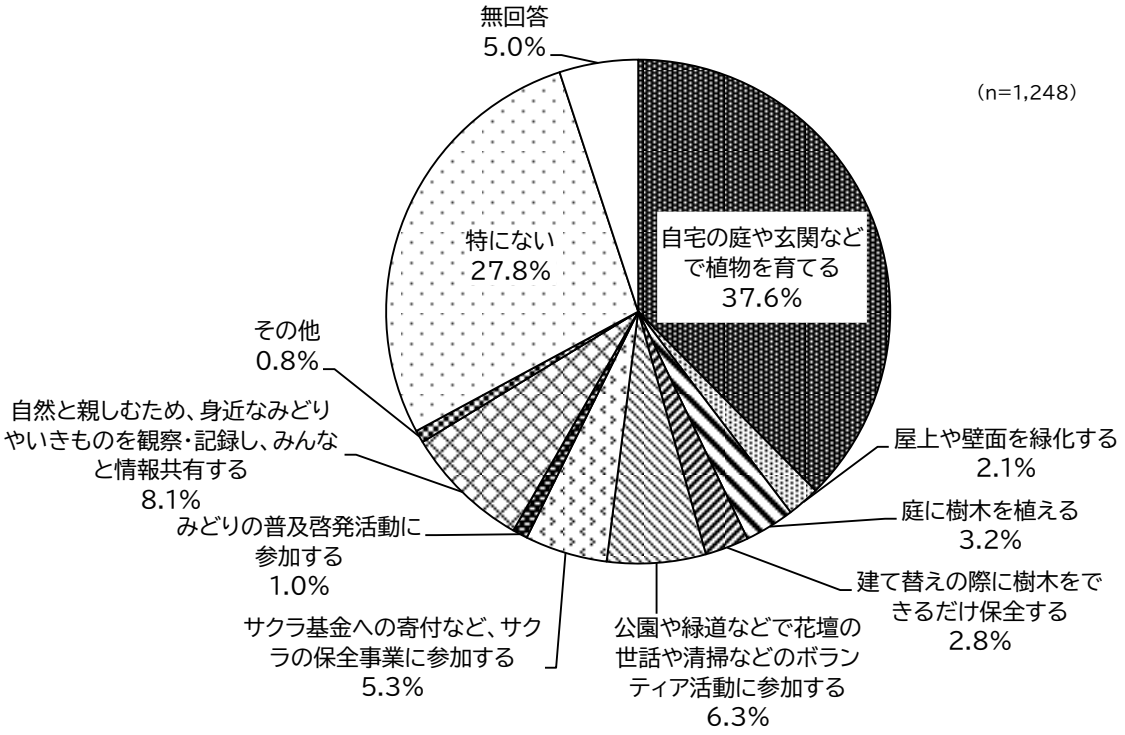
（3）みどりのまちづくりのために協力できること、やってみたいこと

問29　魅力あるみどりのまちづくりのために、あなたが協力できること、やってみたいことは何ですか。（もっともあてはまるもの１つに○）

①全体

「自宅の庭や玄関などで植物を育てる」が37.6%で最も高くなっている。「特にない（27.8%）」を除くと、次いで「自然と親しむため、身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する」が8.1%となっている。

図８－３－１　みどりのまちづくりのために協力できること、やってみたいこと（全体）



②地区別

「自宅の庭や玄関などで植物を育てる」は南部地区（41.4%）で最も高く、東部地区、西部地区も４割前後となっている。

表８－３－１　みどりのまちづくりのために協力できること、やってみたいこと（地区別）

(%)

	n	自宅の庭や玄関などで植物を育てる	屋上や壁面を緑化する	庭に樹木を植える	建て替えの際に樹木をできるだけ保全する	公園や緑道などで花壇の世話や清掃などのボランティア活動に参加する	サクラ基金への寄付など、サクラの保全事業に参加する	みどりの普及啓発活動に参加する	自然と親しむため、身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する	その他	特にない	無回答
全　体	1,248	37.6	2.1	3.2	2.8	6.3	5.3	1.0	8.1	0.8	27.8	5.0
北　部	177	30.5	2.8	2.8	2.3	6.8	6.8	1.1	9.6	1.1	33.9	2.3
東　部	254	38.6	2.0	0.8	1.6	6.7	6.3	0.4	9.8	1.6	27.2	5.1
中　央	245	33.1	3.3	3.3	3.7	5.7	5.7	1.2	7.3	1.2	29.8	5.7
南　部	244	41.4	1.2	5.3	4.1	7.0	5.7	0.8	4.5	0.0	26.6	3.3
西　部	322	40.7	1.6	3.7	2.5	5.9	3.1	0.9	9.3	0.3	24.5	7.5

③性・年代別

「自宅の庭や玄関などで植物を育てる」は女性の60代（51.7%）が最も高く、次いで女性の40代（42.2%）、男性の40代（43.2%）が高くなっている。「自然と親しむため、身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する」は女性の10・20代（15.7%）と最も高くなっている。「庭に樹木を植える」は男性の70代（13.5%）と80代以上（16.1%）でのみ１割を超えている。

表８－３－２　みどりのまちづくりのために協力できること、やってみたいこと（性・年代別）

（%）

	n	自宅の庭や玄関などで植物を育てる	屋上や壁面を緑化する	庭に樹木を植える	建て替えの際に樹木をできるだけ保全する	公園や緑道などで花壇の世話や清掃などのボランティア活動に参加する	サクラ基金への寄付など、サクラの保全事業に参加する	みどりの普及啓発活動に参加する	自然と親しむため、身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する	その他	特にない	無回答
全　体	1,248	37.6	2.1	3.2	2.8	6.3	5.3	1.0	8.1	0.8	27.8	5.0
男性 計	484	33.5	2.9	4.5	3.1	6.2	4.5	0.6	7.4	1.7	31.4	4.1
10･20代	54	29.6	0.0	1.9	5.6	7.4	3.7	0.0	13.0	3.7	33.3	1.9
30代	68	20.6	1.5	2.9	2.9	8.8	8.8	0.0	5.9	2.9	44.1	1.5
40代	88	43.2	6.8	1.1	2.3	2.3	3.4	1.1	4.5	2.3	31.8	1.1
50代	91	31.9	4.4	1.1	1.1	11.0	1.1	2.2	8.8	1.1	34.1	3.3
60代	78	42.3	2.6	2.6	5.1	3.8	6.4	0.0	7.7	0.0	26.9	2.6
70代	74	33.8	1.4	13.5	0.0	5.4	2.7	0.0	5.4	1.4	27.0	9.5
80代以上	31	22.6	0.0	16.1	9.7	3.2	9.7	0.0	9.7	0.0	12.9	16.1
女性 計	748	40.4	1.5	2.4	2.5	6.4	5.7	1.1	8.7	0.3	25.5	5.5
10･20代	70	31.4	1.4	2.9	2.9	7.1	1.4	0.0	15.7	0.0	32.9	4.3
30代	103	33.0	1.0	2.9	1.9	6.8	5.8	0.0	7.8	0.0	38.8	1.9
40代	109	42.2	0.9	0.9	2.8	8.3	4.6	2.8	11.9	0.0	24.8	0.9
50代	164	40.2	1.8	1.2	3.0	10.4	9.1	1.2	7.3	0.6	23.2	1.8
60代	120	51.7	3.3	4.2	0.8	2.5	8.3	0.8	5.8	0.0	19.2	3.3
70代	98	40.8	1.0	1.0	3.1	6.1	3.1	1.0	10.2	0.0	19.4	14.3
80代以上	83	38.6	0.0	4.8	3.6	1.2	3.6	1.2	4.8	1.2	25.3	15.7

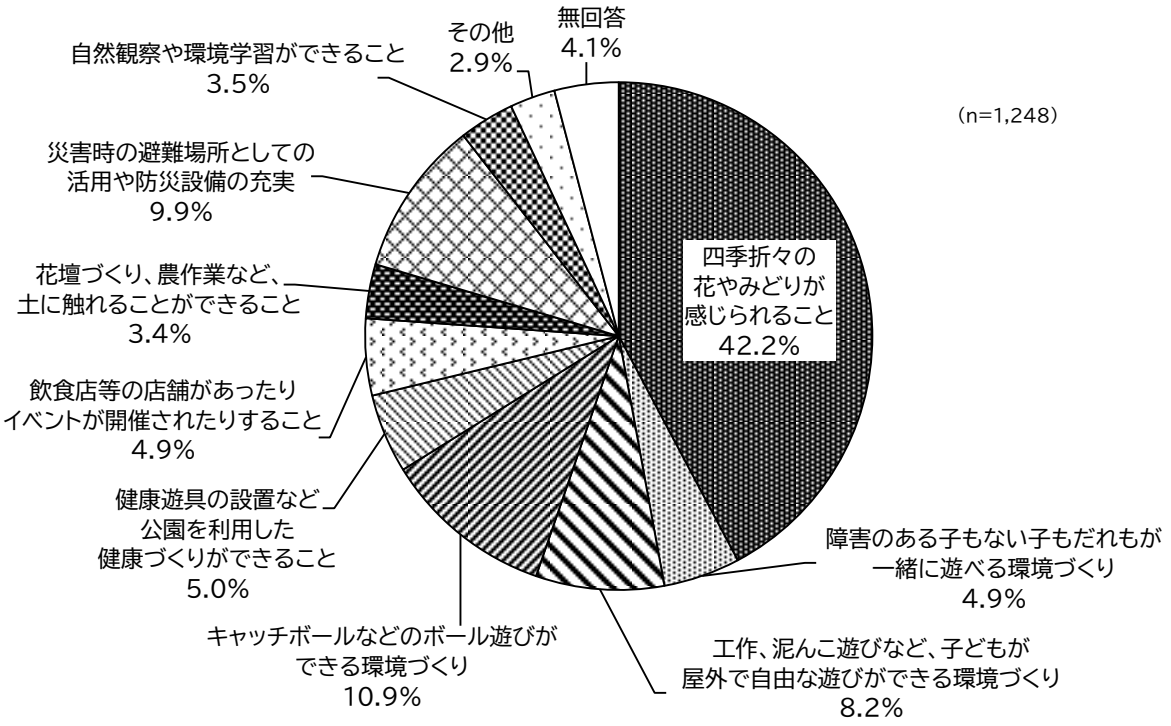
（4）公園の魅力向上のために必要だと思うこと

問30　公園の魅力を向上させるために、あなたが必要だと思うことは何ですか。
（もっとも必要だと思うこと１つに○）

①全体

「四季折々の花やみどりが感じられること」が42.2%で最も高く、次いで「キャッチボールなどのボール遊びができる環境づくり（10.9%）」となっている。

図８－４－１　公園の魅力向上のために必要だと思うこと（全体）



②地区別

「四季折々の花やみどりが感じられること」は西部地区（45.7%）、東部地区（43.3%）がやや高くなっている。「キャッチボールなどのボール遊びができる環境づくり」は北部地区（15.8%）が最も高くなっている。

表８－４－１　公園の魅力向上のために必要だと思うこと（地区別）

（%）

	n	四季折々の花やみどりが感じられること	障害のある子もない子もだれもが一緒に遊べる環境づくり	工作、泥んこ遊びなど、子どもが屋外で自由な遊びができる環境づくり	キャッチボールなどのボール遊びができる環境づくり	健康遊具の設置など公園を利用した健康づくりができること	飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること	花壇づくり、農作業など、土に触れることができること	災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実	自然観察や環境学習ができること	その他	無回答
全　体	1,248	42.2	4.9	8.2	10.9	5.0	4.9	3.4	9.9	3.5	2.9	4.1
北　部	177	37.9	7.9	8.5	15.8	4.0	5.1	3.4	7.9	3.4	2.8	3.4
東　部	254	43.3	4.3	5.5	12.2	5.1	7.5	3.9	9.8	3.9	1.2	3.1
中　央	245	40.8	4.5	8.2	7.3	6.5	4.9	2.4	11.8	3.3	6.5	3.7
南　部	244	41.4	2.9	7.4	14.8	3.3	4.5	4.5	11.5	4.5	2.0	3.3
西　部	322	45.7	5.0	10.9	7.1	5.6	3.1	3.1	8.7	2.5	2.2	6.2

③性・年代別

「四季折々の花やみどりが感じられること」は女性の80代以上（53.0%）が最も高く、女性の50～60代も５割を超えている。「キャッチボールなどのボール遊びができる環境づくり」は男性の10・20代（31.5%）のみ３割を超えている。「工作、泥んこ遊びなど、子どもが屋外で自由な遊びができる環境づくり」は男女ともに10～40代で１割を超えており、男性の50代でも１割を超えている。「災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実」は男女とも60代以上が１割を超えている。

表８－４－２　公園の魅力向上のために必要だと思うこと（性・年代別）

（%）

	n	四季折々の花やみどりが感じられること	障害のある子もない子もだれもが一緒に遊べる環境づくり	工作、泥んこ遊びなど、子どもが屋外で自由な遊びができる環境づくり	キャッチボールなどのボール遊びができる環境づくり	健康遊具の設置など公園を利用した健康づくりができること	飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること	花壇づくり、農作業など、土に触れることができること	災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実	自然観察や環境学習ができること	その他	無回答
全　体	1,248	42.2	4.9	8.2	10.9	5.0	4.9	3.4	9.9	3.5	2.9	4.1
男性 計	484	36.0	5.2	8.9	16.1	6.2	5.2	2.3	8.5	4.5	3.9	3.3
10･20代	54	27.8	1.9	11.1	31.5	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	5.6
30代	68	26.5	2.9	10.3	22.1	5.9	10.3	2.9	2.9	7.4	7.4	1.5
40代	88	36.4	4.5	13.6	21.6	3.4	5.7	1.1	3.4	4.5	4.5	1.1
50代	91	35.2	4.4	11.0	15.4	7.7	6.6	2.2	11.0	2.2	3.3	1.1
60代	78	41.0	5.1	3.8	10.3	9.0	3.8	5.1	10.3	5.1	2.6	3.8
70代	74	41.9	10.8	6.8	2.7	6.8	2.7	0.0	10.8	6.8	4.1	6.8
80代以上	31	45.2	6.5	0.0	9.7	6.5	0.0	0.0	25.8	0.0	0.0	6.5
女性 計	748	46.5	4.4	7.9	7.6	4.0	4.8	4.3	10.8	2.8	3.9	3.3
10･20代	70	40.0	0.0	14.3	8.6	10.0	7.1	5.7	5.7	2.9	3.7	5.6
30代	103	42.7	5.8	11.7	13.6	4.9	6.8	1.9	5.8	1.9	7.4	1.5
40代	109	38.5	8.3	11.0	13.8	3.7	5.5	5.5	4.6	2.8	4.5	1.1
50代	164	51.2	3.7	4.9	7.3	3.0	5.5	4.3	9.8	3.7	3.3	1.1
60代	120	50.8	3.3	5.8	3.3	3.3	4.2	4.2	16.7	4.2	2.6	3.8
70代	98	45.9	5.1	5.1	2.0	5.1	3.1	7.1	15.3	2.0	4.1	6.8
80代以上	83	53.0	3.6	4.8	4.8	0.0	1.2	1.2	18.1	1.2	0.0	6.5

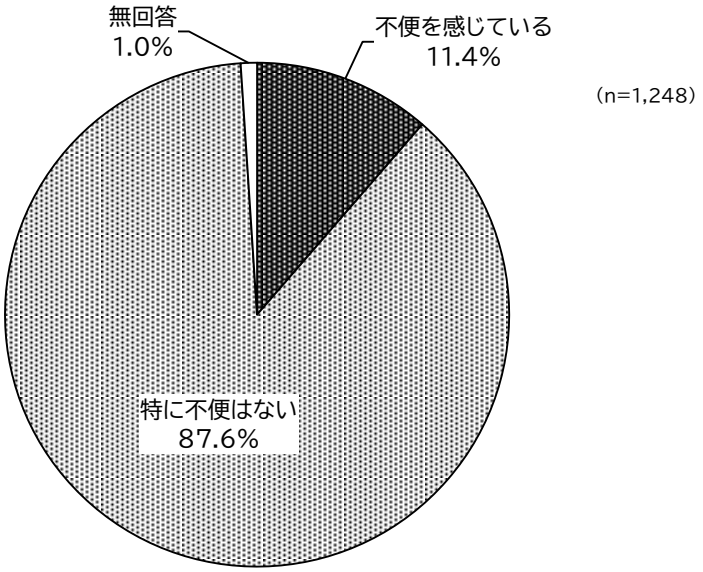
（５）目黒区の地域交通

問31　あなたは、外出時の交通手段に不便を感じていますか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「特に不便はない」が87.6%と約９割になっている。

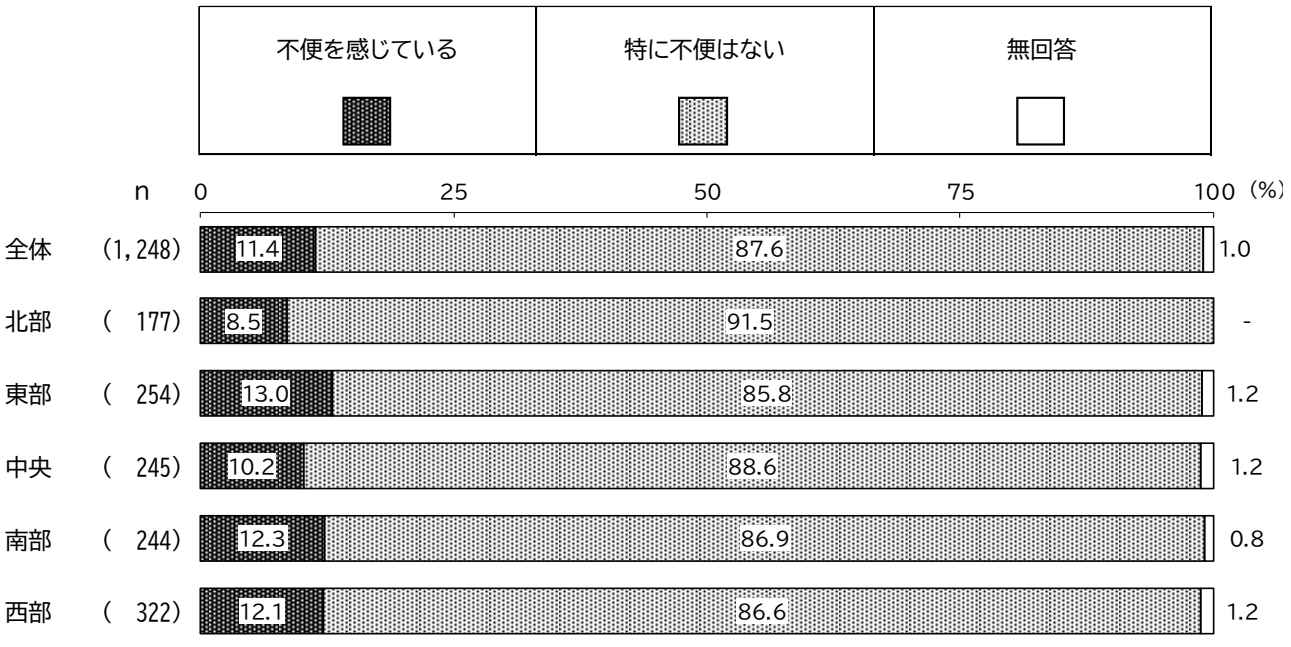
図８－５－１　目黒区の地域交通（全体）



②地区別

すべての地区で「特に不便はない」が８割後半以上になっており、北部地区では９割を超えている。

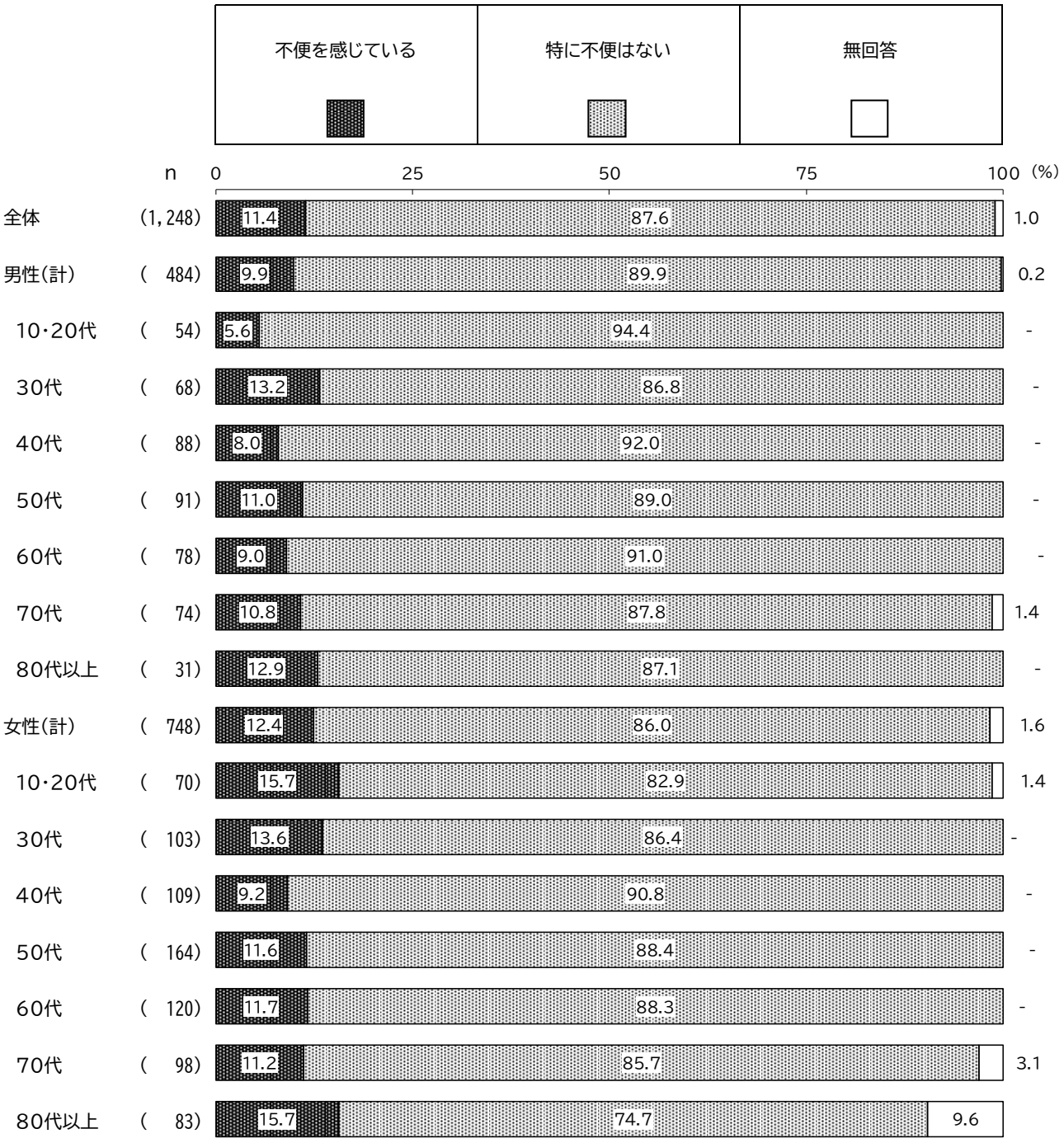
図８－５－２　目黒区の地域交通（地区別）



③性・年代別

「特に不便はない」が女性の80代以上を除いて男女ともにすべての年代で８割後半から８割前半になっている。女性の80代以上は74.7%と８割未満になっている。

図８－５－３　目黒区の地域交通（性・年代別）



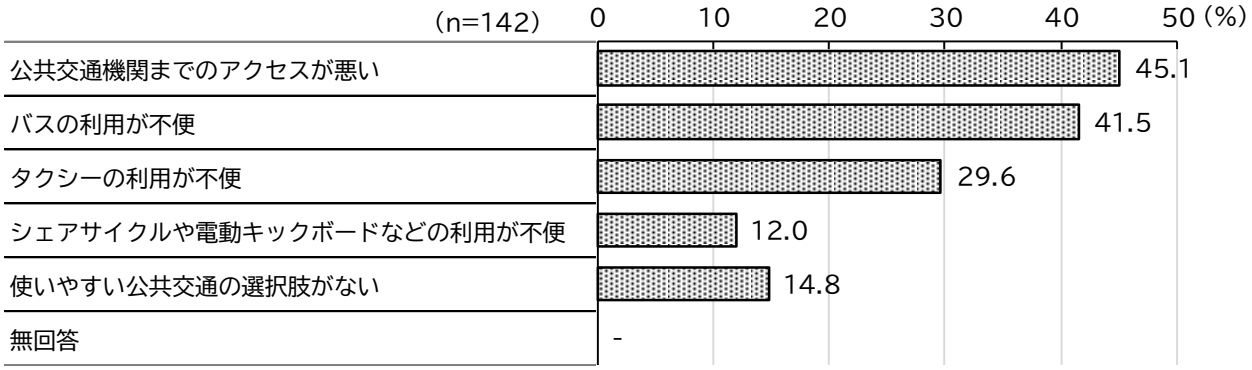
（６）外出時の交通手段に不便さを感じていること

（問31で「不便を感じている」と回答した方にお尋ねします。）
問31-１　あなたが、外出時の交通手段に不便を感じていることは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

①全体

「公共交通機関までのアクセスが悪い」が45.1%と最も高くなっている。次いで「バスの利用が不便（41.5%）」、「タクシーの利用が不便（29.6%）」となっている。

図８－６－１　外出時の交通手段に不便さを感じていること（全体）



②地区別

東部地区、南部地区では「公共交通機関までのアクセスが悪い」が最も高くなっている（48.5%、46.7%）。西部地区では「バスの利用が不便」が最も高くなっている（59.0%）。

表８－６－１　外出時の交通手段に不便さを感じていること（地区別）

（%）

	n	公共交通機関までのアクセスが悪い	バスの利用が不便	タクシーの利用が不便	シェアサイクルや電動キックボードなどの利用が不便	使いやすい公共交通の選択肢がない	無回答
全　体	142	45.1	41.5	29.6	12.0	14.8	0.0
北　部	15	40.0	46.7	33.3	0.0	20.0	0.0
東　部	33	48.5	24.2	30.3	18.2	15.2	0.0
中　央	25	32.0	44.0	32.0	16.0	12.0	0.0
南　部	30	46.7	33.3	26.7	10.0	16.7	0.0
西　部	39	51.3	59.0	28.2	10.3	12.8	0.0

③性・年代別

「バスの利用が不便」は男性で50.0%と、女性と比べて高くなっている。一方で、「タクシーの利用が不便」は女性で32.3%と、男性と比べて高くなっている。

表８－６－２　外出時の交通手段に不便さを感じていること（性・年代別）

（%）

	n	公共交通機関までのアクセスが悪い	バスの利用が不便	タクシーの利用が不便	シェアサイクルや電動キックボードなどの利用が不便	使いやすい公共交通の選択肢がない	無回答
全　体	142	45.1	41.5	29.6	12.0	14.8	0.0
男性 計	48	47.9	50.0	25.0	14.6	16.7	0.0
10･20代	3	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
30代	9	55.6	66.7	11.1	22.2	0.0	0.0
40代	7	42.9	57.1	28.6	28.6	0.0	0.0
50代	10	50.0	40.0	10.0	0.0	20.0	0.0
60代	7	71.4	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0
70代	8	50.0	50.0	50.0	12.5	50.0	0.0
80代以上	4	0.0	75.0	75.0	0.0	0.0	0.0
女性 計	93	44.1	37.6	32.3	10.8	12.9	0.0
10･20代	11	63.6	9.1	27.3	18.2	9.1	0.0
30代	14	42.9	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0
40代	10	70.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0
50代	19	52.6	47.4	26.3	10.5	10.5	0.0
60代	14	28.6	42.9	28.6	0.0	28.6	0.0
70代	11	45.5	54.5	27.3	0.0	18.2	0.0
80代以上	13	15.4	23.1	76.9	0.0	7.7	0.0

9　地球温暖化対策

（1）地球温暖化防止のために優先して行いたいこと

問32　あなたは、地球温暖化を防止するために、今後何を優先して行いたいと思いますか。
（あてはまるもの３つまでに○）

①全体

「節電・節水などの省エネルギー行動」が62.1%で最も高く、次いで「ごみの減量、リサイクル（57.5%）」、「環境に配慮した製品（省エネ家電など）の購入（34.7%）」となっている。

地球温暖化防止のために優先して行いたいことの推移をみると、「節電・節水などの省エネルギー行動」は令和５年より微減、「ごみの減量、リサイクル」は令和５年より微増している。

図９－１－１　地球温暖化防止のために優先して行いたいこと（全体）

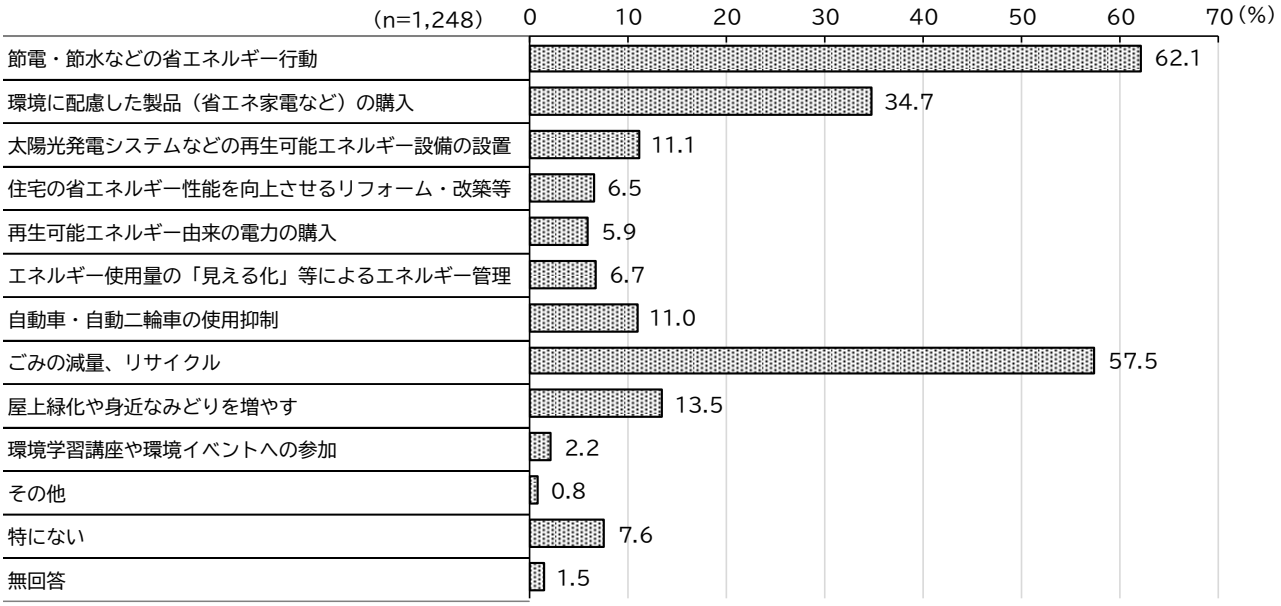


表９－１－１　地球温暖化防止のために優先して行いたいことの推移（全体）

(%)

	n	節電・節水などの省エネルギー行動	環境に配慮した製品(省エネ家電など)の購入	太陽光発電システムなどの再生可能エネルギー設備の設置	住宅の省エネルギー性能を向上させるリフォーム・改築等	再生可能エネルギー由来の電力の購入	エネルギー使用量の「見える化」等によるエネルギー管理	自動車・自動二輪車の使用抑制	ごみの減量、リサイクル	屋上緑化や身近なみどりを増やす	環境学習講座や環境イベントへの参加	その他	特にない	無回答
令和8年	1,248	62.1	34.7	11.1	6.5	5.9	6.7	11.0	57.5	13.5	2.2	0.8	7.6	1.5
令和5年	1,178	63.2	36.1	13.2	7.4	7.0	8.1	9.8	53.5	16.7	1.6	0.9	5.1	2.1
令和2年	1,506	58.4	38.0	12.7	5.8	8.4	5.8	12.5	78.0	16.7	2.1	1.9	4.6	0.5
平成29年	1,195	63.4	33.2	12.5	7.0	7.9	7.2	14.1	65.9	16.8	3.4	1.4	3.2	2.9
平成26年	1,742	69.7	48.3	13.1				15.0	62.3	22.4	1.9	1.1	4.2	1.4
平成23年	1,706	76.0	41.9	15.3				17.6	66.5	24.7	1.8	1.5	1.9	2.1
平成22年	1,849	68.9	42.8	9.1				17.7	75.9	18.2	1.7	1.4	3.2	3.0

②性・年代別

「節電・節水などの省エネルギー行動」は男性の30～40代を除くすべての年代で５割を超えている。「ごみの減量、リサイクル」は各年代とも女性の方が男性より高く、女性の40～80代以上で６割を超えている。「環境に配慮した製品の購入」は男性の10・20代～30代、女性の70代を除くすべての年代で３割を超えている。男性の30代でのみ「特にない」が２割後半になっている。

表９－１－２　地球温暖化防止のために優先して行いたいこと（性・年代別）

（%）

	n	節電･節水などの省エネルギー行動	環境に配慮した製品(省エネ家電など)の購入	太陽光発電システムなどの再生可能エネルギー設備の設置	住宅の省エネルギー性能を向上させるリフォーム･改築等	再生可能エネルギー由来の電力の購入	エネルギー使用量の「見える化」等によるエネルギー管理	自動車･自動二輪車の使用抑制	ごみの減量、リサイクル	屋上緑化や身近なみどりを増やす	環境学習講座や環境イベントへの参加	その他	特にない	無回答
全　体	1,248	62.1	34.7	11.1	6.5	5.9	6.7	11.0	57.5	13.5	2.2	0.8	7.6	1.5
男性 計	484	55.8	34.3	12.6	7.4	7.2	6.0	14.3	50.2	14.0	1.9	1.2	11.2	0.6
10･20代	54	51.9	24.1	16.7	1.9	7.4	3.7	18.5	42.6	16.7	1.9	0.0	9.3	0.0
30代	68	41.2	27.9	4.4	7.4	5.9	7.4	11.8	36.8	7.4	4.4	1.5	27.9	0.0
40代	88	40.9	30.7	12.5	10.2	4.5	8.0	9.1	48.9	18.2	1.1	1.1	13.6	0.0
50代	91	63.7	39.6	14.3	9.9	11.0	3.3	20.9	48.4	16.5	1.1	2.2	8.8	0.0
60代	78	67.9	34.6	9.0	7.7	3.8	7.7	10.3	57.7	9.0	1.3	1.3	9.0	0.0
70代	74	64.9	39.2	17.6	4.1	9.5	5.4	18.9	55.4	17.6	2.7	0.0	4.1	4.1
80代以上	31	61.3	48.4	16.1	9.7	9.7	6.5	6.5	71.0	9.7	0.0	3.2	0.0	0.0
女性 計	748	66.0	35.3	10.2	5.9	4.9	7.2	9.1	61.9	13.0	2.3	0.5	5.3	1.9
10･20代	70	64.3	38.6	11.4	1.4	7.1	8.6	7.1	50.0	15.7	1.4	0.0	7.1	1.4
30代	103	56.3	34.0	9.7	8.7	5.8	7.8	7.8	49.5	9.7	1.0	0.0	8.7	1.0
40代	109	64.2	37.6	9.2	6.4	4.6	5.5	11.0	60.6	13.8	1.8	0.9	3.7	0.0
50代	164	68.9	36.6	8.5	5.5	3.7	6.1	10.4	64.6	14.6	2.4	1.2	5.5	0.6
60代	120	75.0	38.3	12.5	5.8	4.2	7.5	11.7	62.5	11.7	2.5	0.8	3.3	0.0
70代	98	69.4	29.6	10.2	7.1	4.1	6.1	10.2	78.6	10.2	3.1	0.0	2.0	3.1
80代以上	83	59.0	31.3	10.8	4.8	6.0	10.8	2.4	62.7	15.7	3.6	0.0	8.4	9.6

（２）地球温暖化防止のために区に取り組んでほしいこと

問33　地球温暖化を防止するために、区に特に力を入れて取り組んでほしいと思うことは何ですか。（あてはまるもの３つまでに○）

①全体

「再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成」が34.6%で最も高く、次いで「日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供（30.4%）」、「みどりの保全・創出への取組（28.5%）」となっている。

地球温暖防止のために区に取り組んでほしいことの推移をみると、「再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成」は令和５年より微減し、「日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供」は令和５年より微増している。「公共交通機関利用やエコドライブの普及、啓発」は令和５年と同じ17.1%で推移している。

図９－２－１　地球温暖化防止のために区に取り組んでほしいこと（全体）

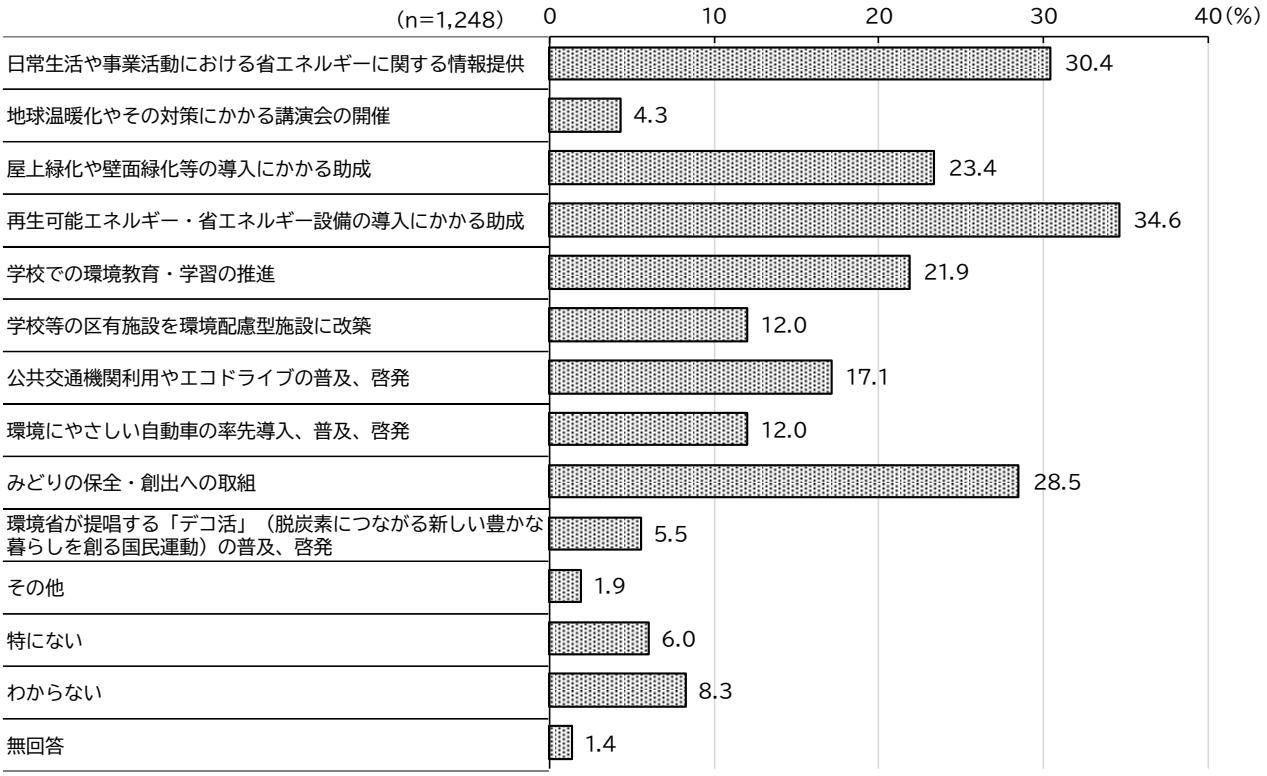


表９－２－１　地球温暖化防止のために区に取り組んでほしいことの推移（全体）

（%）

	n	日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供	地球温暖化やその対策にかかる講演会の開催	屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成	再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成	学校での環境教育・学習の推進	学校等の区有施設を環境配慮型施設に改築	公共交通機関利用やエコドライブの普及、啓発	環境にやさしい自動車の率先導入、普及、啓発	みどりの保全・創出への取組	環境省が提唱する「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の普及、啓発
令和8年	1,248	30.4	4.3	23.4	34.6	21.9	12.0	17.1	12.0	28.5	5.5
令和5年	1,178	29.2	4.8	23.6	37.3	22.8	12.8	17.1	14.0	29.0	
令和2年	1,506	33.2	5.2	25.9	33.8	28.4	15.5	20.0	16.5	27.8	
平成29年	1,195	29.8	5.7	27.3	33.8	28.7	14.3	18.1	17.2	26.7	
平成26年	1,742	32.0	4.0	32.1	36.3	27.8	6.9	16.9	14.6	39.7	
平成23年	1,706	37.8	4.6	35.6	39.0	29.8	6.7	17.0	14.1	37.7	
平成22年	1,849	35.3	5.1	38.5	36.9	29.9	6.5	19.0	13.8	36.3	

	n	環境省が提唱する賢い選択を促す国民運動「クールチョイス」の普及、啓発	その他	特にない	わからない	無回答
令和8年	1,248		1.9	6.0	8.3	1.4
令和5年	1,178	2.8	2.3	3.9	6.7	3.5
令和2年	1,506	4.1	2.5	4.6	5.3	1.3
平成29年	1,195	4.4	2.3	3.3	3.8	4.3
平成26年	1,742		3.0	4.2	4.5	2.9
平成23年	1,706		2.8	3.0	3.3	2.9
平成22年	1,849		2.9	3.7	4.2	2.9

（注）「環境省が提唱する『デコ活』（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の普及、啓発」は今回の調査から新設した選択肢である。また、「環境省が提唱する賢い選択を促す国民運動『クールチョイス』の普及、啓発」は平成 29 年調査より新設した選択肢である。

②性・年代別

「再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成」は男性では50代（44.0%）が最も高く、次いで男性の60代（42.3%）、女性の40代（39.4%）が高くなっている。「日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供」は女性の60代（43.3%）が最も高くなっている。「みどりの保全・創出への取組」は年代が高い世代の方が割合が高く、男性の70代以上と女性の50～70代で３割を超えている。「屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成」は男性の70代以下と女性の70代および50代以下で２割を超えている。

表９－２－２　地球温暖化防止のために区に取り組んでほしいことの推移（性・年代別）

（%）

	n	日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供	地球温暖化やその対策にかかる講演会の開催	屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成	再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成	学校での環境教育・学習の推進	学校等の区有施設を環境配慮型施設に改築	公共交通機関利用やエコドライブの普及、啓発	環境にやさしい自動車の率先導入、普及、啓発	みどりの保全・創出への取組	環境省が提唱する「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の普及、啓発
全　体	1,248	30.4	4.3	23.4	34.6	21.9	12.0	17.1	12.0	28.5	5.5
男性 計	484	24.6	3.9	25.8	35.5	23.1	13.6	16.5	12.2	28.3	5.4
10･20代	54	27.8	5.6	40.7	35.2	14.8	9.3	11.1	11.1	20.4	7.4
30代	68	22.1	2.9	23.5	29.4	26.5	17.6	10.3	10.3	17.6	0.0
40代	88	13.6	3.4	23.9	26.1	23.9	12.5	19.3	11.4	29.5	2.3
50代	91	22.0	2.2	25.3	44.0	22.0	18.7	24.2	9.9	26.4	8.8
60代	78	30.8	2.6	24.4	42.3	20.5	11.5	10.3	15.4	29.5	3.8
70代	74	32.4	8.1	25.7	39.2	25.7	9.5	18.9	12.2	41.9	8.1
80代以上	31	29.0	3.2	16.1	25.8	32.3	16.1	19.4	19.4	32.3	9.7
女性 計	748	34.1	4.7	21.5	34.1	21.3	10.8	17.5	11.9	28.7	5.7
10･20代	70	31.4	1.4	31.4	32.9	17.1	11.4	10.0	14.3	24.3	2.9
30代	103	25.2	2.9	26.2	35.0	16.5	13.6	16.5	8.7	18.4	1.0
40代	109	30.3	4.6	24.8	39.4	28.4	16.5	17.4	10.1	26.6	2.8
50代	164	32.3	5.5	20.7	35.4	21.3	12.2	22.6	12.2	32.9	5.5
60代	120	43.3	4.2	15.8	35.8	19.2	7.5	20.0	14.2	33.3	9.2
70代	98	39.8	6.1	20.4	29.6	24.5	8.2	17.3	16.3	32.7	9.2
80代以上	83	34.9	7.2	13.3	26.5	20.5	4.8	12.0	7.2	28.9	9.6

	n	その他	特にない	わからない	無回答
全　体	1,248	1.9	6.0	8.3	1.4
男性 計	484	2.3	8.7	7.2	0.4
10･20代	54	0.0	9.3	5.6	0.0
30代	68	2.9	11.8	7.4	1.5
40代	88	1.1	13.6	8.0	0.0
50代	91	3.3	6.6	8.8	0.0
60代	78	2.6	7.7	7.7	0.0
70代	74	2.7	5.4	4.1	1.4
80代以上	31	3.2	3.2	9.7	0.0
女性 計	748	1.7	4.4	9.0	1.7
10･20代	70	0.0	5.7	11.4	0.0
30代	103	1.0	7.8	12.6	0.0
40代	109	3.7	5.5	5.5	0.0
50代	164	2.4	4.3	4.3	0.6
60代	120	1.7	3.3	10.8	0.0
70代	98	1.0	2.0	6.1	4.1
80代以上	83	1.2	2.4	16.9	9.6

１０　生涯学習

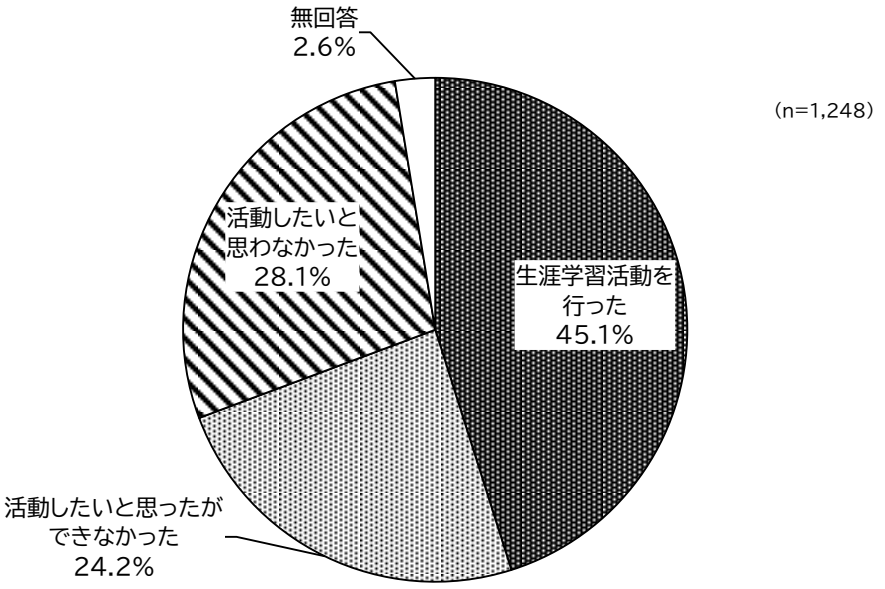
（１）生涯学習活動への参加状況

問34　あなたは、この１年間に、生涯学習活動を行いましたか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「生涯学習活動を行った」が45.1%で最も高くなっている。「活動したいと思わなかった」は28.1%、「活動したいと思ったができなかった」は24.2%である。

図10－１－１　生涯学習活動への参加状況（全体）

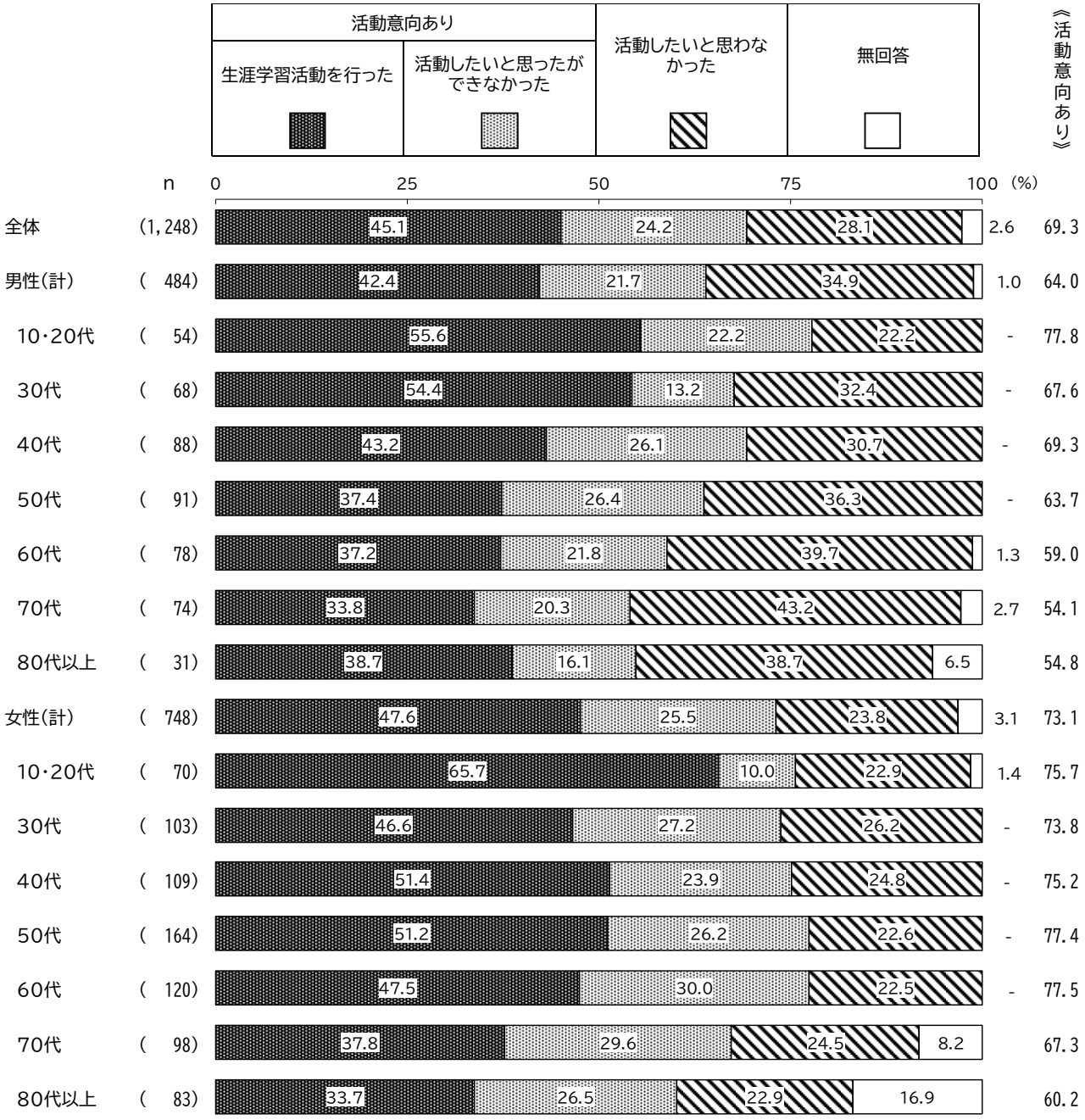


②性・年代別

「生涯学習活動を行った」は男性は80代以上を除き、年代が低いほど高くなる傾向にあり、10・20代（55.6%）が最も高くなっている。女性も10・20代（65.7%）が最も高くなっている。「生涯学習活動を行った」と「活動したいと思ったができなかった」を合わせた『活動意向あり』は男性の10・20代、女性の50～60代で7割台後半と高くなっている。

「活動したいと思わなかった」は女性では30代（26.2%）が最も高く、次いで40代（24.8%）、70代（24.5%）となっている。

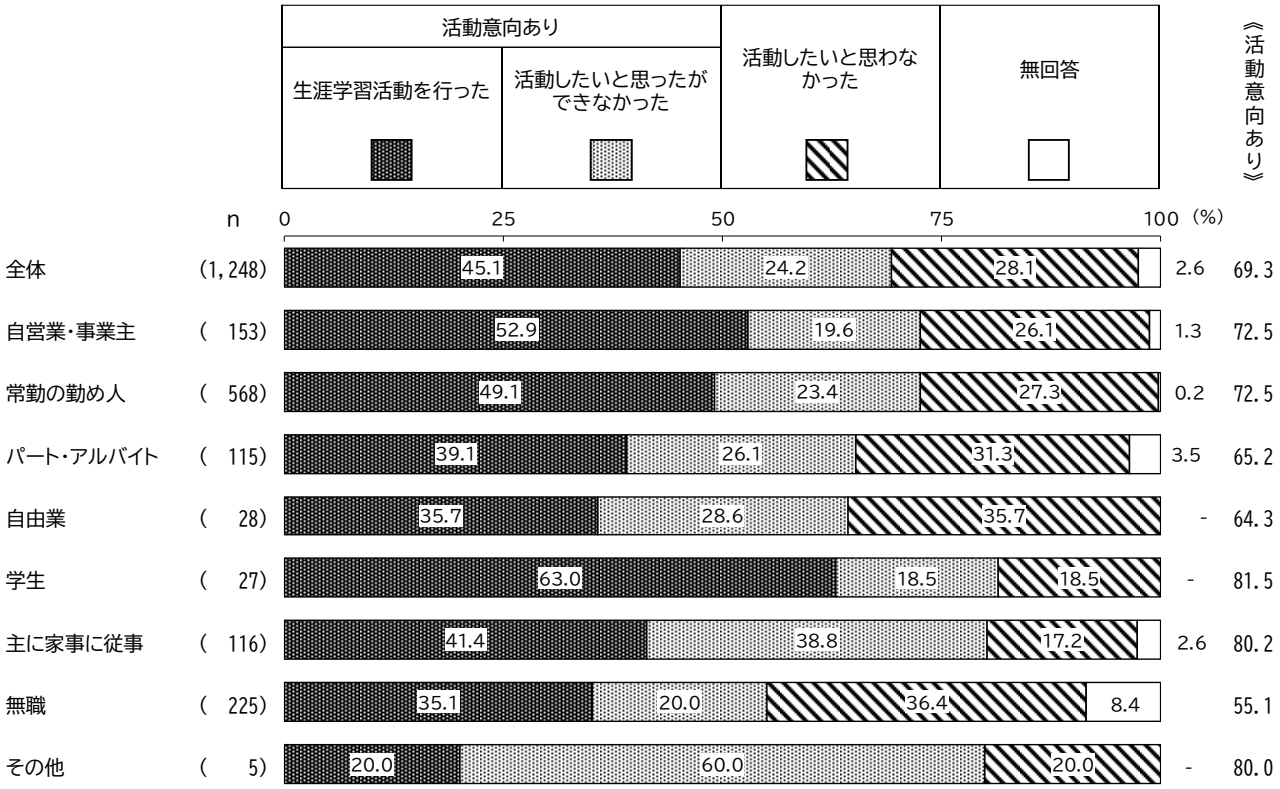
図10－1－2　生涯学習活動への参加状況（性・年代別）



③職業別

「生涯学習活動を行った」と「活動したいと思ったができなかった」を合わせた『活動意向あり』は主に家事に従事が８割と高くなっており、無職が５割台半ばと低くなっている。

図10－１－３　生涯学習活動への参加状況（職業別）



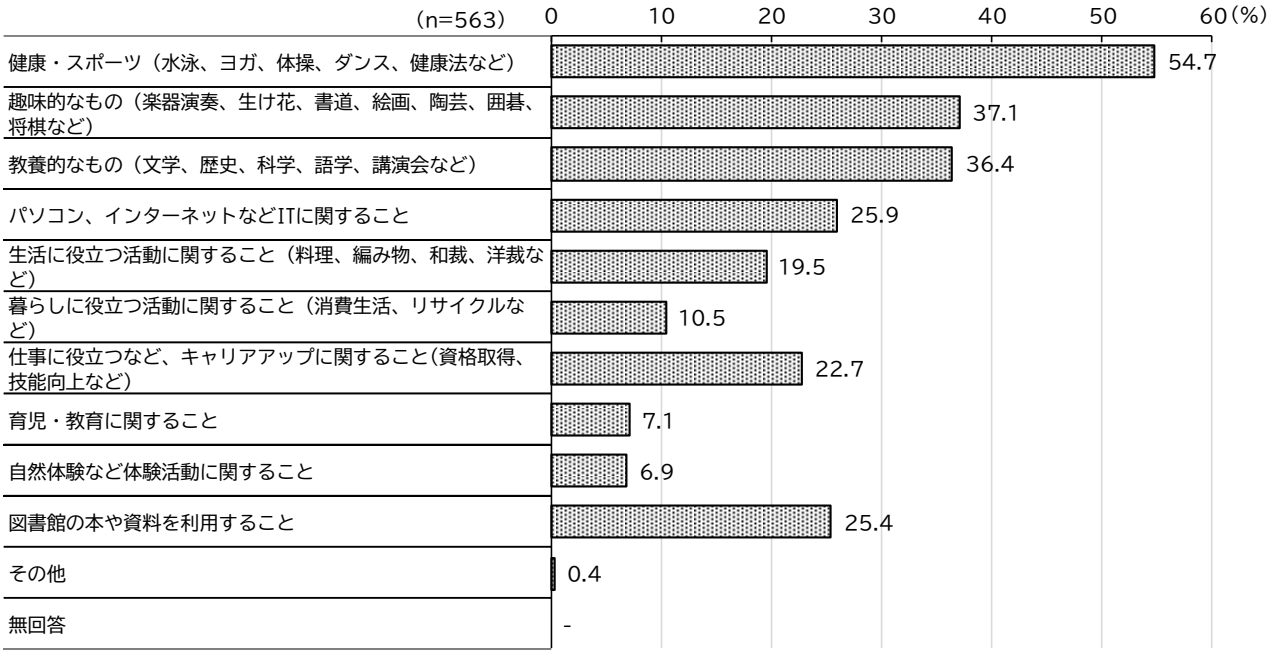
（2）参加した生涯学習活動

（問34で「生涯学習活動を行った」と回答した方にお尋ねします。）
問34-1　どのような生涯学習活動を行いましたか。（あてはまるものすべてに○）

①全体

「健康・スポーツ（水泳、ヨガ、体操、ダンス、健康法など）」が54.7%で最も高く、次いで「趣味的なもの（楽器演奏、生け花、書道、絵画、陶芸、俳句、囲碁、将棋など）（37.1%）」、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、講演会など）（36.4%）」となっている。

図10－2－1　参加した生涯学習活動（全体）



②性別

男女とも「健康・スポーツ」が５割を超えて最も高くなっている。「教養的なもの」、「パソコン、インターネットなどITに関すること」は男性の方が女性より高く、「趣味的なもの」、「生活に役立つ活動に関すること」は女性の方が高くなっている。

表10－２－１　参加した生涯学習活動（性別）

（%）

	n	健康・スポーツ（水泳、ヨガ、体操、ダンス、健康法など）	趣味的なもの（楽器演奏、生け花、書道、絵画、陶芸、囲碁、将棋など）	教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、講演会など）	パソコン、インターネットなどITに関すること	生活に役立つ活動に関すること（料理、編み物、和裁、洋裁など）	暮らしに役立つ活動に関すること（消費生活、リサイクルなど）	仕事に役立つなど、キャリアアップに関すること（資格取得、技能向上など）	育児・教育に関すること	自然体験など体験活動に関すること	図書館の本や資料を利用すること	その他	無回答
全　体	563	54.7	37.1	36.4	25.9	19.5	10.5	22.7	7.1	6.9	25.4	0.4	0.0
男　性	205	53.2	35.6	40.0	32.7	12.7	8.8	23.9	6.8	6.8	18.0	0.0	0.0
女　性	356	55.3	38.2	34.3	22.2	23.6	11.2	22.2	7.3	7.0	29.5	0.6	0.0

③年代別

「健康・スポーツ」は10・20代（47.4%）を除くすべての年代で５割を超えている。10・20代、30代は「仕事に役立つなど、キャリアアップに関すること（39.5%、43.5%）」と「パソコン、インターネットなどITに関すること（30.3%、32.9%）」が他の年代より高く、「暮らしに役立つ活動に関すること」は70代（22.6%）が最も高くなっている。

表10－２－２　参加した生涯学習活動（年代別）

（%）

	n	健康・スポーツ（水泳、ヨガ、体操、ダンス、健康法など）	趣味的なもの（楽器演奏、生け花、書道、絵画、陶芸、囲碁、将棋など）	教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、講演会など）	パソコン、インターネットなどITに関すること	生活に役立つ活動に関すること（料理、編み物、和裁、洋裁など）	暮らしに役立つ活動に関すること（消費生活、リサイクルなど）	仕事に役立つなど、キャリアアップに関すること（資格取得、技能向上など）	育児・教育に関すること	自然体験など体験活動に関すること	図書館の本や資料を利用すること	その他	無回答
全　体	563	54.7	37.1	36.4	25.9	19.5	10.5	22.7	7.1	6.9	25.4	0.4	0.0
10･20代	76	47.4	39.5	38.2	30.3	26.3	7.9	39.5	1.3	5.3	15.8	0.0	0.0
30代	85	54.1	37.6	35.3	32.9	18.8	8.2	43.5	15.3	8.2	22.4	0.0	0.0
40代	94	57.4	31.9	29.8	24.5	11.7	8.5	23.4	12.8	10.6	27.7	1.1	0.0
50代	118	57.6	33.1	33.1	23.7	26.3	9.3	21.2	8.5	6.8	28.0	0.8	0.0
60代	86	52.3	32.6	36.0	20.9	18.6	11.6	14.0	2.3	5.8	23.3	0.0	0.0
70代	62	54.8	50.0	48.4	25.8	19.4	22.6	3.2	3.2	4.8	30.6	0.0	0.0
80代以上	41	58.5	46.3	43.9	24.4	9.8	4.9	0.0	0.0	4.9	34.1	0.0	0.0

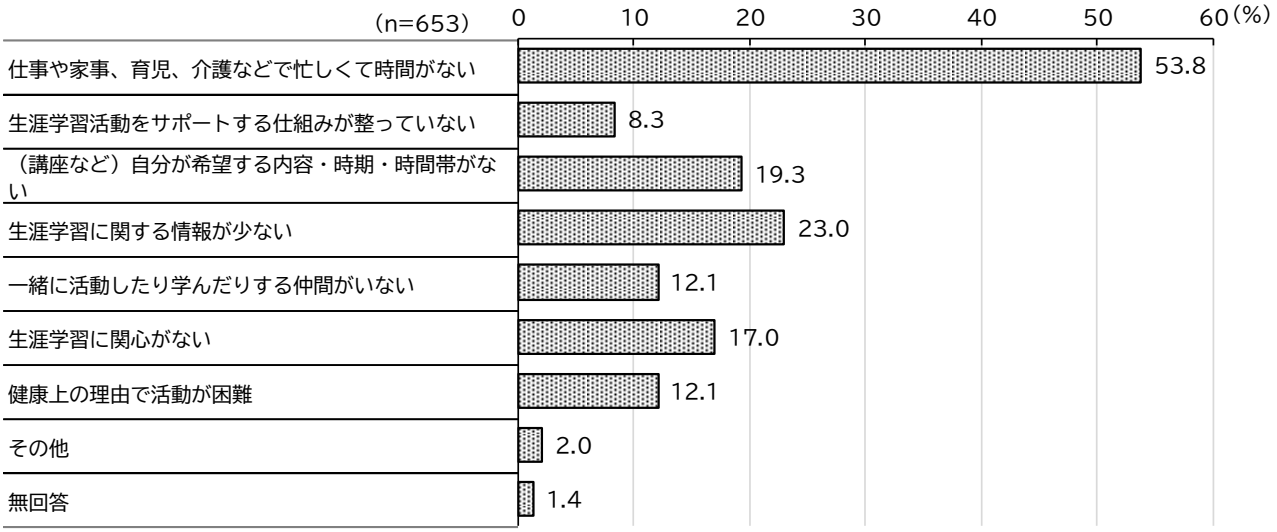
（3）生涯学習活動をしない理由

（問34で「活動したいと思ったができなかった」「活動したいと思わなかった」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）
問34-2　あなたが生涯学習活動をできなかった、またはしなかった理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

①全体

「仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない」が53.8%で最も高くなっている。次いで「生涯学習に関する情報が少ない（23.0%）」、「（講座など）自分が希望する内容・時期・時間帯がない（19.3%）」、「生涯学習に関心がない（17.0%）」となっている。

図10－3－1　生涯学習活動をしない理由（全体）



②性・年代別

「仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない」は女性の30～40代で７割を超え、男性の40～50代と女性の50代も６割台となっている。「生涯学習に関する情報が少ない」は男性の70代、女性の60代で３割を超えている。「（講座など）自分が希望する内容・時期・時間帯がない」は男性の60代（31.3%）が最も高く、「生涯学習に関心がない」は男性30代（35.5%）が最も高く、30代、40代、60代および70代では男性が女性を上回っている。女性の80代以上では「健康上の理由で活動が困難」が生涯学習活動をしない理由の第一位となっている。

表10－３－１　生涯学習活動をしない理由（性・年代別）

（%）

	n	仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない	生涯学習活動をサポートする仕組みが整っていない	（講座など）自分が希望する内容・時期・時間帯がない	生涯学習に関する情報が少ない	一緒に活動したり学んだりする仲間がいない	生涯学習に関心がない	健康上の理由で活動が困難	その他	無回答
全　体	653	53.8	8.3	19.3	23.0	12.1	17.0	12.1	2.0	1.4
男性 計	274	52.9	8.8	18.2	22.6	11.7	20.8	10.2	1.8	0.7
10･20代	24	62.5	12.5	8.3	20.8	16.7	12.5	0.0	4.2	0.0
30代	31	48.4	3.2	19.4	19.4	3.2	35.5	3.2	0.0	0.0
40代	50	66.0	8.0	18.0	20.0	12.0	24.0	2.0	0.0	0.0
50代	57	68.4	10.5	15.8	15.8	8.8	15.8	3.5	3.5	1.8
60代	48	50.0	10.4	31.3	27.1	12.5	22.9	12.5	0.0	0.0
70代	47	34.0	8.5	17.0	34.0	12.8	19.1	21.3	2.1	0.0
80代以上	17	17.6	5.9	5.9	17.6	23.5	11.8	47.1	5.9	5.9
女性 計	369	54.5	7.9	19.8	22.8	12.5	14.4	13.3	2.2	1.9
10･20代	23	52.2	0.0	17.4	26.1	8.7	30.4	0.0	0.0	0.0
30代	55	81.8	3.6	9.1	20.0	9.1	14.5	0.0	0.0	0.0
40代	53	71.7	9.4	20.8	22.6	7.5	17.0	1.9	0.0	0.0
50代	80	65.0	7.5	22.5	20.0	15.0	16.3	6.3	6.3	1.3
60代	63	52.4	14.3	27.0	30.2	17.5	9.5	9.5	1.6	3.2
70代	53	28.3	13.2	28.3	28.3	15.1	11.3	24.5	1.9	3.8
80代以上	41	12.2	0.0	7.3	12.2	9.8	9.8	58.5	2.4	4.9

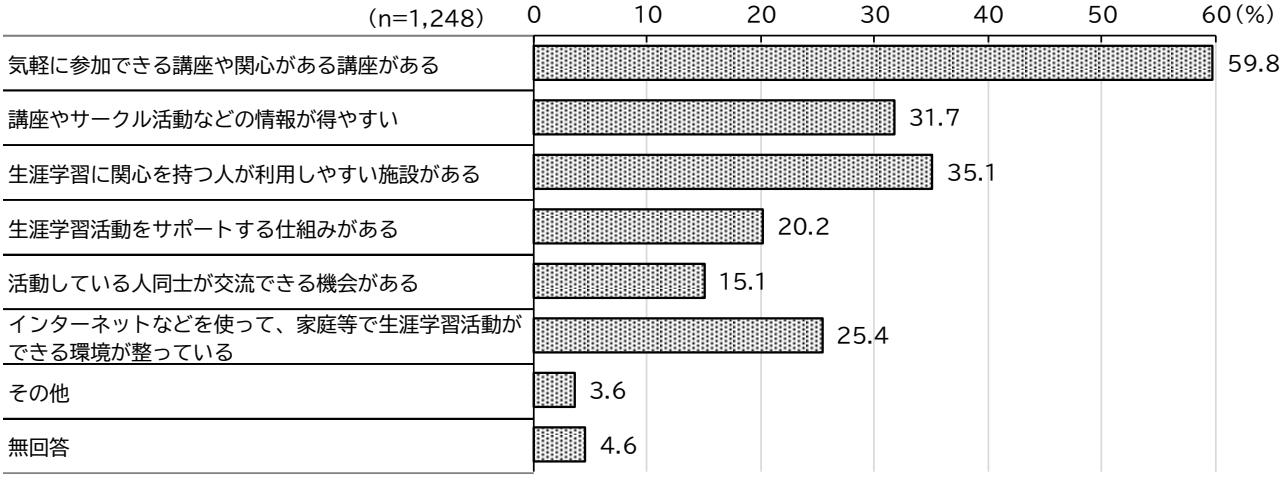
（4）生涯学習の推進のために必要なこと

問35　あなたが生涯学習を行うために、どんなことが必要だと思いますか。
（あてはまるもの３つまでに○）

①全体

「気軽に参加できる講座や関心がある講座がある」が59.8%で最も高くなっている。次いで「生涯学習活動に関心を持つ人が利用しやすい施設がある（35.1%）」、「講座やサークル活動などの情報が得やすい（31.7%）」、「インターネットなどを使って、家庭等で生涯学習活動ができる環境が整っている（25.4%）」となっている。

図10－４－１　生涯学習の推進のために必要なこと（全体）



②性・年代別

「気軽に参加できる講座や関心がある講座がある」は女性の50～60代で７割を超えている。「講座やサークル活動などの情報が得やすい」は女性の60代（47.5%）が最も高く、次いで男性の50代（39.6%）が高くなっている。「生涯学習に関心を持つ人が利用しやすい施設がある」は男性の60代（47.4%）が最も高く、次いで男性の40代（42.0%）が高くなっている。「インターネットなどを使って、家庭等で生涯学習活動ができる環境が整っている」は男性の30代、70～80代以上と女性の30代が３割を超えている。

表10－４－１　生涯学習の推進のために必要なこと（性・年代別）

（%）

	n	気軽に参加できる講座や関心がある講座がある	講座やサークル活動などの情報が得やすい	生涯学習に関心を持つ人が利用しやすい施設がある	生涯学習活動をサポートする仕組みがある	活動している人同士が交流できる機会がある	インターネットなどを使って、家庭等で生涯学習活動ができる環境が整っている	その他	無回答
全　体	1,248	59.8	31.7	35.1	20.2	15.1	25.4	3.6	4.6
男性　計	484	54.8	27.3	36.6	22.7	18.6	28.5	4.5	2.5
10･20代	54	38.9	14.8	37.0	29.6	31.5	22.2	3.7	0.0
30代	68	48.5	23.5	39.7	13.2	23.5	33.8	7.4	0.0
40代	88	61.4	23.9	42.0	19.3	18.2	29.5	3.4	0.0
50代	91	58.2	39.6	35.2	27.5	18.7	26.4	3.3	0.0
60代	78	61.5	29.5	47.4	26.9	9.0	24.4	3.8	2.6
70代	74	55.4	29.7	24.3	20.3	16.2	32.4	8.1	10.8
80代以上	31	48.4	19.4	19.4	22.6	16.1	32.3	0.0	6.5
女性　計	748	63.1	34.8	34.4	19.0	13.1	23.7	3.1	5.3
10･20代	70	52.9	34.3	35.7	22.9	18.6	24.3	2.9	0.0
30代	103	52.4	24.3	29.1	16.5	16.5	35.9	3.9	0.0
40代	109	69.7	33.0	41.3	18.3	8.3	28.4	1.8	0.0
50代	164	73.2	37.2	36.6	21.3	11.6	26.2	2.4	0.6
60代	120	70.0	47.5	36.7	16.7	11.7	27.5	3.3	4.2
70代	98	66.3	37.8	30.6	16.3	16.3	10.2	3.1	13.3
80代以上	83	43.4	24.1	27.7	21.7	12.0	6.0	4.8	25.3

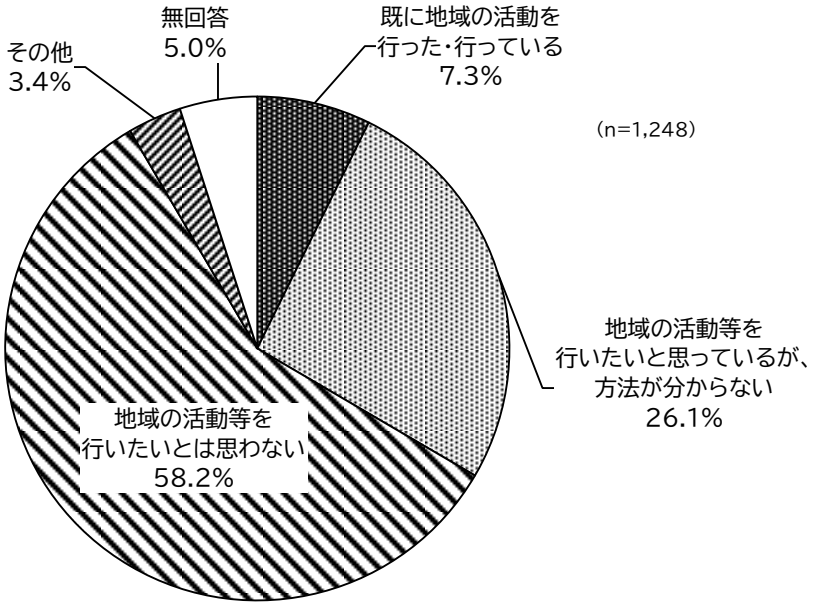
（５）知識・経験の地域還元

問36　あなたはこの１年間に、「これまで学校や社会で得た知識や経験」を生かして地域の活動など（例：地域イベント等で楽器演奏や作品展示を行う、児童館で工作や遊びを教える等）を行いましたか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「地域の活動等を行いたいとは思わない」が58.2%で最も高くなっている。「既に地域の活動を行った・行っている」は7.3%、「地域の活動等を行いたいと思っているが、方法がわからない」は26.1%である

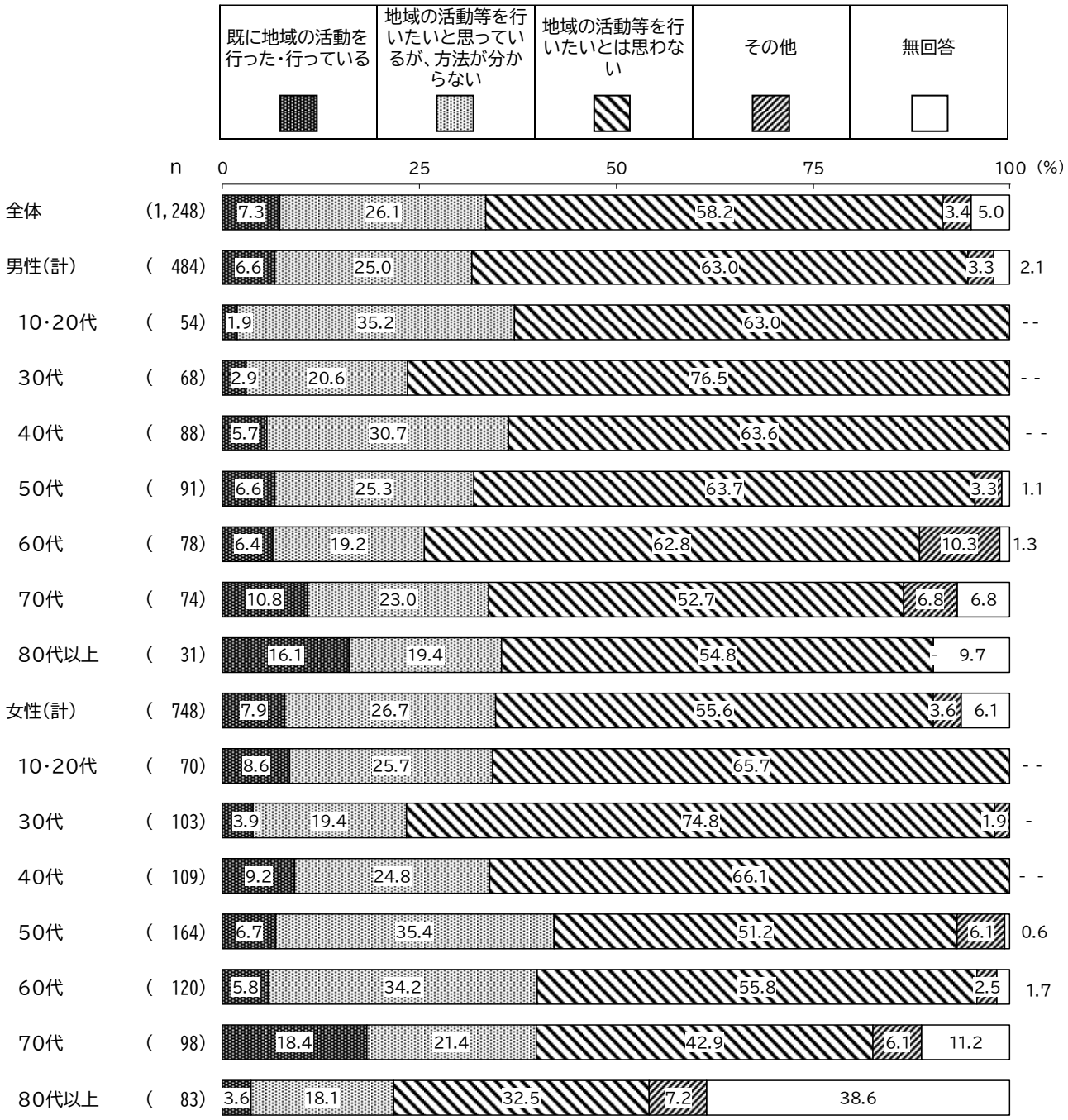
図10－５－１　知識・経験の地域還元（全体）



②性・年代別

「既に地域の活動を行った・行っている」は女性の70代（18.4%）が最も高くなっている。「地域の活動等を行いたいと思っているが、方法がわからない」は男性の10・20代と女性の50～60代で３割半ばとなっている。「地域の活動等を行いたいとは思わない」は男女ともに30代で最も高く、７割半ばとなっている。

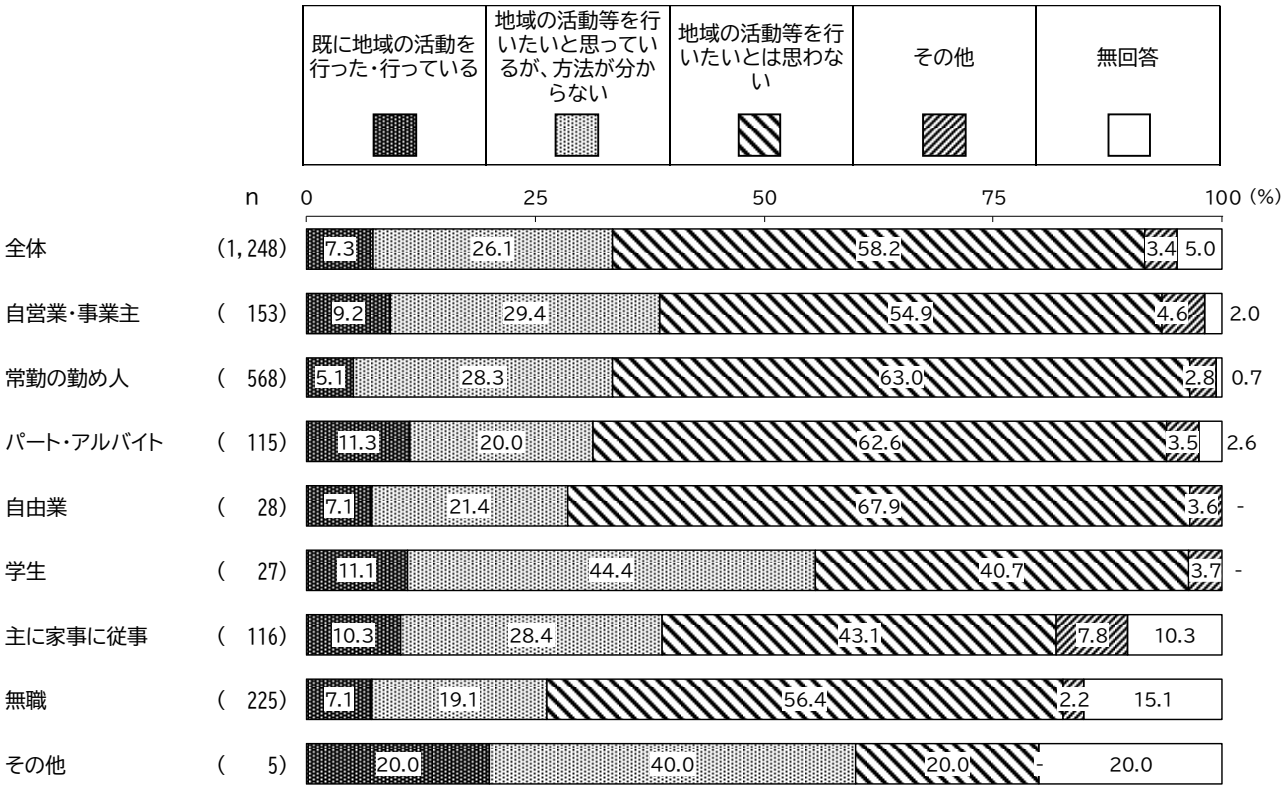
図10－５－２　知識・経験の地域還元（性・年代別）



③職業別

「地域の活動等を行いたいとは思わない」は常勤の勤め人（63.0%）とパート・アルバイト（62.6%）で６割を超え高くなっている。

図10－５－３　知識・経験の地域還元（職業別）



（６）図書館の利用状況

問37　あなたは、この１年間に、目黒区立の図書館を利用したことがありますか。
（あてはまるもの１つに○）

①全体

「利用したことがない」が57.2%、「利用したことがある」が41.7%となっている。

図書館の利用状況の推移をみると、令和５年より「利用したことがある」がやや増加し、「利用したことがない」がやや減少している。

図10－６－１　図書館の利用状況（全体）

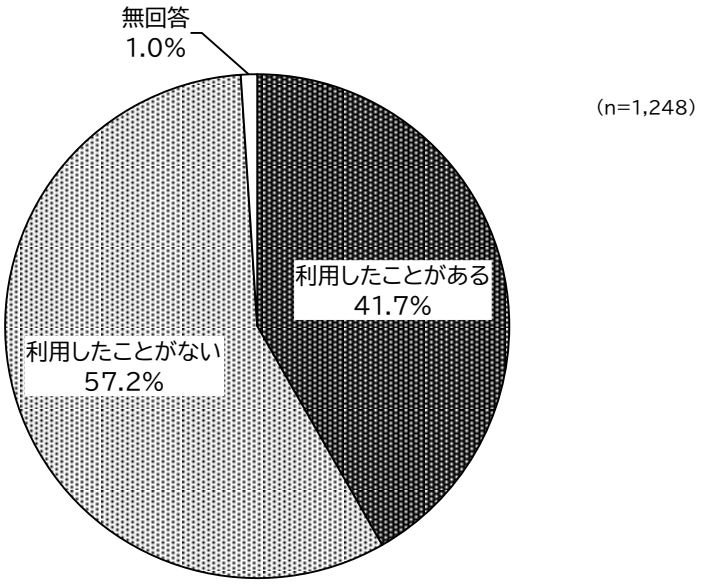
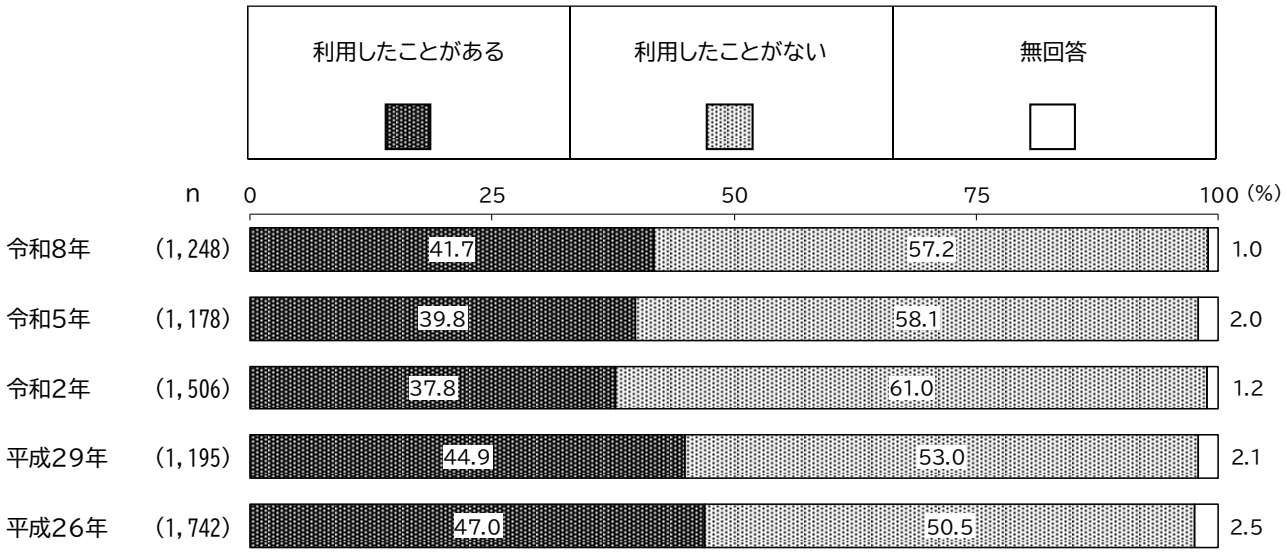


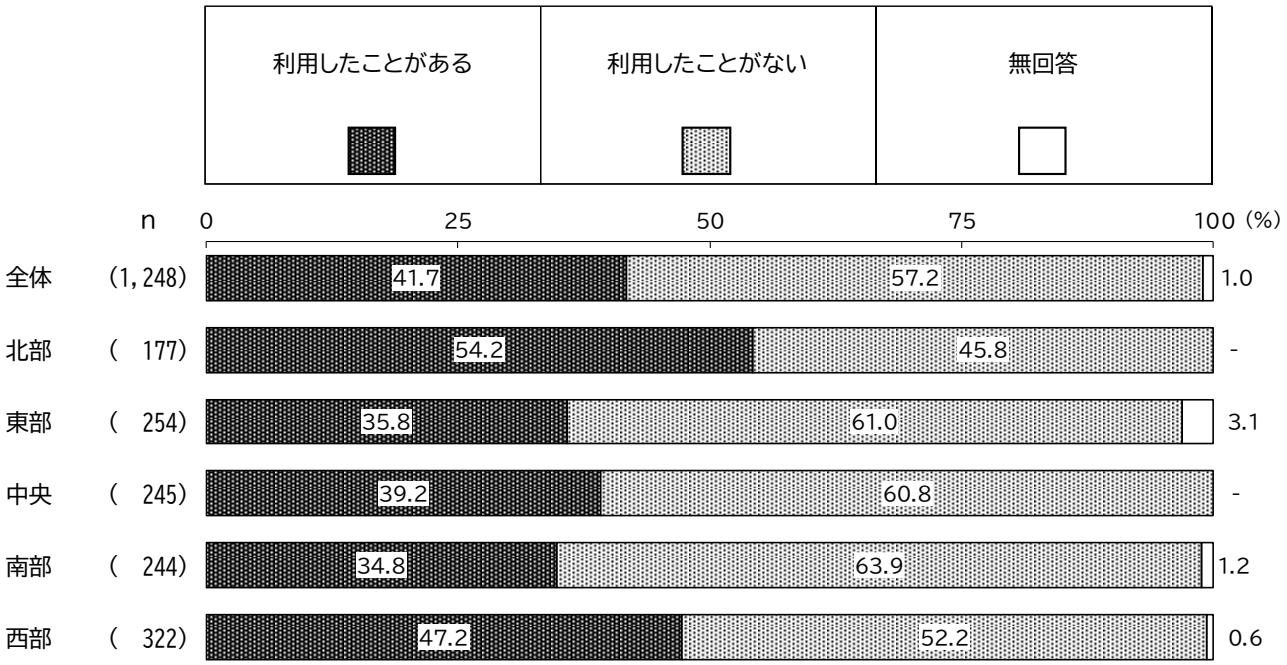
図10－６－２　図書館の利用状況の推移（全体）



②地区別

「利用したことがある」は北部地区（54.2%）と西部地区（47.2%）が高くなっている。「利用したことがない」は南部地区（63.9%）、東部地区（61.0%）、中央地区（60.8%）で6割を超えている。

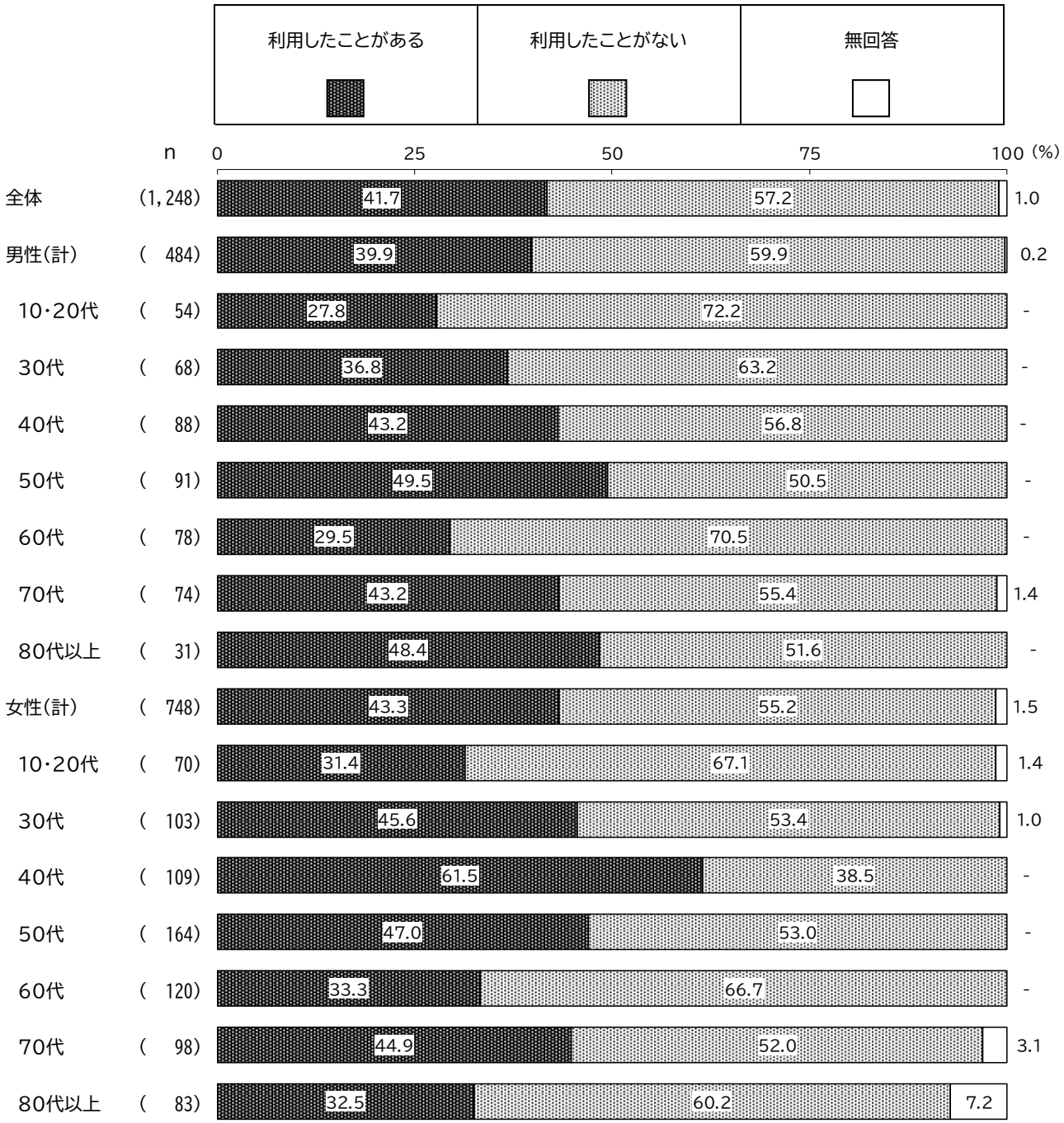
図10－6－3　図書館の利用状況（地区別）



③性・年代別

「利用したことがある」は女性の40代（61.5%）が最も高く、次いで男性の50代（49.5%）、男性の80代以上（48.4%）と女性の50代（47.0%）が高くなっている。「利用したことがない」は男性の10･20代(72.2%)が最も高く、次いで男性の60代(70.5%)、女性の10･20代(67.1%)が高くなっている。

図10－6－4　図書館の利用状況（性・年代別）



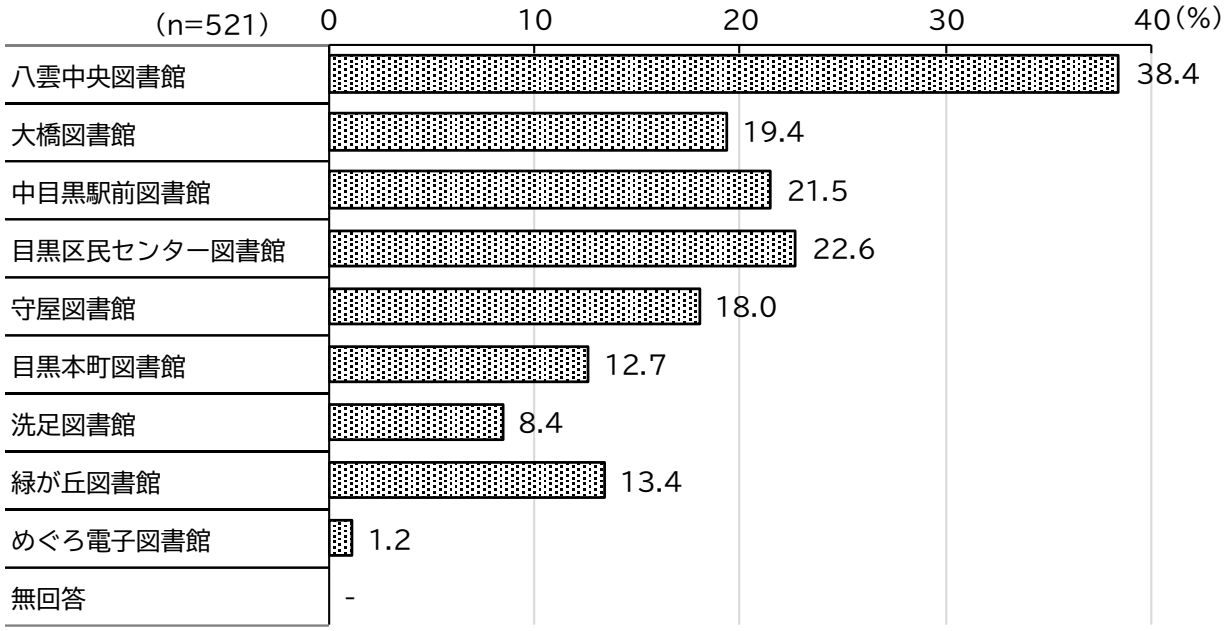
（7）利用図書館

（問37で「利用したことがある」と回答した方にお尋ねします。）
問37-1　利用した図書館はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

①全体

「八雲中央図書館」が38.4%で最も高くなっている。次いで「目黒区民センター図書館（22.6%）」、「中目黒駅前図書館（21.5%）」、「大橋図書館（19.4%）」、「守屋図書館（18.0%）」となっている。

図10－7－1　利用図書館（全体）



②地区別

北部地区は「大橋図書館（81.3%）」が高くなっている。
東部地区は「目黒区民センター図書館（68.1%）」が高くなっている。
中央地区は「守屋図書館（68.8%）」が高くなっている。
南部地区は「目黒本町図書館（47.1%）」、「洗足図書館（38.8%）」、「八雲中央図書館（29.4%）」が高くなっている。
西部地区は「八雲中央図書館（82.2%）」、「緑が丘図書館（40.8%）」が高くなっている。

表10－7－1　利用図書館（地区別）

（%）

	n	八雲中央図書館	大橋図書館	中目黒駅前図書館	目黒区民センター図書館	守屋図書館	目黒本町図書館	洗足図書館	緑が丘図書館	めぐろ電子図書館	無回答
全　体	521	38.4	19.4	21.5	22.6	18.0	12.7	8.4	13.4	1.2	0.0
北　部	96	6.3	81.3	27.1	9.4	5.2	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0
東　部	91	18.7	7.7	38.5	68.1	8.8	11.0	1.1	0.0	1.1	0.0
中　央	96	28.1	8.3	29.2	24.0	68.8	12.5	2.1	0.0	2.1	0.0
南　部	85	29.4	4.7	7.1	14.1	8.2	47.1	38.8	8.2	1.2	0.0
西　部	152	82.2	2.6	10.5	7.9	4.6	2.6	5.3	40.8	0.7	0.0

③年代別

「八雲中央図書館」はすべての年代で第一位となっている。「守屋図書館」は年代が高いほど割合が高くなり、60代以上は２割を超えている。「目黒区民センター図書館」は10・20代（29.7%）が最も高く、「中目黒駅図書館」は30代（25.0%）、50代（26.0%）、70代（27.6%）で２割半ばとなっている。

表10－７－２　利用図書館（年代別）

（%）

	n	八雲中央図書館	大橋図書館	中目黒駅前図書館	目黒区民センター図書館	守屋図書館	目黒本町図書館	洗足図書館	緑が丘図書館	めぐろ電子図書館	無回答
全　体	521	38.4	19.4	21.5	22.6	18.0	12.7	8.4	13.4	1.2	0.0
10･20代	37	48.6	18.9	13.5	29.7	5.4	5.4	5.4	13.5	0.0	0.0
30代	72	36.1	19.4	25.0	19.4	12.5	8.3	8.3	11.1	1.4	0.0
40代	105	40.0	17.1	17.1	22.9	16.2	18.1	8.6	14.3	1.0	0.0
50代	123	37.4	22.0	26.0	26.0	18.7	11.4	8.9	12.2	0.0	0.0
60代	63	36.5	14.3	15.9	25.4	20.6	9.5	7.9	11.1	4.8	0.0
70代	76	38.2	23.7	27.6	17.1	23.7	17.1	7.9	19.7	1.3	0.0
80代以上	44	36.4	18.2	15.9	18.2	25.0	13.6	11.4	11.4	0.0	0.0

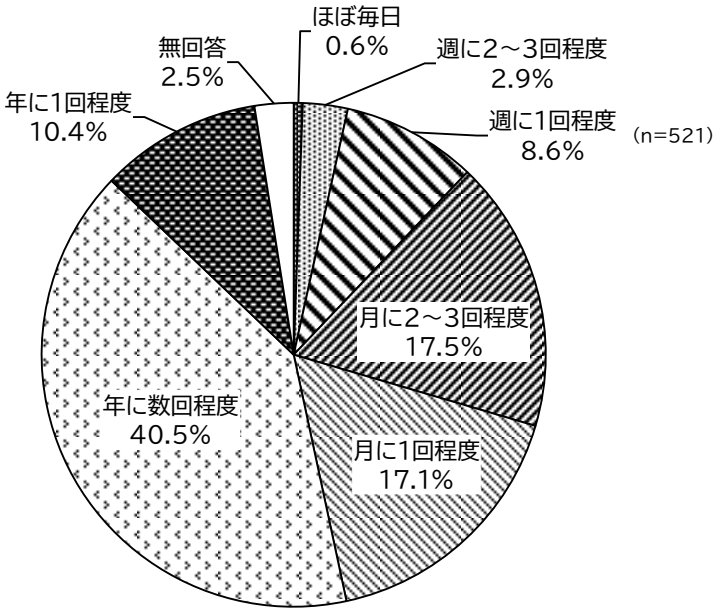
（８）図書館の利用頻度

（問37で「利用したことがある」と回答した方にお尋ねします。）
問37-２　この１年間でどのぐらいの頻度で利用しましたか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「年に数回程度」が40.5%で最も高く、次いで「月に２～３回程度（17.5%）」、「月に１回程度（17.1%）」となっている。

図10－８－１　図書館の利用頻度（全体）

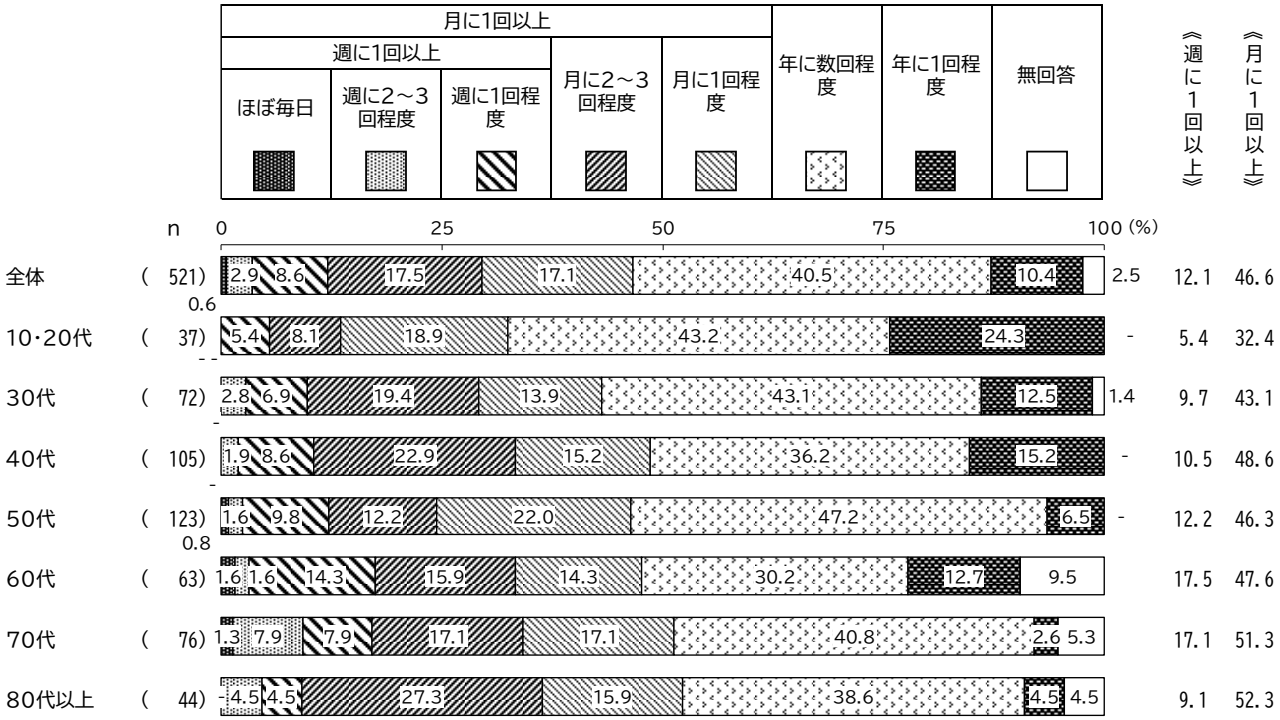


②年代別

「週に２～３回程度」は70代（7.9%）が最も高く、「週に１回程度」は60代（14.3%）が最も高く、「月に２～３回程度」は80代以上（27.3%）が最も高くなっている。「年に数回程度」は50代（47.2%）が最も高くなっている。

『週に１回以上』は60代が最も高く、『月に１回以上』は80代以上が最も高くなっている。

図10－８－２　図書館の利用頻度（年代別）



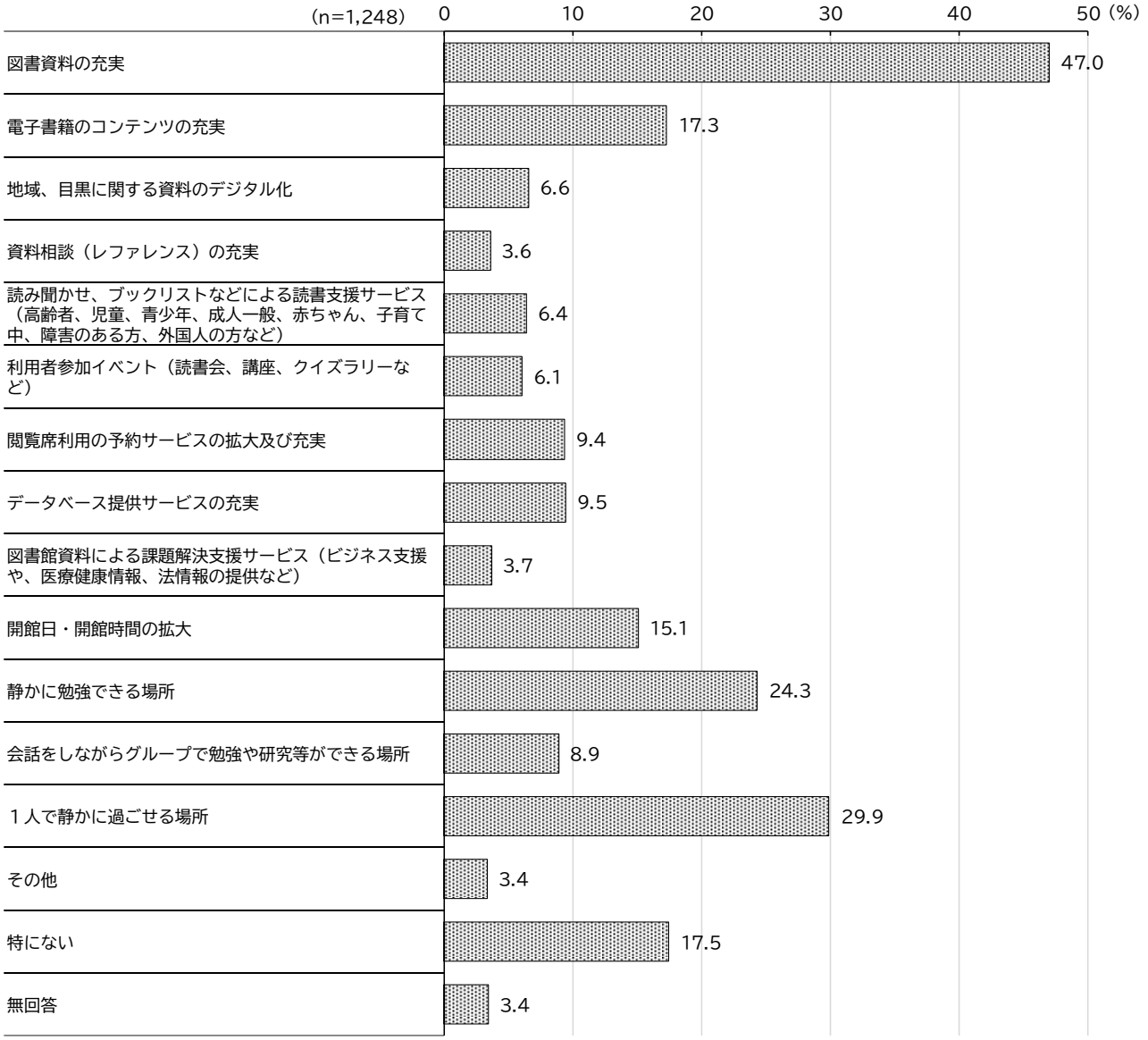
（9）今後に期待する図書館サービス

問38　今後の区立図書館に期待するサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

①全体

「図書資料の充実」が47.0%で最も高くなっている。次いで「1人で静かに過ごせる場所(29.9%)」、「静かに勉強できる場所（24.3%）」、「電子書籍のコンテンツの充実（17.3%）」となっている。

図10－9－1　今後に期待する図書館サービス（全体）



②性・年代別

「図書資料の充実」は男性の50代（56.0%）が最も高く、次いで女性の30代（54.4%）、50代（54.3%）が高くなっている。「1人で静かに過ごせる場所」は男性より女性の方が高く、「静かに勉強できる場所」は男女ともに年代が低いほど高い傾向がある。

図10－9－2　今後に期待する図書館サービス（性・年代別）

（%）

	n	図書資料の充実	電子書籍のコンテンツの充実	地域、目黒に関する資料のデジタル化	資料相談（レファレンス）の充実	読み聞かせ、ブックリストなどによる読書支援サービス（高齢者、児童、青少年、成人一般、赤ちゃん、子育て中、障害のある方、外国人の方など）	利用者参加イベント（読書会、講座、クイズラリーなど）	閲覧席利用の予約サービスの拡大及び充実	データベース提供サービスの充実	図書館資料による課題解決支援サービス（ビジネス支援や、医療健康情報、法情報の提供など）	開館日・開館時間の拡大	静かに勉強できる場所
全　体	1,248	47.0	17.3	6.6	3.6	6.4	6.1	9.4	9.5	3.7	15.1	24.3
男性 計	484	45.0	22.1	10.5	4.5	5.2	3.9	7.9	15.5	2.7	17.6	22.1
10･20代	54	46.3	35.2	7.4	1.9	3.7	3.7	14.8	7.4	0.0	18.5	35.2
30代	68	41.2	27.9	4.4	7.4	5.9	4.4	7.4	19.1	2.9	16.2	29.4
40代	88	43.2	27.3	11.4	3.4	6.8	2.3	9.1	10.2	1.1	20.5	25.0
50代	91	56.0	19.8	15.4	6.6	5.5	4.4	8.8	18.7	4.4	17.6	23.1
60代	78	43.6	23.1	15.4	3.8	3.8	5.1	3.8	19.2	5.1	21.8	17.9
70代	74	41.9	10.8	9.5	5.4	5.4	2.7	6.8	18.9	1.4	16.2	13.5
80代以上	31	35.5	3.2	3.2	0.0	3.2	6.5	3.2	9.7	3.2	3.2	3.2
女性 計	748	48.4	14.4	3.9	2.9	7.2	7.5	10.4	5.7	4.4	13.5	25.8
10･20代	70	47.1	12.9	5.7	1.4	1.4	4.3	12.9	4.3	5.7	17.1	42.9
30代	103	54.4	17.5	1.0	1.0	8.7	1.9	8.7	6.8	6.8	11.7	29.1
40代	109	53.2	20.2	5.5	3.7	10.1	10.1	20.2	7.3	2.8	17.4	39.4
50代	164	54.3	17.7	3.0	2.4	6.1	7.9	13.4	6.7	3.7	15.2	27.4
60代	120	49.2	20.0	6.7	4.2	8.3	10.0	7.5	10.0	4.2	17.5	18.3
70代	98	45.9	4.1	2.0	6.1	2.0	7.1	5.1	2.0	5.1	10.2	17.3
80代以上	83	26.5	2.4	3.6	1.2	12.0	8.4	2.4	0.0	3.6	2.4	6.0

	n	会話をしながらグループで勉強や研究等ができる場所	1人で静かに過ごせる場所	その他	特にない	無回答
全　体	1,248	8.9	29.9	3.4	17.5	3.4
男性 計	484	8.3	26.4	2.1	19.4	1.4
10･20代	54	16.7	25.9	1.9	11.1	0.0
30代	68	10.3	26.5	1.5	19.1	0.0
40代	88	5.7	29.5	0.0	15.9	0.0
50代	91	6.6	25.3	4.4	15.4	0.0
60代	78	6.4	28.2	0.0	23.1	1.3
70代	74	5.4	27.0	2.7	27.0	5.4
80代以上	31	12.9	16.1	6.5	29.0	6.5
女性 計	748	9.1	32.1	4.3	16.3	4.0
10･20代	70	10.0	38.6	4.3	15.7	0.0
30代	103	8.7	33.0	1.9	9.7	0.0
40代	109	12.8	33.0	3.7	10.1	0.0
50代	164	7.3	36.0	3.7	15.9	1.2
60代	120	8.3	31.7	6.7	16.7	1.7
70代	98	13.3	30.6	3.1	19.4	9.2
80代以上	83	3.6	18.1	7.2	30.1	20.5

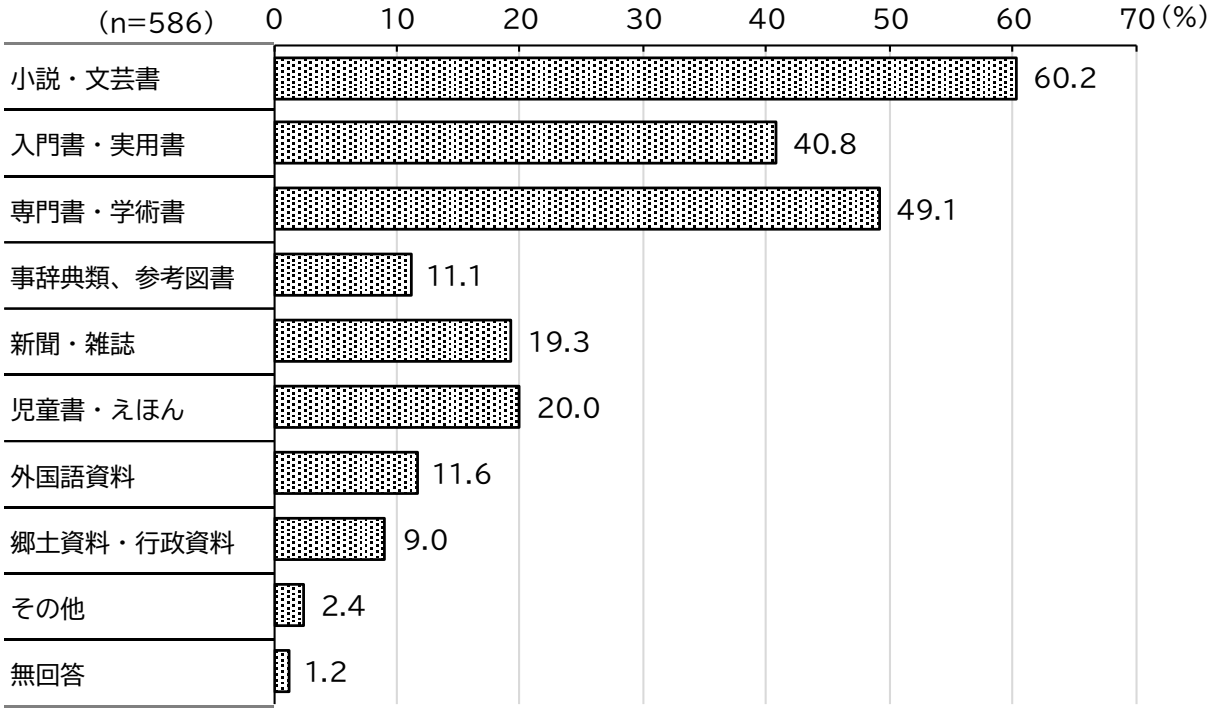
（10）充実を期待する図書資料

（問38で「図書資料の充実」と回答した方にお尋ねします。）
問38-1　充実を期待する図書資料は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

①全体

「小説・文芸書」が60.2%で最も高く、次いで「専門書・学術書（49.1%）」「入門書・実用書（40.8%）」となっている。

図10－10－1　充実を期待する図書資料（全体）



②年代別

「入門書・実用書」は60代（55.8%）が最も高くなっている。「専門書・学術書」は若年層を中心に高く、10・20代（62.1%）と30代（57.1%）、40代（55.2%）が高くなっている。「児童書・えほん」は30代（31.0%）と40代（34.4%）が高くなっている。

表10－10－1　充実を期待する図書資料（年代別）

（%）

	n	小説･文芸書	入門書･実用書	専門書･学術書	事辞典類、参考図書	新聞･雑誌	児童書･えほん	外国語資料	郷土資料･行政資料	その他	無回答
全　体	586	60.2	40.8	49.1	11.1	19.3	20.0	11.6	9.0	2.4	1.2
10･20代	58	58.6	36.2	62.1	10.3	12.1	13.8	27.6	6.9	0.0	1.7
30代	84	54.8	27.4	57.1	8.3	13.1	31.0	9.5	7.1	1.2	1.2
40代	96	52.1	44.8	55.2	11.5	15.6	34.4	14.6	5.2	3.1	0.0
50代	141	60.3	41.1	44.0	7.8	24.1	17.0	13.5	14.2	2.8	0.0
60代	95	68.4	55.8	46.3	9.5	23.2	14.7	2.1	10.5	1.1	1.1
70代	76	65.8	40.8	42.1	19.7	26.3	11.8	6.6	5.3	6.6	2.6
80代以上	36	63.9	27.8	36.1	16.7	11.1	8.3	11.1	11.1	0.0	5.6

１１　情報推進

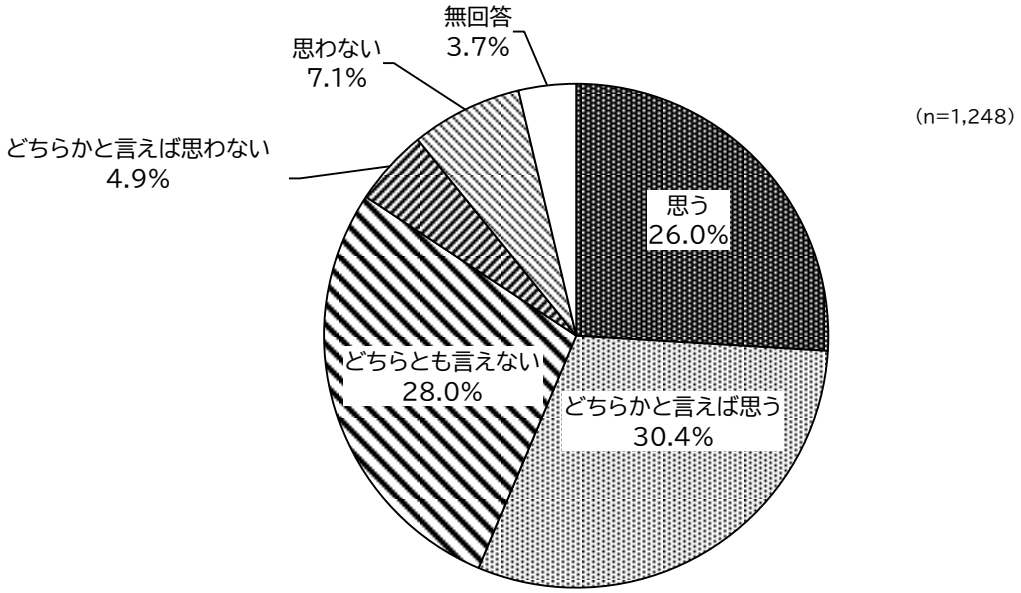
（１）区の手続きや相談のデジタル化による便利度

問39　あなたは、区の手続きや相談がデジタル化によって便利になったと思いますか。
（あてはまるもの１つに○）

①全体

「どちらかと言えば思う（30.4%）」が最も高く、「思う（26.0%）」と「どちらかと言えば思う（30.4%）」を合わせた『思う（56.3%）』が５割を超えている。

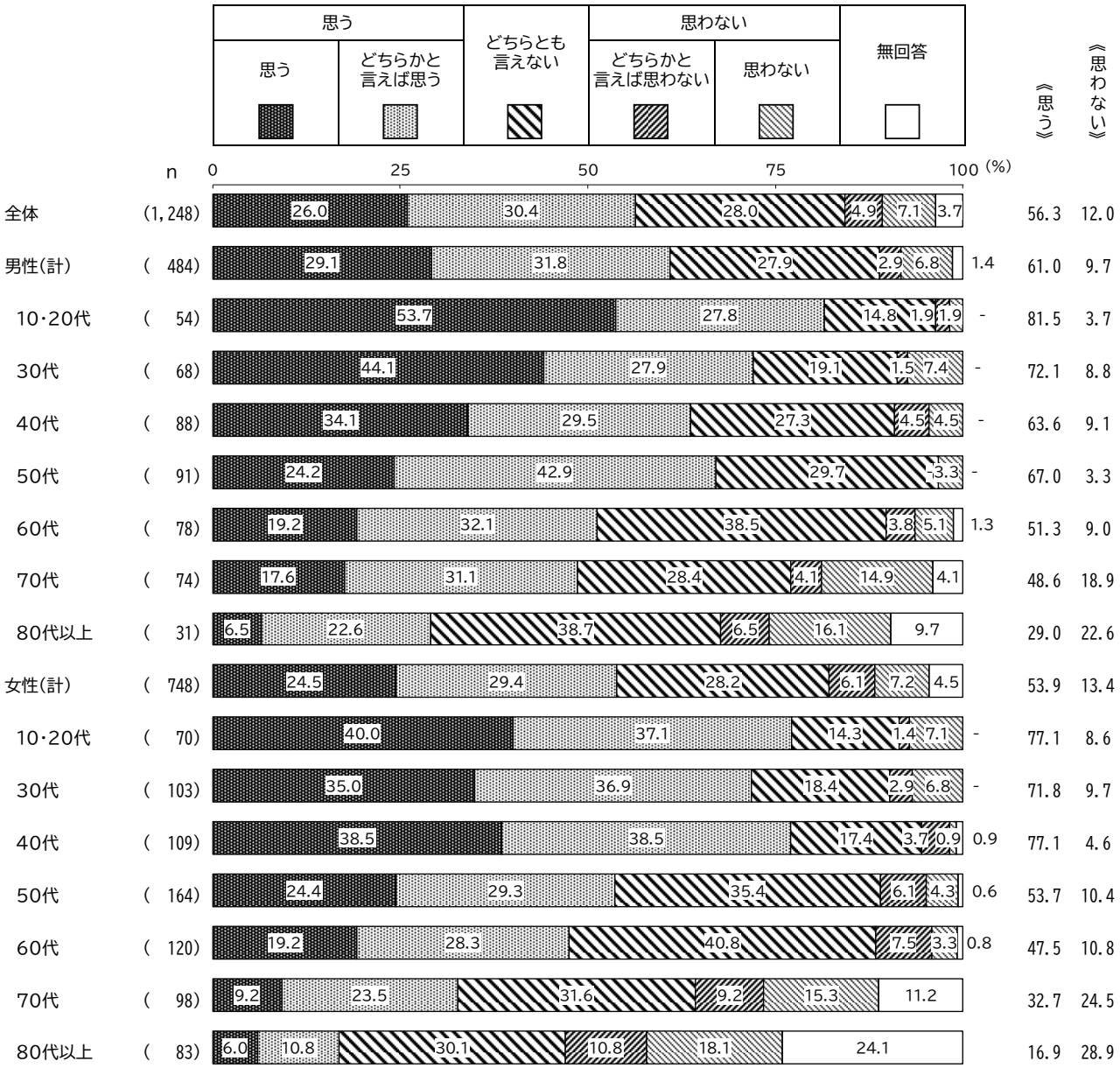
図11－１－１　区の手続きや相談のデジタル化による便利度（全体）



②性・年代別

「思う」が男性の10・20代（53.7%）で最も高く、次いで男性の30代（44.1%）、女性の10・20代（40.0%）で高くなっている。「思う」と「どちらかと言えば思う」を合わせた『思う』が若年層ほど高い傾向がある。

図11－１－２　区の手続きや相談のデジタル化による便利度（性・年代別）



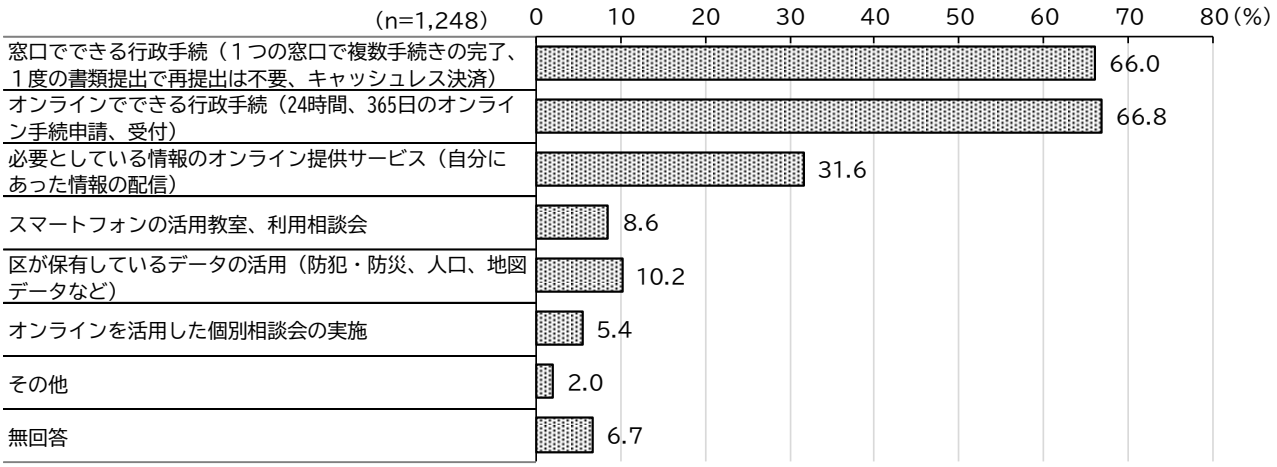
（２）区のDXの取組でより充実してほしいサービス

問40　区のＤＸの取組の中で、より充実してほしいと思うサービスは何ですか。
（あてはまるもの３つまでに○）

①全体

「オンラインでできる行政手続（24時間、365日のオンライン手続申請、受付）」が66.8%で最も高く、次いで「窓口でできる行政手続（１つの窓口で複数手続きの完了、１度の書類提出で再提出は不要、キャッシュレス決済）（66.0%）」となっている。

図11－２－１　区のDXの取組でより充実してほしいサービス（全体）



②性・年代別

「オンラインでできる行政手続（24時間、365日のオンライン手続申請、受付）」は女性の30代（91.3%）が最も高く、男性の30～50代、女性の10・20代と40代も８割を超えている一方、女性の70代は２割未満となっている。「窓口でできる行政手続（１つの窓口で複数手続きの完了、１度の書類提出で再提出は不要、キャッシュレス決済）」も女性の30代（80.6%）が最も高くなっている。「必要としている情報のオンライン提供サービス（自分にあった情報の配信）」は男性の50代が49.5%と最も高くなっている。

表11－２－１　区のDXの取組でより充実してほしいサービス（性・年代別）

（%）

	n	窓口でできる行政手続(1つの窓口で複数手続きの完了、1度の書類提出で再提出は不要、キャッシュレス決済)	オンラインでできる行政手続(24時間、365日のオンライン手続申請、受付)	必要としている情報のオンライン提供サービス(自分にあった情報の配信)	スマートフォンの活用教室、利用相談会	区が保有しているデータの活用(防犯・防災、人口、地図データなど)	オンラインを活用した個別相談会の実施	その他	無回答
全　体	1,248	66.0	66.8	31.6	8.6	10.2	5.4	2.0	6.7
男性　計	484	67.4	74.0	35.3	6.0	12.8	6.0	1.7	4.1
10･20代	54	74.1	79.6	37.0	7.4	14.8	7.4	0.0	0.0
30代	68	69.1	88.2	36.8	7.4	17.6	7.4	2.9	1.5
40代	88	76.1	89.8	33.0	1.1	10.2	3.4	0.0	0.0
50代	91	63.7	80.2	49.5	4.4	18.7	4.4	2.2	1.1
60代	78	70.5	64.1	25.6	5.1	10.3	10.3	2.6	2.6
70代	74	54.1	54.1	32.4	13.5	10.8	4.1	1.4	13.5
80代以上	31	61.3	41.9	25.8	3.2	0.0	6.5	3.2	19.4
女性　計	748	65.8	63.4	29.5	10.3	8.7	5.2	2.3	7.4
10･20代	70	64.3	80.0	34.3	8.6	14.3	0.0	0.0	0.0
30代	103	80.6	91.3	35.0	2.9	4.9	1.9	0.0	0.0
40代	109	71.6	89.9	40.4	3.7	11.9	4.6	0.0	0.0
50代	164	68.9	73.8	31.7	7.3	9.1	7.9	2.4	1.2
60代	120	70.8	56.7	30.0	14.2	8.3	9.2	2.5	1.7
70代	98	57.1	18.4	18.4	24.5	9.2	5.1	5.1	18.4
80代以上	83	37.3	21.7	12.0	13.3	3.6	3.6	6.0	39.8

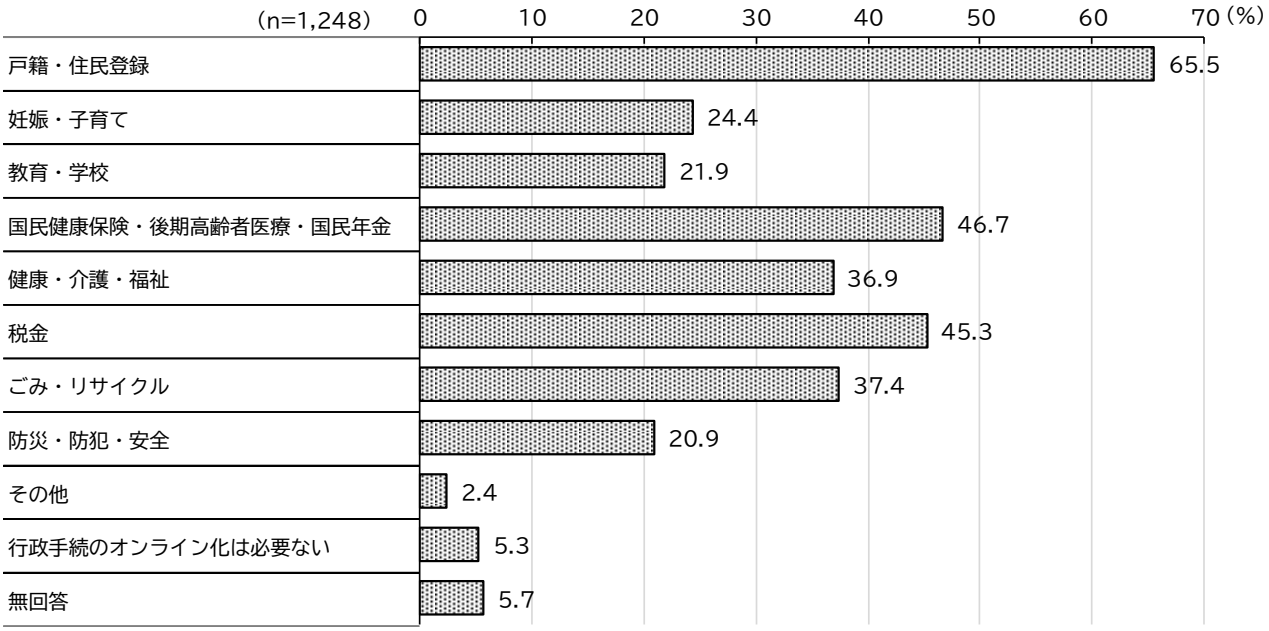
（3）オンライン化を希望する行政手続

問41　行政手続のオンライン化について、オンライン化した方がよいと思う分野は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

①全体

「戸籍・住民登録」が65.5%で最も高く、次いで「国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金（46.7%）」、「税金（45.3%）」となっている。

図11－3－1　オンライン化を希望する行政手続（全体）



②性・年代別

「戸籍・住民登録」と「税金」は男女ともに年代が低いほど高い傾向がある。「妊娠・子育て」は男女ともに30代が最も高くなっており、5割を超えている（ともに54.4%）。「教育・学校」と「健康・介護・福祉」は女性より男性のほうが高い傾向がある。

表11－3－1　オンライン化を希望する行政手続（性・年代別）

（%）

	n	戸籍・住民登録	妊娠・子育て	教育・学校	国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金	健康・介護・福祉	税金	ごみ・リサイクル	防災・防犯・安全	その他	行政手続のオンライン化は必要ない	無回答
全　体	1,248	65.5	24.4	21.9	46.7	36.9	45.3	37.4	20.9	2.4	5.3	5.7
男性 計	484	72.7	26.4	26.7	51.2	41.1	56.0	40.7	26.4	1.7	3.7	3.1
10・20代	54	81.5	44.4	42.6	44.4	33.3	68.5	42.6	25.9	0.0	0.0	0.0
30代	68	77.9	54.4	44.1	48.5	48.5	66.2	44.1	32.4	2.9	1.5	1.5
40代	88	81.8	34.1	43.2	54.5	45.5	68.2	38.6	33.0	1.1	0.0	1.1
50代	91	78.0	28.6	22.0	52.7	38.5	56.0	49.5	28.6	1.1	2.2	0.0
60代	78	74.4	10.3	12.8	60.3	50.0	55.1	38.5	17.9	2.6	6.4	1.3
70代	74	50.0	4.1	9.5	45.9	36.5	33.8	41.9	25.7	2.7	6.8	9.5
80代以上	31	54.8	0.0	3.2	45.2	22.6	32.3	12.9	12.9	0.0	16.1	16.1
女性 計	748	61.5	23.5	19.1	44.1	34.2	38.9	35.7	17.6	2.9	6.3	6.7
10・20代	70	70.0	44.3	28.6	51.4	31.4	61.4	31.4	21.4	1.4	2.9	0.0
30代	103	85.4	54.4	32.0	52.4	37.9	57.3	35.0	21.4	0.0	1.0	0.0
40代	109	71.6	39.4	36.7	46.8	39.4	54.1	48.6	25.7	0.9	2.8	0.0
50代	164	62.8	15.2	18.9	53.0	37.2	45.1	39.6	16.5	2.4	5.5	3.7
60代	120	54.2	10.0	9.2	47.5	38.3	30.8	37.5	14.2	5.8	5.8	1.7
70代	98	41.8	4.1	4.1	26.5	22.4	11.2	31.6	14.3	4.1	16.3	13.3
80代以上	83	42.2	4.8	3.6	22.9	27.7	9.6	18.1	10.8	6.0	10.8	34.9

１２　広報・ウェブサイト

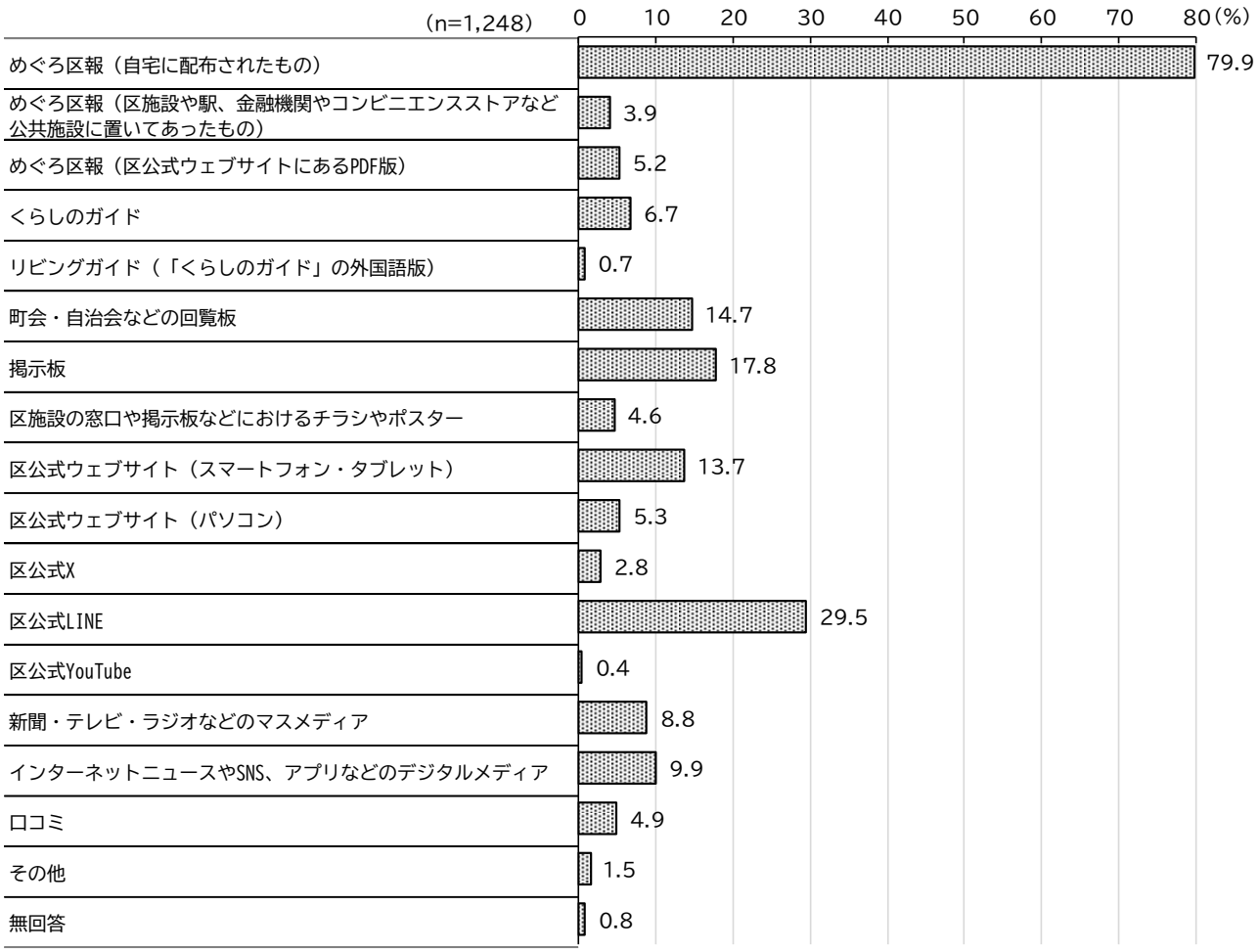
（１）区政情報の入手先

問42　あなたは、日ごろ、区政情報をどのように入手していますか。
（あてはまるものすべてに○）

①全体

「めぐろ区報（自宅に配布されたもの）」が79.9%で最も高くなっている。次いで「区公式LINE（29.5%）」、「掲示板（17.8%）」、「町会・自治会などの回覧板（14.7%）」、「区公式ウェブサイト（スマートフォン・タブレット）（13.7%）」となっている。

図12－１－１　区政情報の入手先（全体）



②性・年代別

「めぐろ区報（自宅に配布されたもの）」はすべての性・年代で５割以上で、特に男性の60代以上、女性の50代以上で８割を超えている。「区公式LINE」は男性の50代（48.4%）が最も高く、次いで女性の40～50代も４割半ばと高くなっている。「町会・自治会などの回覧板」と「掲示板」が年代が高いほど高い傾向がある。

図12－１－２　区政情報の入手先（性・年代別）

（%）

	n	めぐろ区報（自宅に配布されたもの）	めぐろ区報（区施設や駅、金融機関やコンビニエンスストアなど公共施設に置いてあったもの）	めぐろ区報（区公式ウェブサイトにあるPDF版）	くらしのガイド	リビングガイド（「くらしのガイド」の外国語版）	町会・自治会などの回覧板	掲示板	区施設の窓口や掲示板などにおけるチラシやポスター	区公式ウェブサイト（スマートフォン・タブレット）
全　体	1,248	79.9	3.9	5.2	6.7	0.7	14.7	17.8	4.6	13.7
男性 計	484	76.4	4.8	6.8	7.2	0.8	14.0	18.6	2.9	14.5
10・20代	54	57.4	5.6	1.9	1.9	0.0	3.7	20.4	1.9	11.1
30代	68	67.6	2.9	2.9	1.5	0.0	1.5	16.2	2.9	7.4
40代	88	76.1	3.4	4.5	3.4	0.0	3.4	15.9	1.1	8.0
50代	91	76.9	4.4	6.6	5.5	0.0	15.4	13.2	2.2	16.5
60代	78	80.8	5.1	9.0	14.1	2.6	24.4	19.2	3.8	23.1
70代	74	89.2	8.1	14.9	14.9	2.7	28.4	24.3	6.8	17.6
80代以上	31	87.1	3.2	6.5	9.7	0.0	25.8	29.0	0.0	19.4
男性 計	748	82.0	3.3	4.3	6.1	0.7	15.2	17.2	5.6	13.5
10・20代	70	57.1	0.0	4.3	5.7	2.9	5.7	14.3	4.3	15.7
30代	103	69.9	1.9	1.9	2.9	0.0	1.0	8.7	1.9	7.8
40代	109	76.1	2.8	5.5	0.9	1.8	8.3	15.6	6.4	15.6
50代	164	86.0	2.4	1.8	3.7	0.0	12.2	16.5	4.9	11.0
60代	120	90.0	5.8	9.2	10.0	0.8	17.5	19.2	5.8	20.8
70代	98	93.9	5.1	3.1	15.3	0.0	35.7	27.6	10.2	18.4
80代以上	83	91.6	4.8	4.8	6.0	0.0	28.9	19.3	6.0	4.8

	n	区公式ウェブサイト（パソコン）	区公式X	区公式LINE	区公式YouTube	新聞・テレビ・ラジオなどのマスメディア	インターネットニュースやSNS、アプリなどのデジタルメディア	口コミ	その他	無回答
全　体	1,248	5.3	2.8	29.5	0.4	8.8	9.9	4.9	1.5	0.8
女性 計	484	6.6	1.9	27.7	0.6	7.2	10.7	4.3	2.1	0.8
10・20代	54	1.9	5.6	11.1	1.9	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0
30代	68	4.4	1.5	20.6	0.0	4.4	11.8	2.9	7.4	1.5
40代	88	4.5	2.3	34.1	0.0	5.7	15.9	4.5	0.0	0.0
50代	91	7.7	3.3	48.4	1.1	8.8	12.1	6.6	3.3	1.1
60代	78	11.5	0.0	23.1	1.3	7.7	9.0	1.3	2.6	0.0
70代	74	8.1	0.0	25.7	0.0	14.9	6.8	9.5	0.0	2.7
80代以上	31	6.5	0.0	9.7	0.0	6.5	0.0	3.2	0.0	0.0
女性 計	748	4.5	3.5	31.3	0.3	9.8	9.6	5.2	1.2	0.7
10・20代	70	0.0	4.3	11.4	0.0	4.3	18.6	4.3	2.9	0.0
30代	103	1.0	6.8	27.2	0.0	4.9	12.6	3.9	2.9	0.0
40代	109	4.6	6.4	45.0	0.0	3.7	11.0	4.6	0.0	0.9
50代	164	6.1	3.7	45.1	0.0	4.3	11.0	3.0	0.6	0.0
60代	120	8.3	2.5	36.7	0.8	9.2	11.7	5.0	0.8	0.0
70代	98	8.2	0.0	25.5	1.0	20.4	1.0	8.2	1.0	1.0
80代以上	83	0.0	0.0	7.2	0.0	27.7	1.2	9.6	1.2	3.6

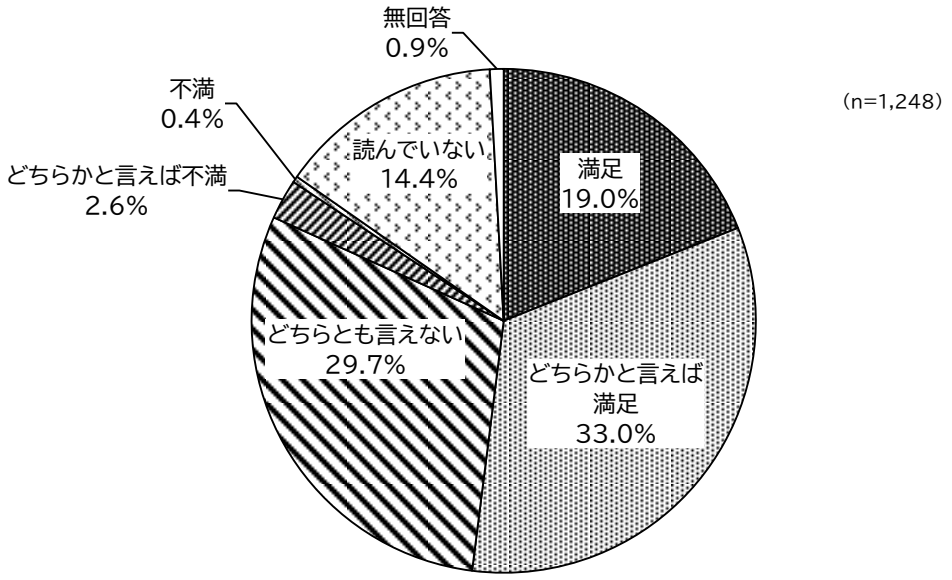
（２）「めぐろ区報」紙面の満足度

問43　あなたは、現在の「めぐろ区報」の紙面に満足していますか。
（あてはまるもの１つに○）

①全体

「どちらかと言えば満足」が33.0%で最も高くなっている。「どちらかと言えば満足（33.0%）」と「満足（19.0%）」を合わせた『満足』は52.0%となっている。「読んでいない」は14.4%である。

図12－２－１　「めぐろ区報」紙面の満足度（全体）

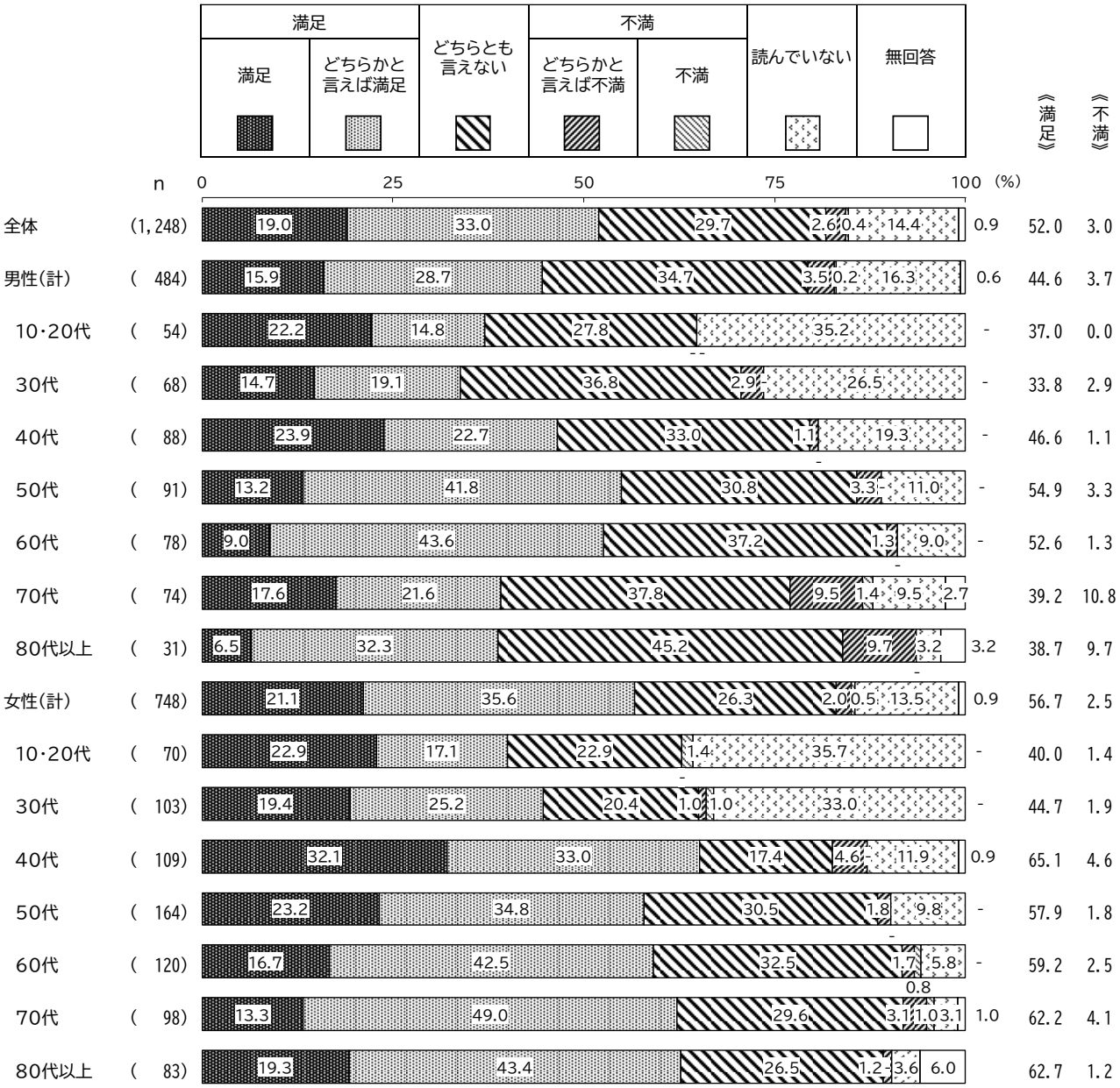


②性・年代別

『満足』は女性の方が男性より高く、女性の40代（65.1%）が最も高くなっている。男性は50代（54.9%）、60代（52.6%）で5割を超えている。

『不満』は男性の70代（10.8%）が最も高くなっている。

図12－2－2　「めぐろ区報」紙面の満足度（性・年代別）



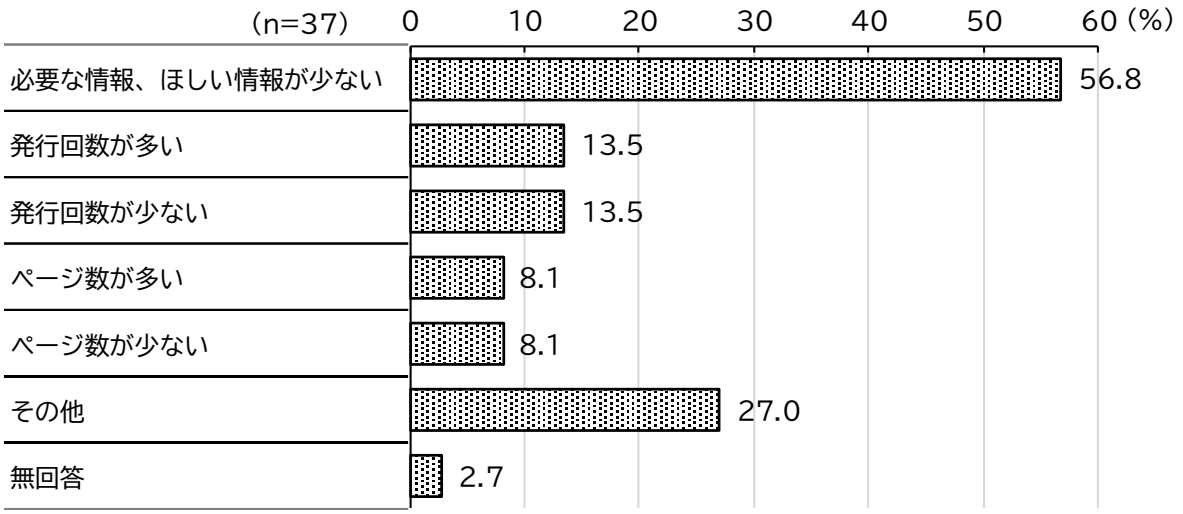
（3）「めぐろ区報」の不満に感じること

（問43で「どちらかと言えば不満」「不満」と回答した方にお尋ねします。）
問43-1　あなたは「めぐろ区報」のどんなことに不満を感じていますか。
（あてはまるものすべてに○）

①全体

「必要な情報、ほしい情報が少ない」が56.8%と最も高くなっている。「その他（27.0%）」を除くと、次いで「発行回数が多い」、「発行回数が少ない」が同率で13.5%となっている。

図12－3－1　「めぐろ区報」の不満に感じること（全体）



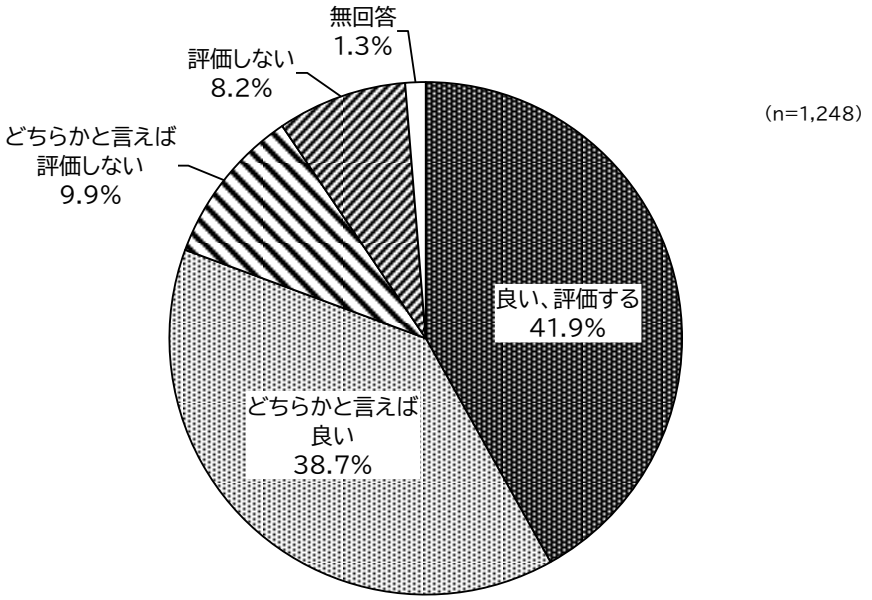
（4）「めぐろ区報」全戸配布の評価

問44　区内すべての世帯に紙の「めぐろ区報」をお届けしていることについて、どのようにお考えですか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「良い、評価する」が41.9%で最も高く、「どちらかと言えば良い（38.7%）」を合わせた『良い』が80.6%となっている。「どちらかと言えば評価しない（9.9%）」と「評価しない（8.2%）」を合わせた『評価しない』は18.1%である。

図12－4－1　「めぐろ区報」全戸配布の評価（全体）

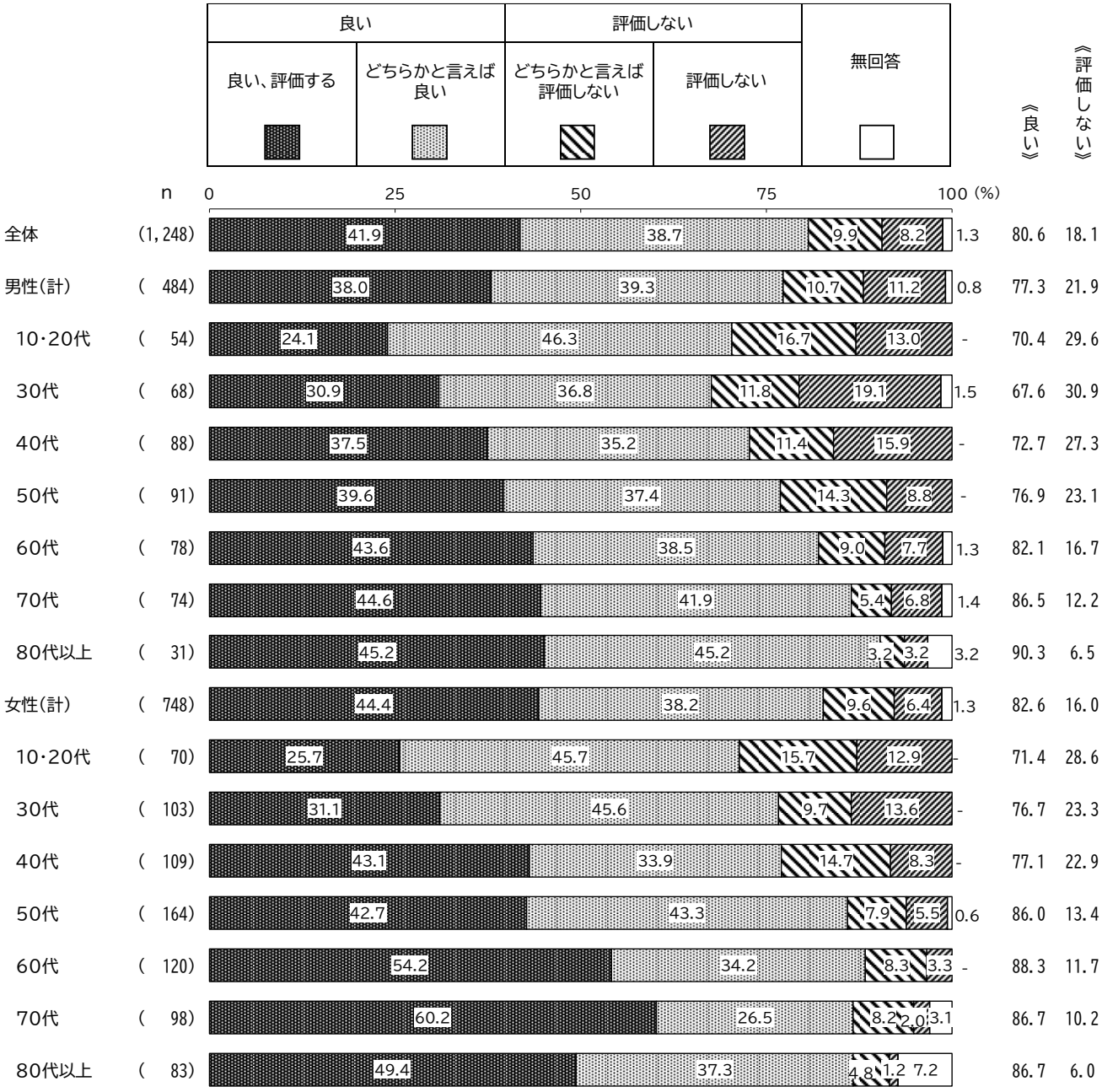


②性・年代別

「良い、評価する」は男女とも10・20代が最も低く、年代が高いほど割合が高くなる傾向にあり、女性の60～70代で５割以上となっている。『良い』は男性の30代を除くすべての性・年代で７割以上であり、男性は60代以上、女性は50代以上で８割以上となっている。

『評価しない』は年代が低いほど割合が高くなる傾向にあり、男性の30代で３割を超えている。

図12－４－２　「めぐろ区報」全戸配布の評価（性・年代別）



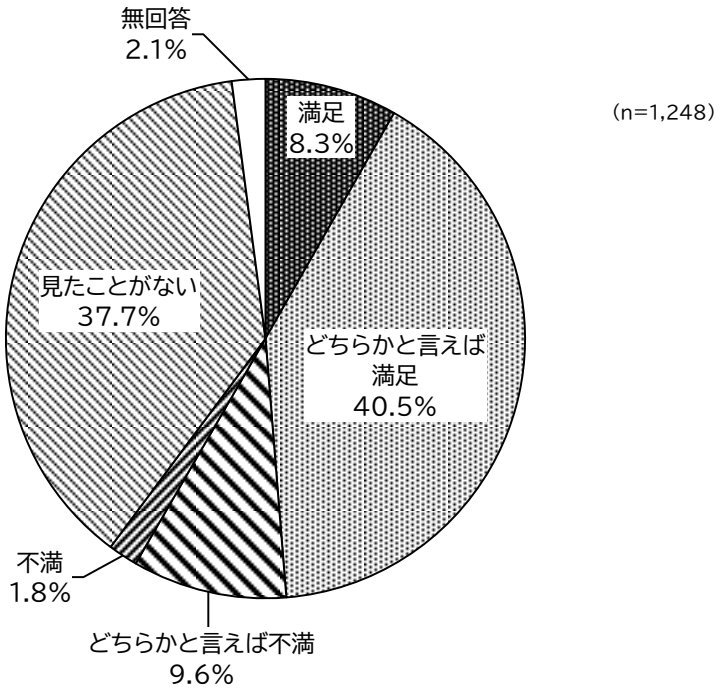
（５）目黒区公式ウェブサイトの満足度

問45　目黒区公式ウェブサイトの満足度について教えてください。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「どちらかと言えば満足（40.5%）」が最も高くなっている。次いで「見たことがない」が37.7%となっている。「満足（8.3%）」と「どちらかと言えば満足（40.5%）」を合わせた『満足』は48.7%である。

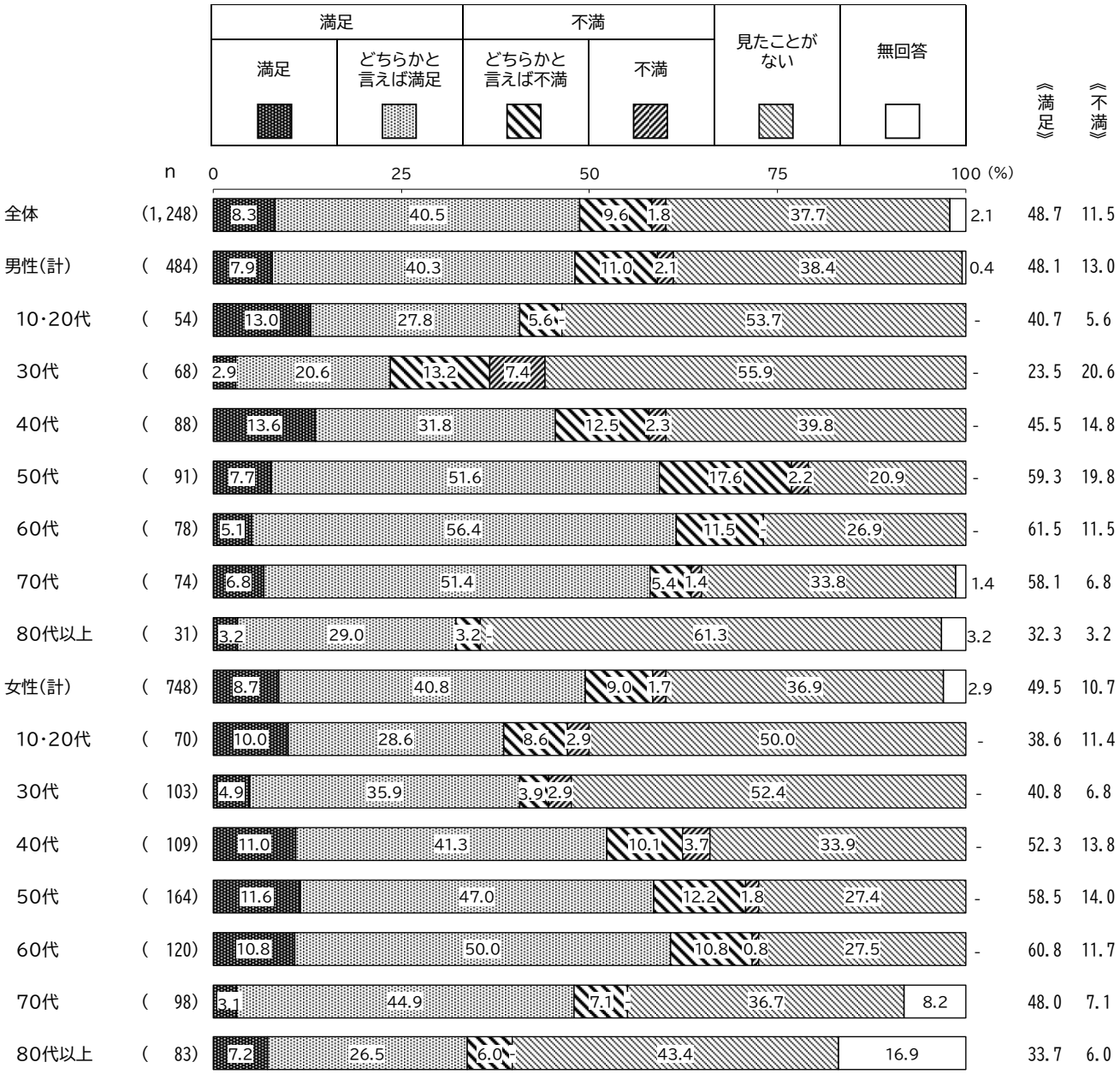
図12－５－１　目黒区公式ウェブサイトの満足度（全体）



②性・年代別

『満足』は男性の60代（61.5%）が最も高く、次いで女性の60代（60.8%）、男性の50代（59.3%）が高くなっている。『不満』は男性の30代（20.6%）と50代（19.8%）が約2割と高くなっている。

図12－5－2　目黒区公式ウェブサイトの満足度（性・年代別）



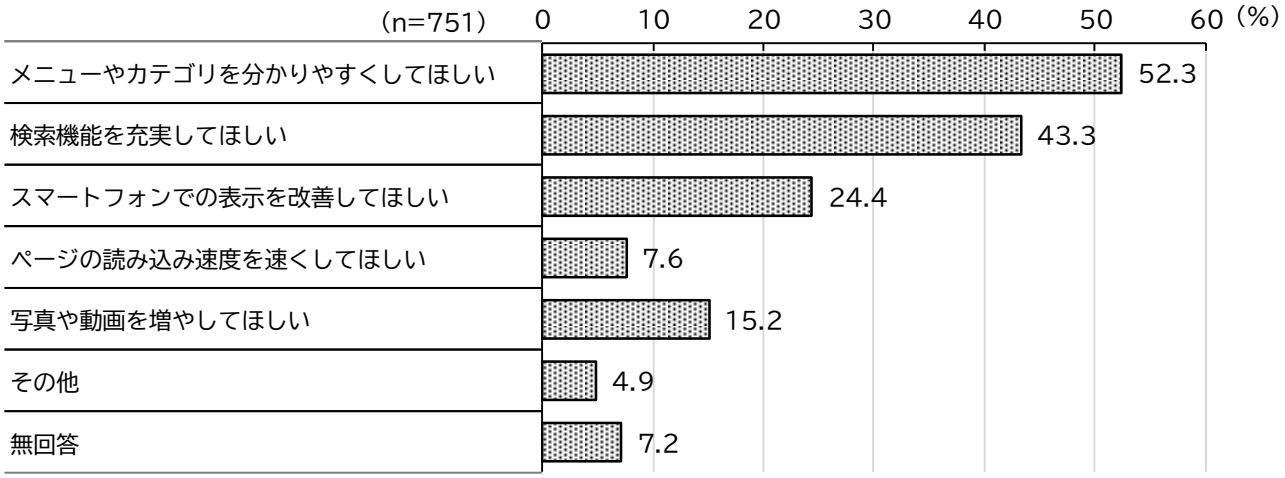
（6）目黒区公式ウェブサイトの改善してほしい点

（問45で「満足」～「不満」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）
問45-1　目黒区公式ウェブサイトの使い勝手で改善してほしい点はありますか。
（あてはまるものすべてに○）

①全体

「メニューやカテゴリを分かりやすくしてほしい」が52.3%と最も高くなっており、次いで「検索機能を充実してほしい（43.3%）」、「スマートフォンでの表示を改善してほしい（24.4%）」となっている。

図12－6－1　目黒区公式ウェブサイトの改善してほしい点（全体）



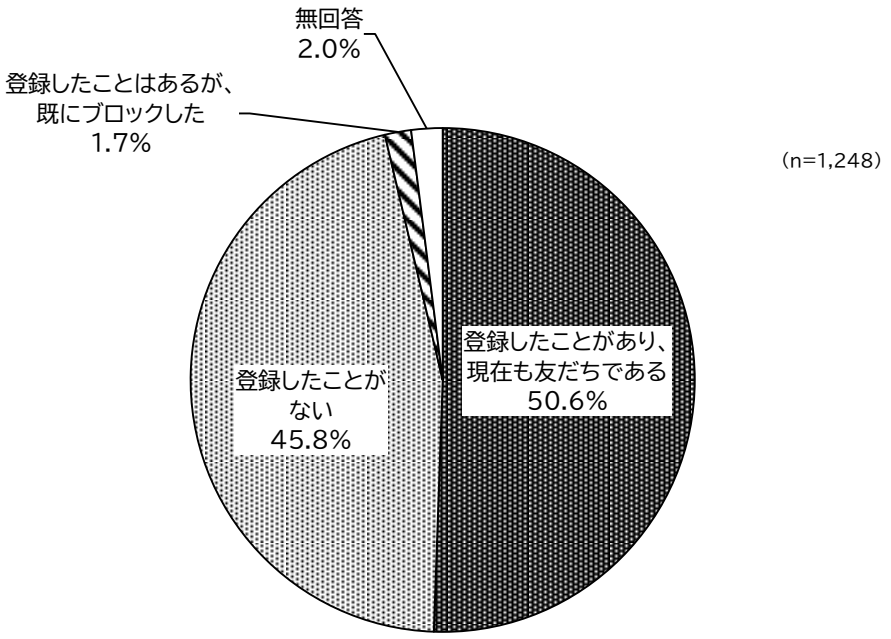
（7）目黒区公式LINEの登録状況

問46　目黒区公式LINEについてお伺いします。あなたは、目黒区公式LINEの友だち登録をしたことがありますか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「登録したことがあり、現在も友だちである」が50.6%と最も高くなっている。「登録したことがない」が45.8%、「登録したことはあるが、既にブロックした」が1.7%となっている。

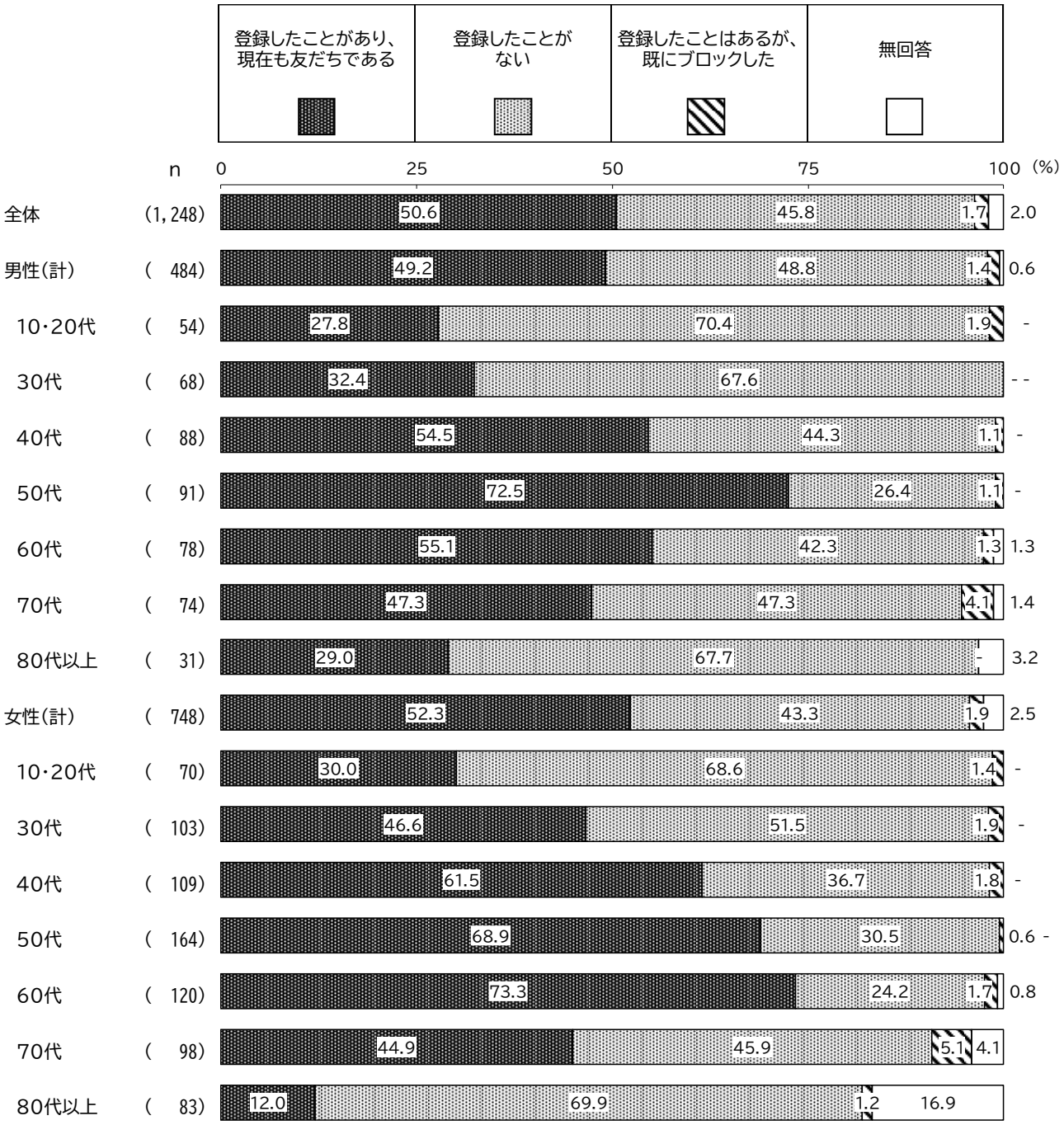
図12－7－1　目黒区公式LINEの登録状況（全体）



②性・年代別

「登録したことがあり、現在も友だちである」は男女ともに40～60代で５割を超えている。「登録したことがない」は男性の10・20代～30代、80代以上と女性の10・20代と80代以上が６割以上となっている。

図12－７－２　目黒区公式LINEの登録状況（性・年代別）



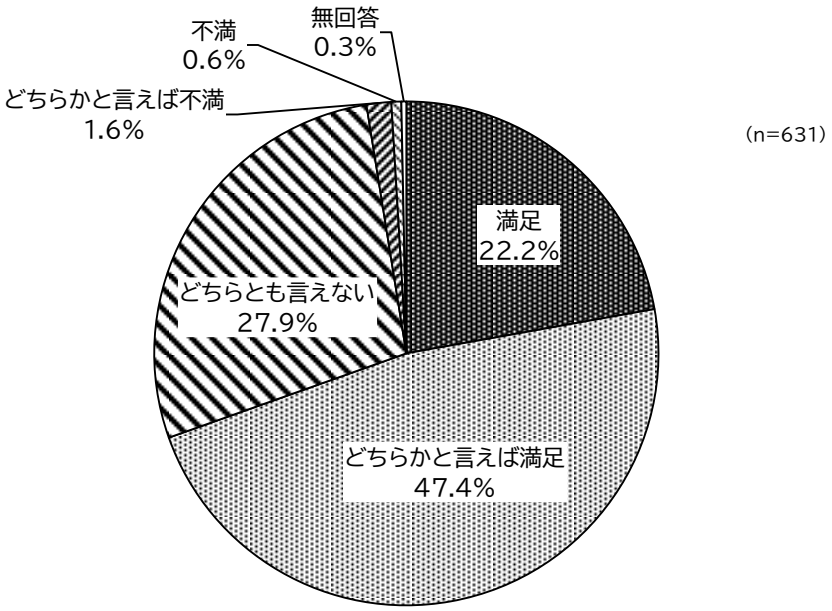
（8）目黒区公式LINEの満足度

（問46で「登録したことがあり、現在も友だちである」と回答した方にお尋ねします。）
問46-1　あなたは、現在の目黒区公式LINEに満足していますか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「どちらかと言えば満足」が47.4%で最も高く、「満足（22.2%）」を合わせた『満足』は69.6%となっている。「どちらかと言えば不満（1.6%）」と「不満（0.6%）」を合わせた『不満』は2.2%、「どちらとも言えない」は27.9%となっている。

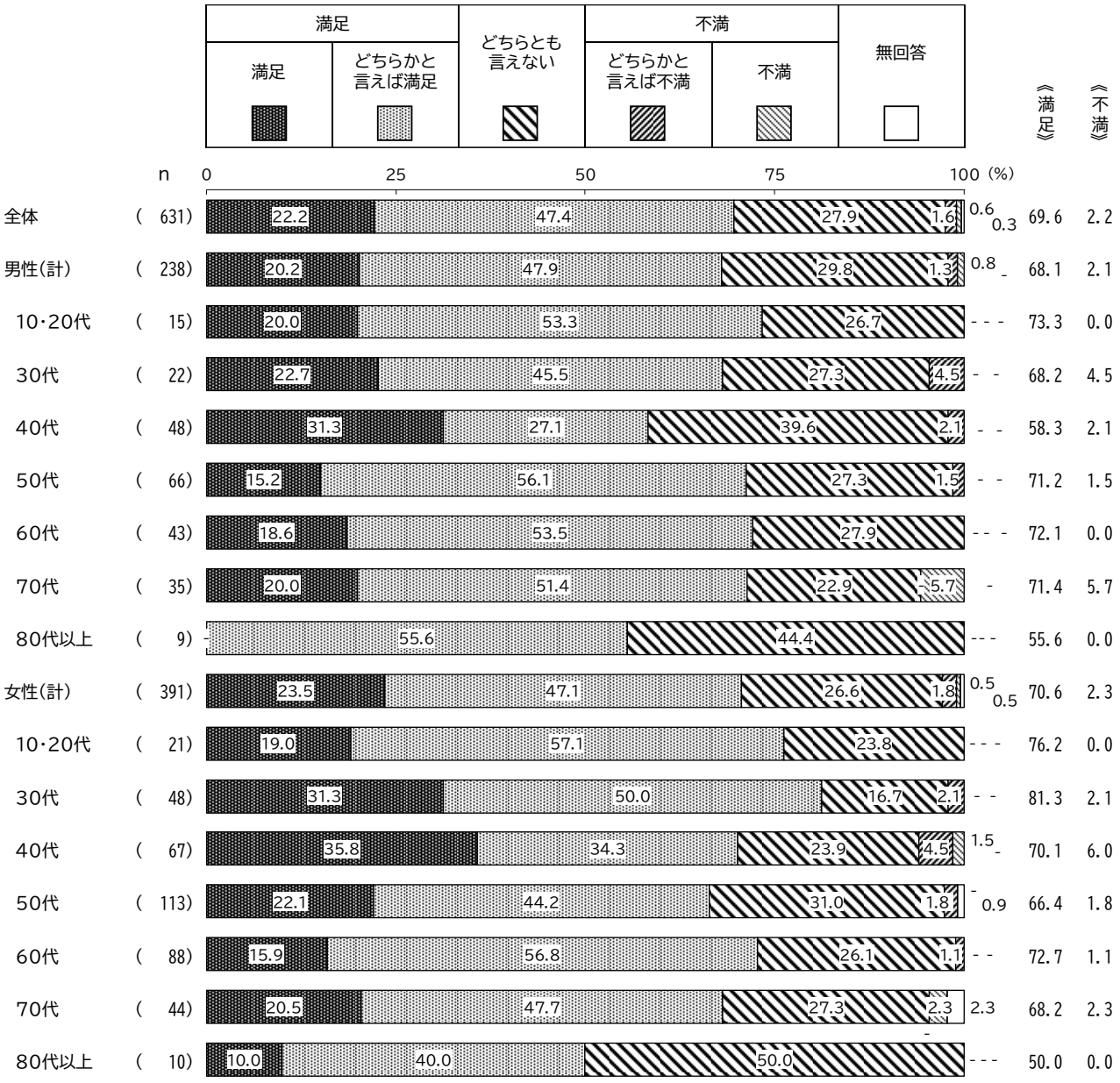
図12－8－1　目黒区公式LINEの満足度（全体）



②性・年代別

すべての性・年代で『満足』が５割以上となっており、『不満』は１割未満となっている。

図12－８－２　目黒区公式LINEの満足度（性・年代別）



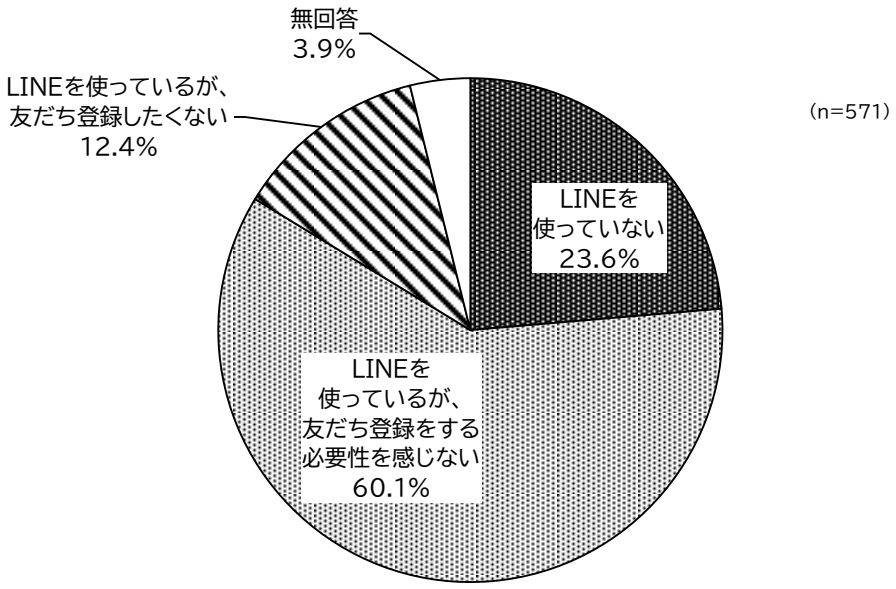
（9）目黒区公式LINEを登録しない理由

（問46で「登録したことがない」と回答した方にお尋ねします。）
問46-2　あなたが、目黒区公式LINEを友だち登録したことがない理由を教えてください。
（あてはまるもの１つに○）

①全体

「LINEを使っているが、友だち登録をする必要性を感じない」が60.1%で最も高くなっている。「LINEを使っていない」は23.6%、「LINEを使っているが、友だち登録したくない」は12.4%である。

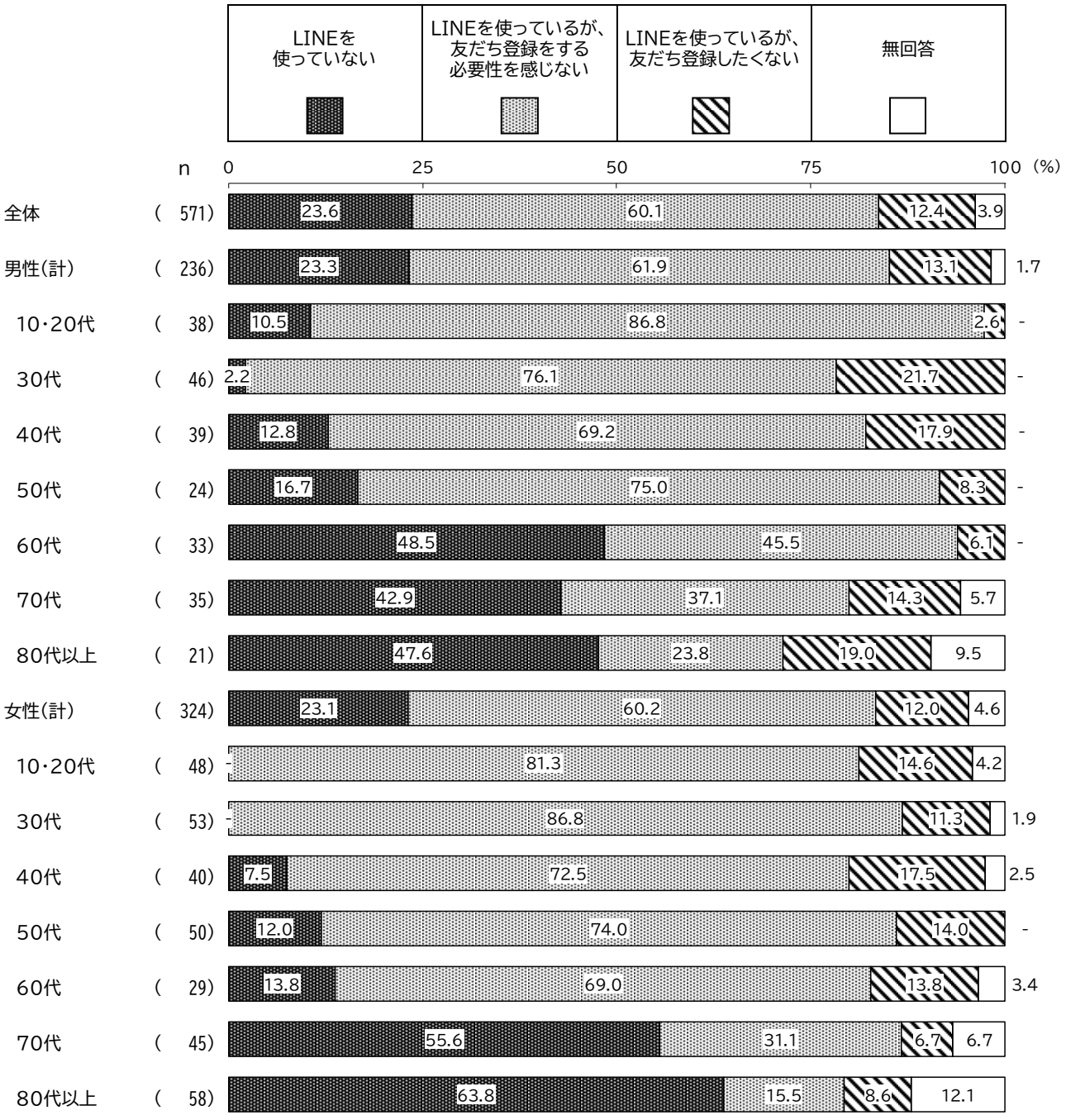
図12－9－1　目黒区公式LINEを登録しない理由（全体）



②性・年代別

女性の70代以上は「LINEを使っていない」が５割以上となっている。

図12－９－２　目黒区公式LINEを登録しない理由（性・年代別）



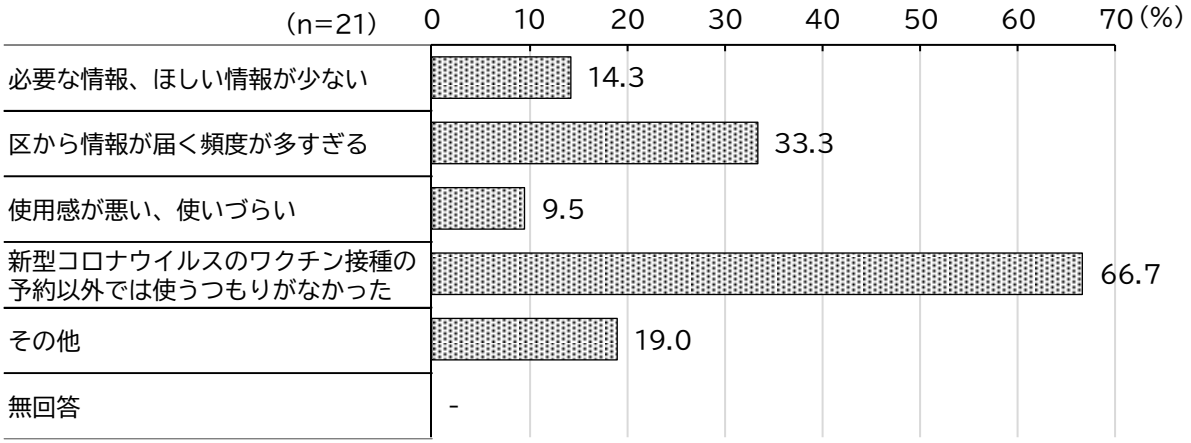
（10）目黒区公式LINEをブロックした理由

（問46で「登録したことはあるが、既にブロックした」と回答した方にお尋ねします。）
問46-３　あなたが、目黒区公式LINEをブロックした理由を教えてください。
（あてはまるものすべてに〇）

①全体

「新型コロナウイルスのワクチン接種の予約以外では使うつもりがなかった」が66.7%で最も高くなっている。次いで「区から情報が届く頻度が多すぎる（33.3%）」となっている。

図12－10－１　目黒区公式LINEをブロックした理由（全体）



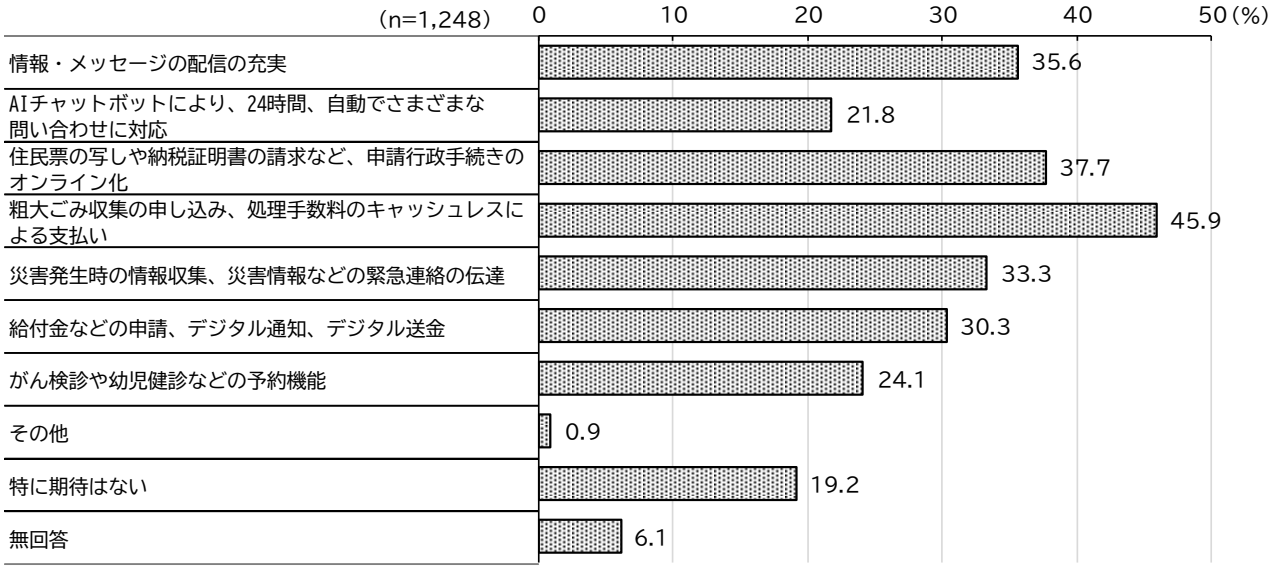
（11）目黒区公式LINEに期待すること

問47　今後、目黒区公式LINEに期待することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

①全体

「粗大ごみ収集の申し込み、処理手数料のキャッシュレスによる支払い」が45.9%と最も高くなっている。次いで「住民票の写しや納税証明書の請求など、申請行政手続きのオンライン化（37.7%）」、「情報・メッセージの配信の充実」が35.6%で高くなっている。

図12－11－1　目黒区公式LINEに期待すること（全体）



②性・年代別

「粗大ごみ収集の申し込み、処理手数料のキャッシュレスによる支払い」は男性の50代（60.4%）と女性の30代（63.1%）、40代（64.2%）で６割を超えている。「住民票の写しや納税証明書の請求など、申請行政手続きのオンライン化」は女性の30代（65.0%）で最も高くなっている。「給付金などの申請、デジタル通知、デジタル送金」と「がん検診や幼児健診などの予約機能」は女性の30～40代を中心に高くなっている。

表12－11－１　目黒区公式LINEに期待すること（性・年代別）

（%）

	n	情報・メッセージの配信の充実	AIチャットボットにより、24時間、自動でさまざまな問い合わせに対応	住民票の写しや納税証明書の請求など、申請行政手続きのオンライン化	粗大ごみ収集の申し込み、処理手数料のキャッシュレスによる支払い	災害発生時の情報収集、災害情報などの緊急連絡の伝達	給付金などの申請、デジタル通知、デジタル送金	がん検診や幼児健診などの予約機能	その他	特に期待はない	無回答
全　体	1,248	35.6	21.8	37.7	45.9	33.3	30.3	24.1	0.9	19.2	6.1
男性 計	484	35.5	22.1	40.7	44.0	31.0	32.0	17.4	1.4	21.9	3.3
10･20代	54	22.2	25.9	35.2	24.1	24.1	29.6	9.3	0.0	29.6	0.0
30代	68	30.9	23.5	32.4	47.1	27.9	36.8	17.6	1.5	25.0	0.0
40代	88	28.4	17.0	39.8	52.3	28.4	36.4	18.2	4.5	22.7	1.1
50代	91	48.4	35.2	54.9	60.4	44.0	35.2	26.4	1.1	11.0	1.1
60代	78	38.5	17.9	47.4	43.6	25.6	39.7	15.4	0.0	21.8	3.8
70代	74	39.2	18.9	35.1	33.8	32.4	18.9	18.9	1.4	23.0	9.5
80代以上	31	35.5	6.5	25.8	25.8	29.0	16.1	3.2	0.0	29.0	12.9
女性 計	748	36.1	22.1	36.1	47.9	35.3	29.5	28.9	0.5	17.4	7.1
10･20代	70	27.1	34.3	42.9	48.6	32.9	34.3	32.9	0.0	22.9	0.0
30代	103	33.0	30.1	65.0	63.1	34.0	41.7	45.6	0.0	11.7	0.0
40代	109	37.6	34.9	45.9	64.2	46.8	44.0	41.3	0.0	14.7	0.0
50代	164	40.2	23.2	37.8	58.5	37.8	32.9	32.9	2.4	13.4	1.2
60代	120	49.2	18.3	33.3	48.3	43.3	30.0	27.5	0.0	16.7	3.3
70代	98	32.7	5.1	16.3	22.4	26.5	13.3	12.2	0.0	24.5	15.3
80代以上	83	22.9	7.2	4.8	15.7	18.1	3.6	2.4	0.0	24.1	38.6

１３　自転車の安全利用

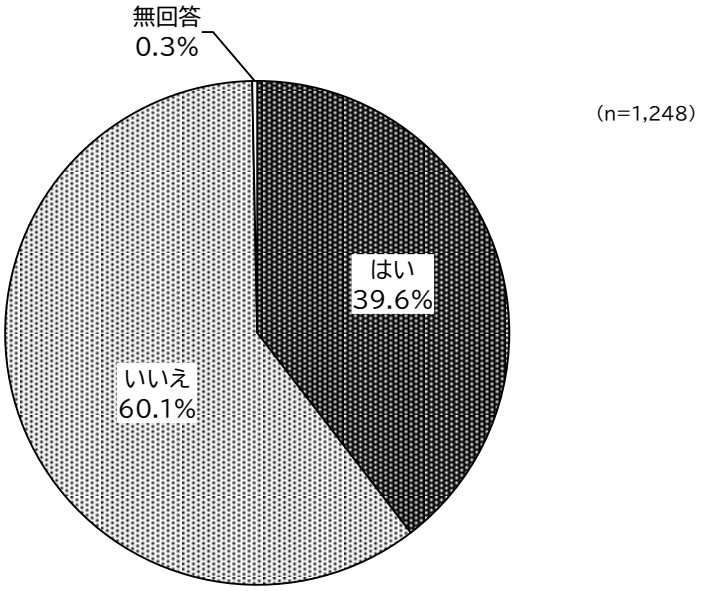
（１）自転車の利用状況

問48　あなたは日常生活の中で、自転車を利用していますか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「いいえ」が60.1%、「はい」が39.6%となっている。

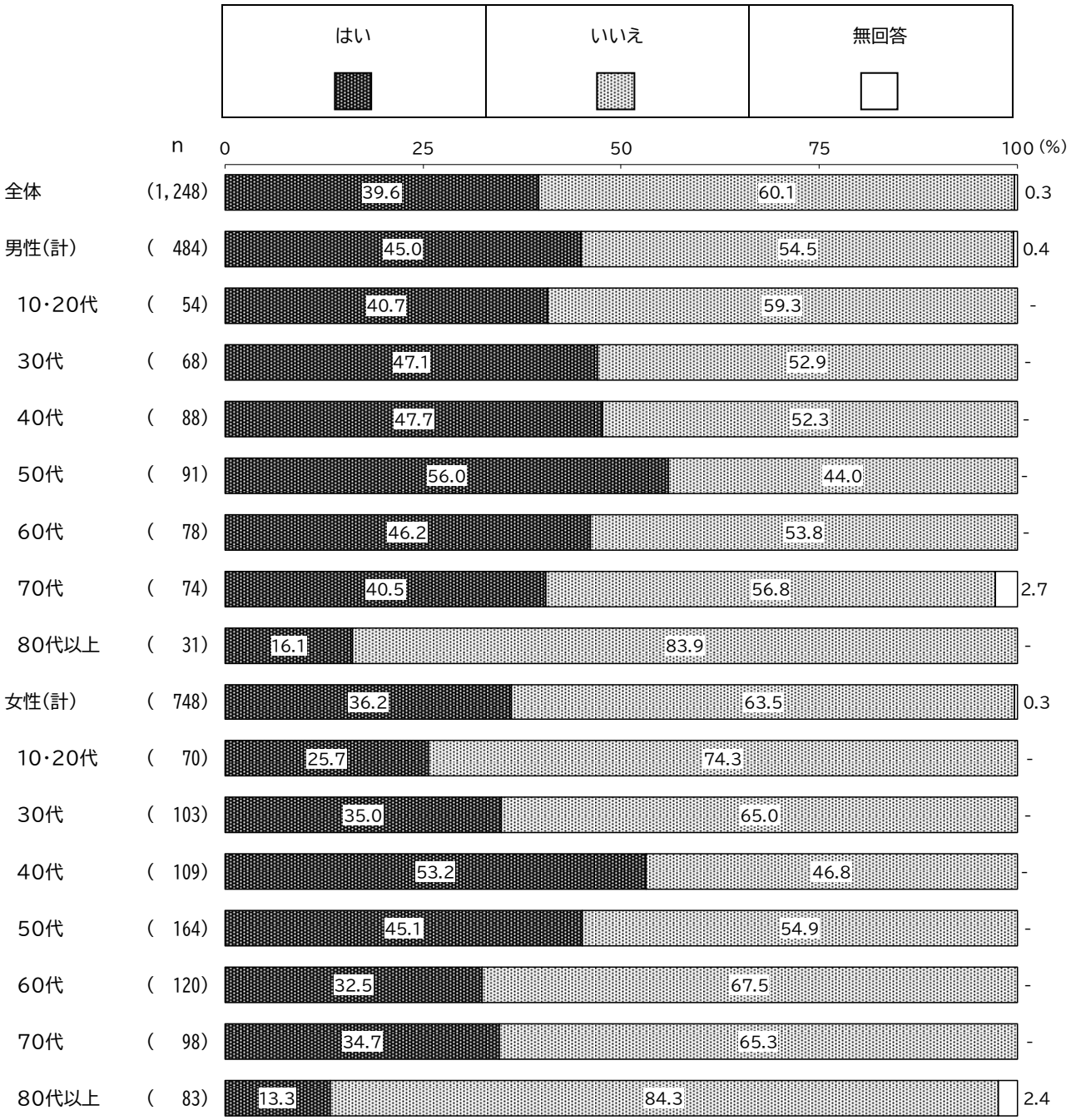
図13－１－１　自転車の安全利用（全体）



②性・年代別

「はい」は男性の方が女性より高く、男性の50代（56.0%）が最も高く５割を超えている。女性では40代（53.2%）が最も高く、次いで50代（45.1%）となっている。

図13－１－２　自転車の安全利用（性・年代別）



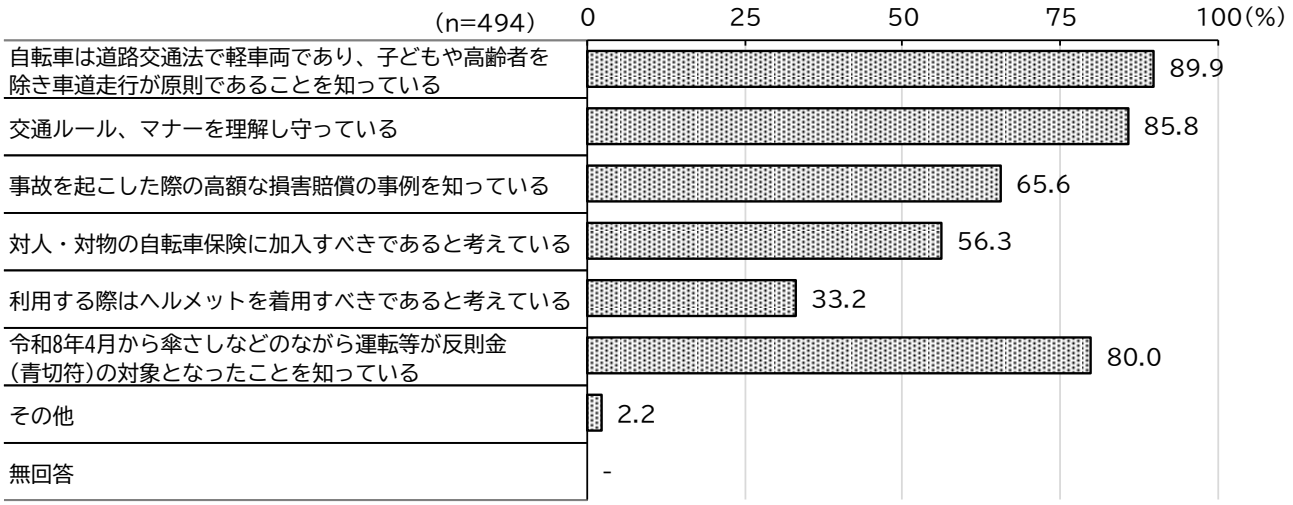
（2）自転車の安全利用への意識

（問48で「はい」と回答した方にお尋ねします。）
問48-1　あなたは、自転車を安全に利用するために、どのような意識を持っていますか。
（あてはまるものすべてに○）

①全体

「自転車は道路交通法で軽車両であり、子どもや高齢者を除き車道走行が原則であることを知っている」が89.9%、「交通ルール、マナーを理解し守っている」が85.8%と高くなっている。次いで「令和8年4月から傘さしなどのながら運転等が反則金(青切符)の対象となったことを知っている（80.0%）」「事故を起こした際の高額な損害賠償の事例を知っている（65.6%）」となっている。

図13－2－1　自転車の安全利用への意識（全体）



②性・年代別

「自転車は道路交通法で軽車両であり、子どもや高齢者を除き車道走行が原則であることを知っている」は男性は89.0%、女性は90.4%とともに約９割となっている。「交通ルール、マナーを理解し守っている」は女性（83.8%）より男性（88.1%）のほうが高くなっている。「対人・対物の自転車保険に加入すべきであると考えている」は男女ともに30代で4割台となっており、40代～70代に比べて低くなっている。

表13－２－１　自転車の安全利用への意識（性・年代別）

（%）

	n	自転車は道路交通法で軽車両であり、子どもや高齢者を除き車道走行が原則であることを知っている	交通ルール、マナーを理解し守っている	事故を起こした際の高額な損害賠償の事例を知っている	対人・対物の自転車保険に加入すべきであると考えている	利用する際はヘルメットを着用すべきであると考えている	令和8年4月から傘さしなどのながら運転等が反則金(青切符)の対象となったことを知っている	その他	無回答
全　体	494	89.9	85.8	65.6	56.3	33.2	80.0	2.2	0.0
男性　計	218	89.0	88.1	67.0	57.8	35.8	81.7	1.8	0.0
10･20代	22	68.2	95.5	54.5	54.5	27.3	81.8	0.0	0.0
30代	32	81.3	84.4	53.1	46.9	28.1	78.1	0.0	0.0
40代	42	92.9	90.5	57.1	54.8	42.9	76.2	2.4	0.0
50代	51	92.2	82.4	74.5	58.8	27.5	78.4	2.0	0.0
60代	36	94.4	91.7	77.8	66.7	36.1	86.1	2.8	0.0
70代	30	96.7	86.7	73.3	56.7	46.7	90.0	3.3	0.0
80代以上	5	80.0	100.0	100.0	100.0	80.0	100.0	0.0	0.0
女性　計	271	90.4	83.8	64.2	54.2	30.6	78.6	2.6	0.0
10･20代	18	88.9	72.2	50.0	33.3	22.2	66.7	0.0	0.0
30代	36	91.7	86.1	58.3	41.7	25.0	75.0	2.8	0.0
40代	58	93.1	75.9	70.7	63.8	34.5	74.1	1.7	0.0
50代	74	85.1	86.5	71.6	56.8	27.0	82.4	2.7	0.0
60代	39	89.7	82.1	66.7	59.0	20.5	84.6	0.0	0.0
70代	34	94.1	94.1	47.1	52.9	50.0	82.4	2.9	0.0
80代以上	11	100.0	90.9	63.6	45.5	36.4	72.7	18.2	0.0

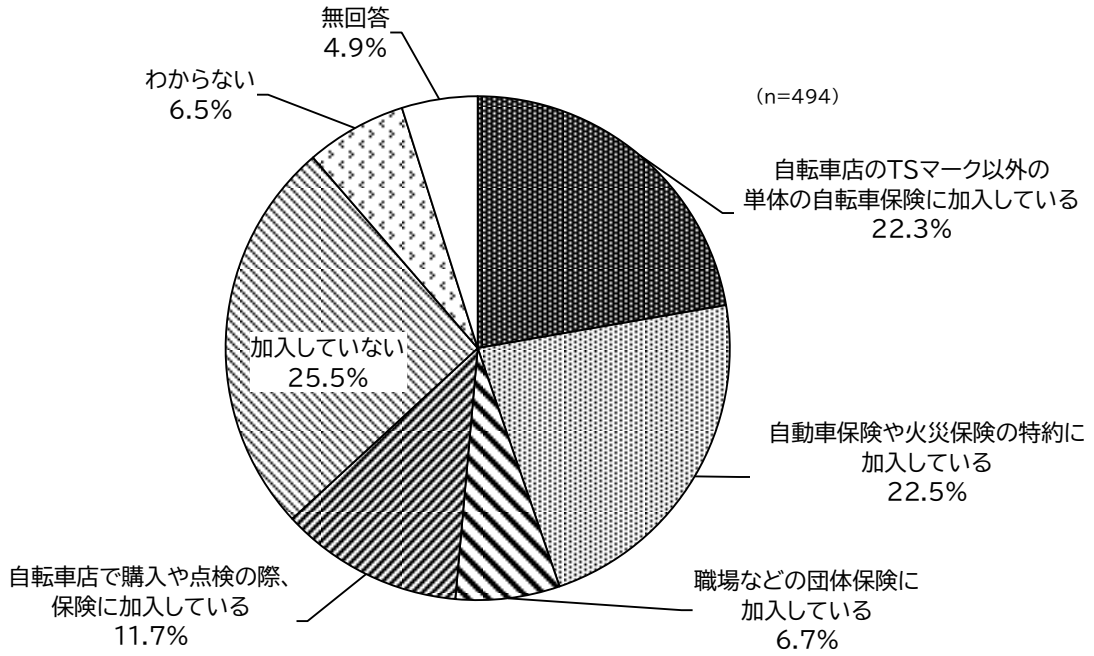
（3）自転車保険の加入状況

（問48で「はい」と回答した方にお尋ねします。）
問48-2　あなたは自転車保険に加入していますか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「加入していない」が25.5%で最も高くなっている。次いで「自動車保険や火災保険の特約に加入している（22.5%）」、「自転車店のTSマーク以外の単体の自転車保険に加入している」は22.3%となっている。

図13－３－１　自転車保険の加入状況（全体）



②性・年代別

『加入している』は男性（63.3%）の方が女性（62.7%）より高く、男性の50代で８割を超えている。

図13－３－２　自転車保険の加入状況（性・年代別）

（%）

	n	自転車店のTSマーク以外の単体の自転車保険に加入している	自動車保険や火災保険の特約に加入している	職場などの団体保険に加入している	自転車店で購入や点検の際、保険に加入している	加入していない	わからない	無回答	《加入している》
全　体	494	22.3	22.5	6.7	11.7	25.5	6.5	4.9	63.2
男性 計	218	16.1	27.5	9.2	10.6	25.7	7.3	3.7	63.3
10･20代	22	13.6	13.6	0.0	22.7	36.4	4.5	9.1	50.0
30代	32	12.5	15.6	9.4	3.1	46.9	12.5	0.0	40.6
40代	42	26.2	28.6	7.1	9.5	21.4	7.1	0.0	71.4
50代	51	11.8	39.2	21.6	9.8	13.7	3.9	0.0	82.4
60代	36	22.2	25.0	8.3	5.6	22.2	13.9	2.8	61.1
70代	30	10.0	30.0	0.0	16.7	30.0	3.3	10.0	56.7
80代以上	5	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	60.0
女性 計	271	26.9	18.8	4.8	12.2	25.5	5.9	5.9	62.7
10･20代	18	11.1	11.1	5.6	11.1	44.4	16.7	0.0	38.9
30代	36	25.0	11.1	5.6	22.2	30.6	5.6	0.0	63.9
40代	58	34.5	20.7	5.2	15.5	19.0	1.7	3.4	75.9
50代	74	23.0	27.0	4.1	8.1	27.0	5.4	5.4	62.2
60代	39	28.2	20.5	10.3	5.1	20.5	5.1	10.3	64.1
70代	34	32.4	11.8	0.0	17.6	20.6	8.8	8.8	61.8
80代以上	11	27.3	9.1	0.0	0.0	27.3	9.1	27.3	36.4

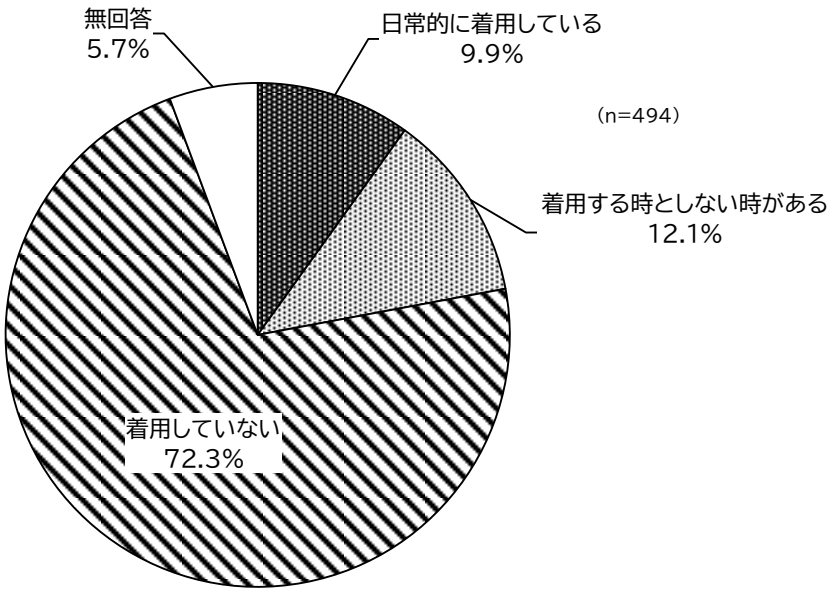
（4）自転車利用時のヘルメット着用状況

（問48で「はい」と回答した方にお尋ねします。）
問48-3　あなたは自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。
（あてはまるもの１つに○）

①全体

「着用していない」が72.3%で最も高くなっている。次いで「着用する時としない時がある（12.1%）」、「日常的に着用している（9.9%）」、となっている。

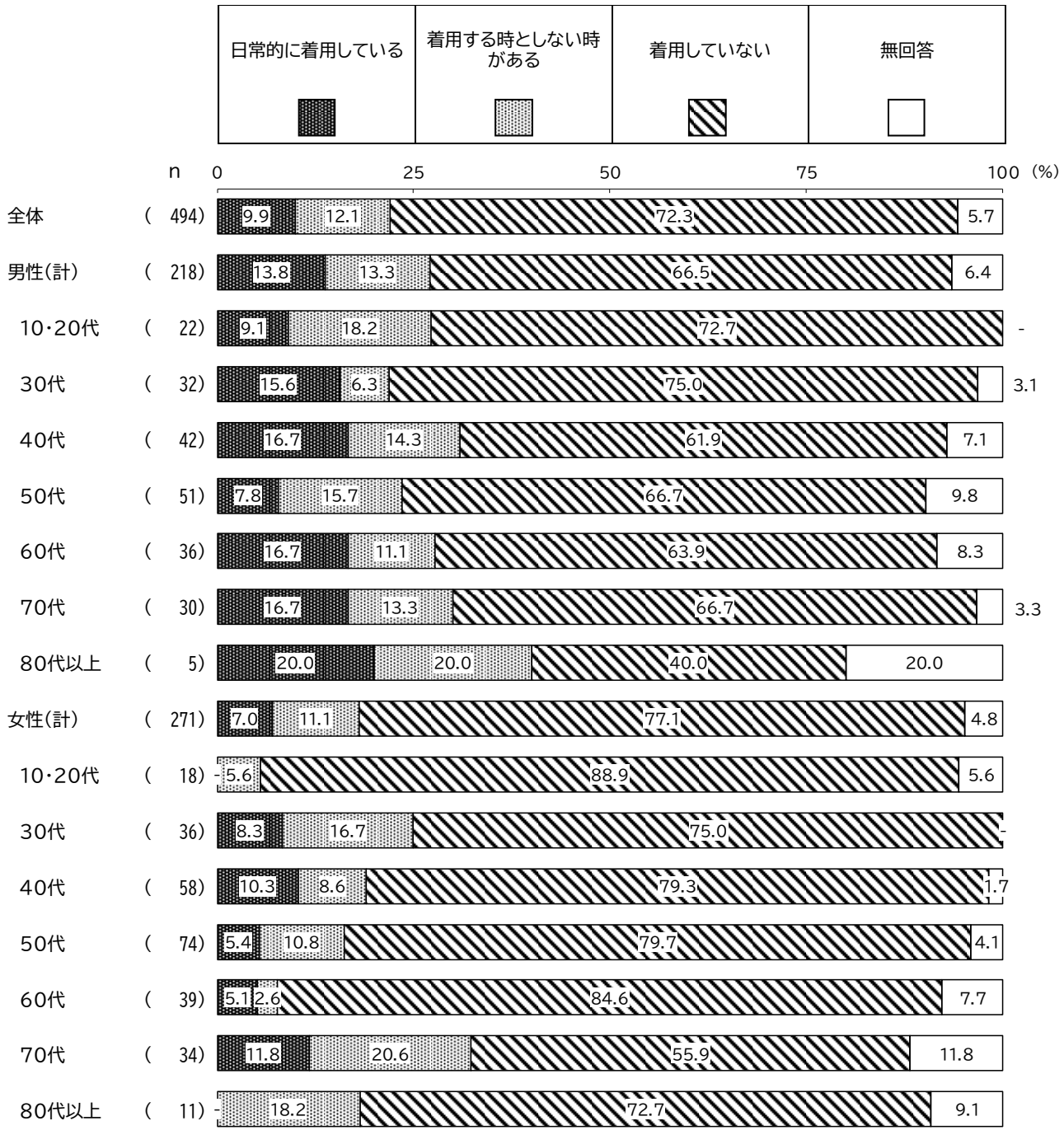
図13－４－１　自転車利用時のヘルメット着用状況（全体）



②性・年代別

「着用していない」が男性よりも女性の方が高く、女性の60代（84.6%）で8割を超えている。「日常的に着用している」は男性の40代、60～70代で16.7%と高くなっている。

図13－4－2　自転車利用時のヘルメット着用状況（性・年代別）



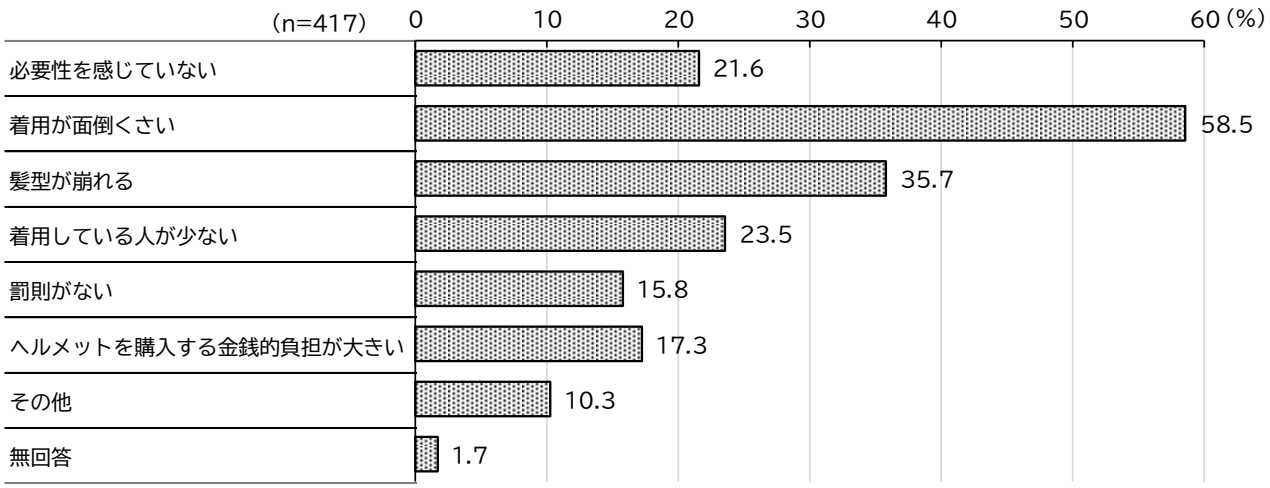
（5）ヘルメットを着用しない理由

（問48-3で「着用する時としない時がある」「着用していない」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）
問48-3-1　あなたがヘルメットを着用しない理由を教えてください。
（あてはまるものすべてに○）

①全体

「着用が面倒くさい」が58.5%と最も高くなっている。次いで「髪型が崩れる（35.7%）」、「着用している人が少ない（23.5%）」、「必要性を感じていない（21.6%）」となっている。

図13－5－1　ヘルメットを着用しない理由（全体）



②性・年代別

「着用が面倒くさい」が男女ともに最も高くなっている。「髪型が崩れる」は男性（29.3%）より女性（41.0%）のほうが高く、特に女性の40代（56.9%）が5割を超えている。「必要性を感じていない」は男性（27.0%）が女性（17.6%）よりも高くなっている。

表13－5－1　ヘルメットを着用しない理由（性・年代別）

（%）

	n	必要性を感じていない	着用が面倒くさい	髪型が崩れる	着用している人が少ない	罰則がない	ヘルメットを購入する金銭的負担が大きい	その他	無回答
全　体	417	21.6	58.5	35.7	23.5	15.8	17.3	10.3	1.7
男性 計	174	27.0	59.8	29.3	22.4	19.5	13.8	7.5	2.9
10･20代	20	25.0	60.0	45.0	30.0	15.0	10.0	10.0	0.0
30代	26	46.2	61.5	34.6	26.9	23.1	11.5	3.8	0.0
40代	32	21.9	59.4	31.3	28.1	28.1	21.9	0.0	3.1
50代	42	23.8	57.1	35.7	11.9	16.7	14.3	7.1	0.0
60代	27	25.9	66.7	25.9	29.6	18.5	7.4	7.4	7.4
70代	24	20.8	54.2	4.2	12.5	16.7	16.7	20.8	8.3
80代以上	3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 計	239	17.6	58.2	41.0	24.3	13.4	19.2	12.6	0.8
10･20代	17	23.5	70.6	58.8	29.4	29.4	17.6	0.0	0.0
30代	33	21.2	60.6	42.4	33.3	12.1	21.2	12.1	0.0
40代	51	23.5	74.5	56.9	17.6	9.8	25.5	7.8	0.0
50代	67	14.9	52.2	31.3	16.4	13.4	19.4	16.4	0.0
60代	34	20.6	58.8	44.1	44.1	14.7	20.6	11.8	0.0
70代	26	7.7	42.3	23.1	15.4	15.4	7.7	15.4	3.8
80代以上	10	0.0	30.0	20.0	30.0	0.0	0.0	30.0	10.0

１４　区の政策など

（１）良いと思う施策・悪いと思う施策

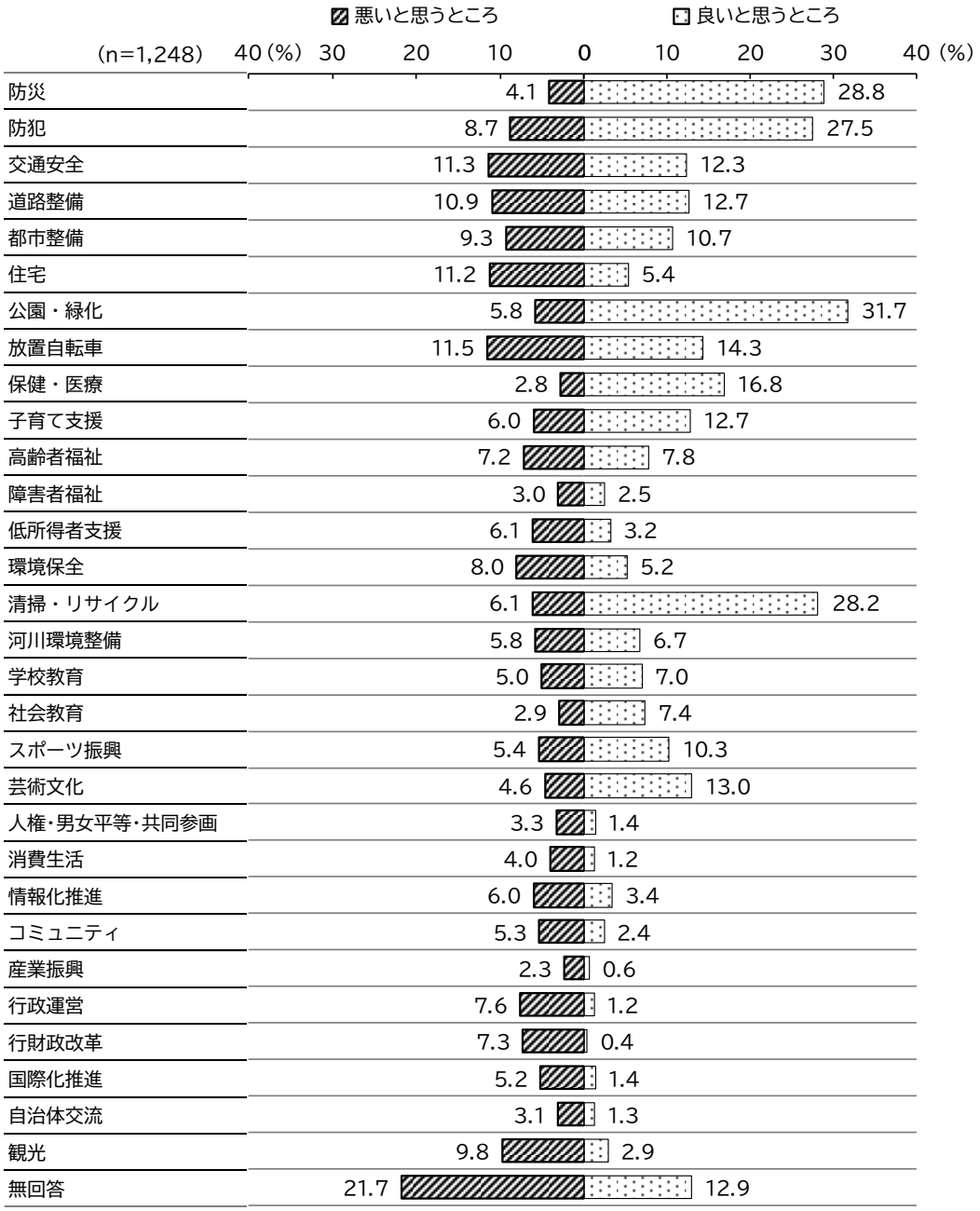
問49　あなたは、区の施策についてどのように思いますか。下表の１～３０の中からそれぞれ５つまで選び、番号を記入してください。
問49-１　良いと思うところ
問49-２　悪いと思うところ

①全体

良いと思う施策は、「公園・緑化」が31.7%で最も高く、次いで「防災（28.8%）」、「清掃・リサイクル（28.2%）」「防犯（27.5%）」となっている。

悪いと思う施策は、「放置自転車」が11.5%で最も高く、次いで「交通安全（11.3%）」、「住宅（11.2%）」、「道路整備（10.9%）」となっている。

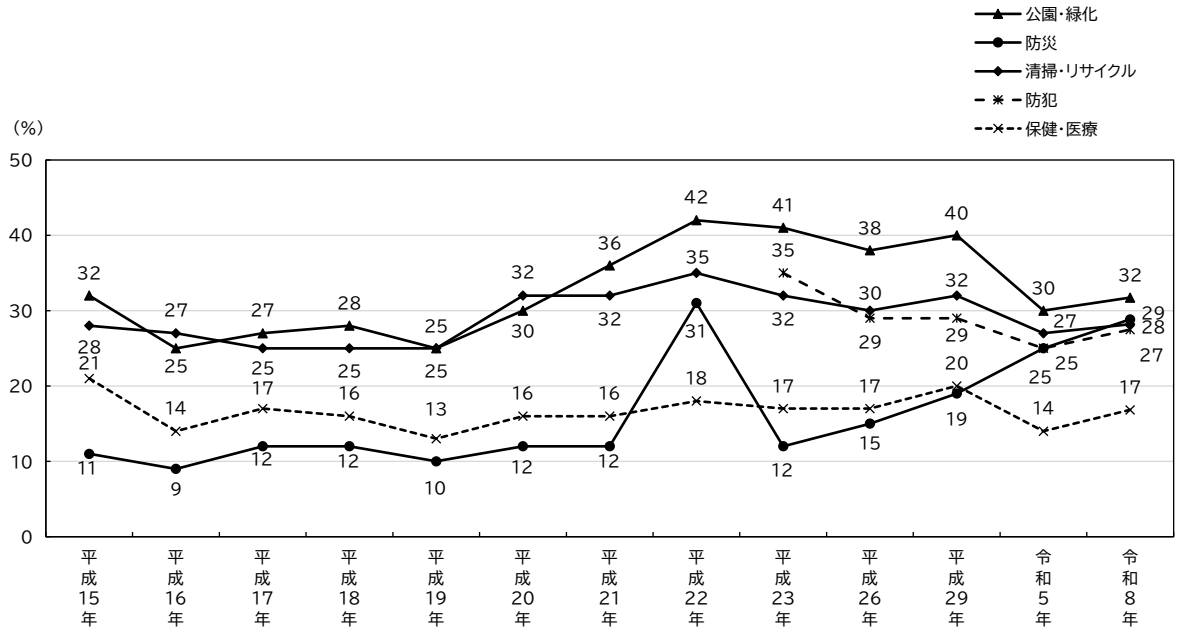
図14－１－１　良いと思う施策・悪いと思う施策（全体）



良いと思う施策の推移をみると、「公園・緑化」は平成21年以降第一位となっており、令和５年は平成29年に比べ減少したが、令和８年は令和５年からやや増加している。「防災」は平成23年以降増加を続けており、令和８年は第二位となっている。

悪いと思う施策の推移をみると、「放置自転車」は平成15年以降第一位で推移しているが、割合は年々減少している。

図14－１－２　良いと思う施策の推移【上位５項目】（全体）



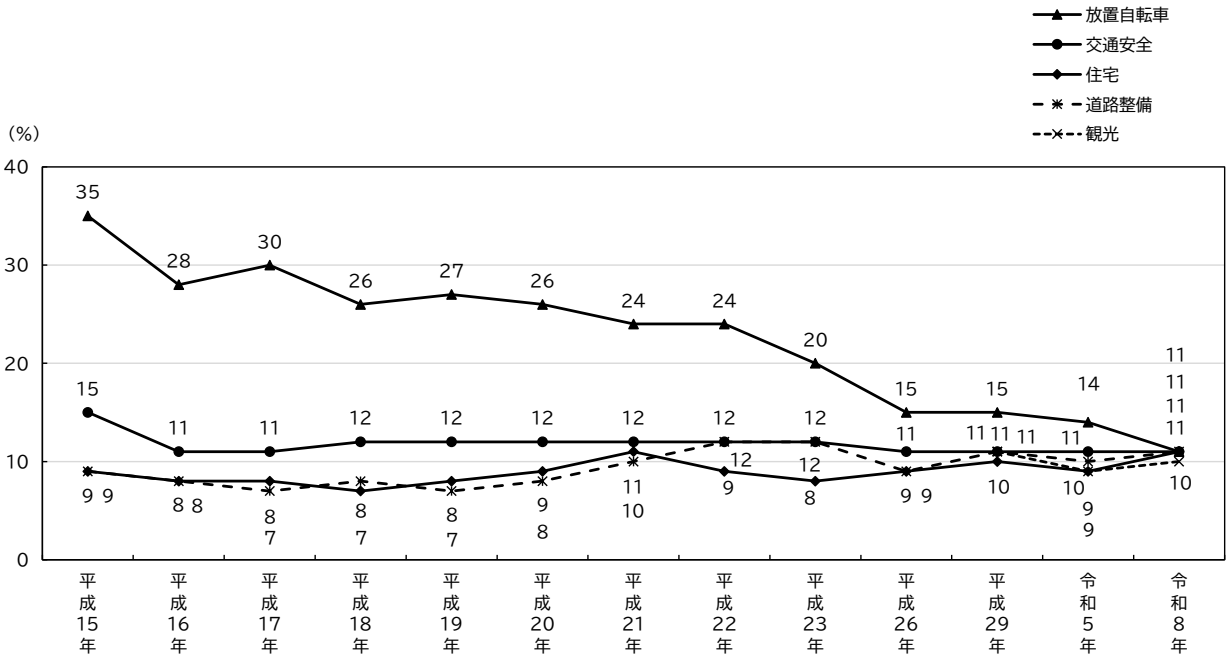
（注）平成22年の「防災」の選択肢は「防災・防犯」としていた。

（注）「防犯」は平成23年から新設した選択肢。

（注）「観光」は平成29年から新設した選択肢。

（注）このグラフは今回調査における上位５項目の推移である（図14-1-3も同様）。

図14－１－３　悪いと思う施策の推移【上位５項目】（全体）



②地区別／良いと思う施策

「公園・緑化」は西部地区（37.0%）、北部地区（35.6%）で高く、両地区では第一位に挙げられている。「防災」は東部地区（32.7%）で第一位となっている。「防犯」は南部地区（30.7%）、中央地区（30.6%）で第一位となっている。

表14－1－1　良いと思う施策（地区別）

（%）

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全 体	1,248	28.8	27.5	12.3	12.7	10.7	5.4	31.7	14.3	16.8	12.7	7.8	2.5	3.2	5.2	28.2
北 部	177	26.0	21.5	13.0	13.0	11.9	5.6	35.6	13.6	13.0	10.7	6.8	2.3	1.7	4.0	25.4
東 部	254	32.7	24.0	9.8	13.0	9.1	6.3	26.8	11.0	14.6	13.4	9.8	3.5	5.1	5.1	25.6
中 央	245	30.2	30.6	13.1	14.7	8.6	5.3	30.2	18.0	17.1	13.5	9.0	2.9	2.0	6.5	29.8
南 部	244	27.5	30.7	12.3	11.1	10.2	4.9	29.1	15.2	19.3	12.7	9.0	3.3	4.5	5.7	29.1
西 部	322	27.6	28.9	13.4	12.1	13.4	5.0	37.0	13.7	18.6	12.7	4.7	0.9	2.5	4.7	30.1

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権、男女平等・共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全 体	1,248	6.7	7.0	7.4	10.3	13.0	1.4	1.2	3.4	2.4	0.6	1.2	0.4	1.4	1.3	2.9
北 部	177	10.7	7.3	10.2	7.3	11.3	0.6	0.6	2.8	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.7	3.4
東 部	254	8.7	5.9	6.7	13.0	14.2	0.8	1.2	3.5	1.2	0.8	1.6	0.4	2.0	2.0	1.6
中 央	245	4.9	6.1	2.9	8.6	10.2	2.0	0.4	3.3	3.7	0.4	1.2	0.4	0.0	0.8	3.3
南 部	244	4.1	7.8	8.6	10.7	13.1	2.0	2.0	3.3	2.9	0.4	0.8	0.0	2.5	1.2	4.1
西 部	322	6.5	7.8	9.0	10.9	14.9	1.2	1.2	4.0	2.8	0.6	1.2	0.3	1.2	0.9	2.5

③地区別／悪いと思う施策

「放置自転車」は東部地区（12.2%）で、「住宅」は北部地区（11.3%）で、「道路整備」は中央地区（15.5%）で、それぞれ第一位に挙げられている。「交通安全」は南部地区（13.9%）と西部地区（12.7%）で第一位に挙げられている。

表14－1－2　悪いと思う施策（地区別）

（%）

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全 体	1,248	4.1	8.7	11.3	10.9	9.3	11.2	5.8	11.5	2.8	6.0	7.2	3.0	6.1	8.0	6.1
北 部	177	4.0	7.9	7.9	10.2	7.9	11.3	5.1	10.7	2.8	7.9	7.3	3.4	8.5	8.5	4.0
東 部	254	4.7	9.8	9.1	7.9	7.9	8.7	5.1	12.2	2.0	3.9	3.1	3.1	4.7	8.3	5.9
中 央	245	4.1	8.6	11.8	15.5	10.2	11.0	4.1	11.4	2.4	6.1	11.0	4.9	5.7	7.3	5.3
南 部	244	4.9	7.8	13.9	11.5	11.9	12.7	8.6	10.7	2.5	4.1	7.4	2.0	7.4	7.0	5.3
西 部	322	3.1	9.3	12.7	9.9	8.7	12.4	5.9	12.1	4.0	8.1	7.5	2.2	5.3	9.0	8.7

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権、男女平等・共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全 体	1,248	5.8	5.0	2.9	5.4	4.6	3.3	4.0	6.0	5.3	2.3	7.6	7.3	5.2	3.1	9.8
北 部	177	5.6	7.9	2.8	8.5	6.2	2.3	3.4	5.6	4.5	1.1	7.3	7.9	4.5	4.0	7.9
東 部	254	7.9	3.5	3.1	4.3	3.9	0.4	4.3	5.9	5.1	2.4	6.3	6.3	3.9	3.1	11.0
中 央	245	5.3	6.1	3.7	6.1	5.3	6.9	4.9	5.7	7.3	2.9	10.6	10.2	5.7	2.9	8.6
南 部	244	4.9	3.7	2.5	5.7	5.3	4.1	2.9	6.1	4.5	3.3	5.3	5.7	6.1	2.0	11.9
西 部	322	5.3	5.0	2.5	3.7	3.4	2.8	4.3	6.5	5.0	1.9	8.4	6.8	5.6	3.4	9.0

④性・年代別／良いと思う施策

「公園・緑化」は男性の10・20代、40～50代、80代以上、女性の50代以下で３割を超えている。「防災」は男性の10・20代、50～60代、女性の30～60代で３割を超え、「清掃・リサイクル」は男性の50代、80代以上と女性の40代以上で３割を超えている。「防犯」は女性（25.0%）より男性（31.6%）のほうが高くなっている。

表14－１－３　良いと思う施策（性・年代別）

（%）

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全　体	1,248	28.8	27.5	12.3	12.7	10.7	5.4	31.7	14.3	16.8	12.7	7.8	2.5	3.2	5.2	28.2
男性 計	484	28.5	31.6	12.6	17.1	11.0	6.2	32.0	18.4	13.4	14.5	6.8	3.9	2.9	6.0	26.4
10･20代	54	35.2	40.7	14.8	18.5	22.2	13.0	35.2	7.4	9.3	16.7	3.7	0.0	1.9	5.6	18.5
30代	68	20.6	32.4	11.8	17.6	11.8	5.9	22.1	20.6	10.3	14.7	0.0	2.9	2.9	8.8	17.6
40代	88	29.5	28.4	14.8	21.6	8.0	5.7	37.5	17.0	11.4	10.2	4.5	4.5	2.3	5.7	27.3
50代	91	33.0	39.6	13.2	14.3	9.9	5.5	36.3	19.8	11.0	23.1	6.6	5.5	4.4	3.3	38.5
60代	78	33.3	30.8	12.8	16.7	7.7	7.7	29.5	21.8	21.8	5.1	10.3	6.4	5.1	1.3	21.8
70代	74	23.0	25.7	8.1	16.2	12.2	4.1	27.0	16.2	10.8	18.9	10.8	2.7	1.4	9.5	25.7
80代以上	31	19.4	16.1	12.9	12.9	6.5	0.0	38.7	29.0	25.8	9.7	16.1	3.2	0.0	12.9	35.5
女性 計	748	29.4	25.0	12.2	10.0	10.4	4.9	32.0	11.8	19.1	11.8	8.4	1.6	3.5	4.8	29.7
10･20代	70	21.4	34.3	24.3	14.3	14.3	7.1	37.1	14.3	14.3	17.1	7.1	2.9	1.4	0.0	22.9
30代	103	34.0	28.2	7.8	20.4	16.5	8.7	32.0	8.7	11.7	15.5	2.9	1.0	3.9	1.0	18.4
40代	109	35.8	29.4	14.7	9.2	14.7	2.8	45.0	12.8	13.8	14.7	4.6	0.9	4.6	7.3	35.8
50代	164	32.9	25.0	11.0	9.1	12.2	4.9	32.3	11.6	18.9	9.8	5.5	1.2	2.4	4.9	30.5
60代	120	33.3	20.8	14.2	3.3	4.2	5.0	28.3	19.2	27.5	13.3	15.8	2.5	5.0	5.0	31.7
70代	98	24.5	17.3	9.2	9.2	4.1	4.1	27.6	8.2	27.6	10.2	15.3	2.0	3.1	8.2	35.7
80代以上	83	15.7	21.7	7.2	7.2	7.2	2.4	20.5	6.0	18.1	2.4	8.4	1.2	3.6	6.0	30.1

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権、男女平等･共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全　体	1,248	6.7	7.0	7.4	10.3	13.0	1.4	1.2	3.4	2.4	0.6	1.2	0.4	1.4	1.3	2.9
男性 計	484	6.4	8.3	7.0	9.9	9.7	1.2	1.2	4.1	2.7	1.0	1.2	0.2	1.0	0.8	3.3
10･20代	54	0.0	9.3	7.4	9.3	5.6	3.7	0.0	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9	5.6
30代	68	10.3	8.8	10.3	2.9	10.3	0.0	0.0	2.9	0.0	1.5	1.5	0.0	2.9	0.0	5.9
40代	88	2.3	4.5	4.5	14.8	9.1	0.0	2.3	4.5	3.4	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	4.5
50代	91	6.6	8.8	5.5	18.7	12.1	0.0	2.2	3.3	4.4	0.0	1.1	0.0	1.1	1.1	3.3
60代	78	6.4	11.5	9.0	7.7	10.3	3.8	1.3	6.4	5.1	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
70代	74	6.8	8.1	6.8	5.4	13.5	0.0	1.4	5.4	2.7	1.4	1.4	0.0	2.7	1.4	0.0
80代以上	31	19.4	6.5	6.5	3.2	0.0	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	6.5
女性 計	748	7.1	6.1	7.5	10.6	15.1	1.5	1.1	3.1	2.3	0.4	1.2	0.5	1.6	1.6	2.7
10･20代	70	7.1	4.3	8.6	10.0	15.7	1.4	0.0	1.4	2.9	0.0	0.0	0.0	4.3	2.9	2.9
30代	103	9.7	7.8	8.7	11.7	15.5	1.9	1.0	3.9	1.0	0.0	1.9	0.0	0.0	1.0	2.9
40代	109	6.4	9.2	6.4	11.0	13.8	3.7	0.0	0.9	3.7	0.0	2.8	0.0	0.9	1.8	2.8
50代	164	9.8	7.3	7.9	8.5	17.7	1.2	0.6	3.0	2.4	0.6	1.2	1.2	1.8	1.2	0.0
60代	120	4.2	5.8	6.7	10.8	16.7	1.7	0.8	5.8	3.3	0.8	0.8	0.8	2.5	1.7	7.5
70代	98	7.1	4.1	11.2	13.3	17.3	0.0	2.0	1.0	2.0	1.0	0.0	0.0	2.0	3.1	3.1
80代以上	83	3.6	2.4	2.4	9.6	6.0	0.0	3.6	4.8	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0

⑤性・年代別／悪いと思う施策

「放置自転車」はすべての年代で女性より男性のほうが高い。「交通安全」は男性の50代（20.9%）と男性の80代以上（25.8%）で2割を超えている。「住宅」は女性の60代（20.8%）で2割を超えている。「道路整備」は男性の80代以上（22.6%）や70代（17.6%）で高くなっている。

表14－1－4　悪いと思う施策（性・年代別）

（%）

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全　体	1,248	4.1	8.7	11.3	10.9	9.3	11.2	5.8	11.5	2.8	6.0	7.2	3.0	6.1	8.0	6.1
男性 計	484	4.3	8.5	13.4	12.4	9.1	9.9	6.2	14.5	3.3	7.6	7.4	2.3	5.0	8.7	6.6
10･20代	54	3.7	7.4	9.3	9.3	9.3	9.3	7.4	13.0	7.4	9.3	1.9	3.7	9.3	7.4	13.0
30代	68	2.9	4.4	5.9	10.3	8.8	14.7	11.8	16.2	2.9	16.2	7.4	0.0	2.9	4.4	10.3
40代	88	4.5	11.4	12.5	11.4	6.8	8.0	2.3	17.0	2.3	8.0	2.3	0.0	3.4	4.5	3.4
50代	91	3.3	8.8	20.9	8.8	5.5	11.0	3.3	12.1	2.2	5.5	9.9	2.2	7.7	6.6	4.4
60代	78	6.4	6.4	14.1	12.8	10.3	14.1	7.7	14.1	6.4	7.7	12.8	3.8	5.1	16.7	5.1
70代	74	5.4	8.1	9.5	17.6	8.1	6.8	5.4	17.6	1.4	4.1	8.1	2.7	2.7	12.2	6.8
80代以上	31	3.2	16.1	25.8	22.6	25.8	0.0	9.7	6.5	0.0	0.0	9.7	6.5	3.2	9.7	6.5
女性 計	748	4.0	9.1	10.2	10.0	9.5	12.2	5.3	9.8	2.5	5.1	7.2	3.6	6.8	7.8	5.7
10･20代	70	4.3	8.6	14.3	14.3	11.4	17.1	5.7	5.7	1.4	4.3	4.3	2.9	7.1	10.0	8.6
30代	103	4.9	12.6	7.8	9.7	4.9	9.7	4.9	12.6	5.8	6.8	2.9	1.9	6.8	4.9	7.8
40代	109	3.7	14.7	10.1	9.2	12.8	17.4	2.8	9.2	0.0	8.3	6.4	3.7	5.5	7.3	2.8
50代	164	6.1	7.9	9.8	12.2	12.8	7.3	6.7	10.4	3.0	6.7	7.3	4.3	8.5	7.9	10.4
60代	120	1.7	9.2	15.0	13.3	5.8	20.8	6.7	7.5	3.3	3.3	11.7	6.7	9.2	8.3	3.3
70代	98	4.1	9.2	7.1	8.2	11.2	10.2	8.2	15.3	1.0	2.0	13.3	2.0	7.1	10.2	3.1
80代以上	83	2.4	0.0	7.2	1.2	6.0	3.6	0.0	6.0	2.4	2.4	2.4	2.4	1.2	6.0	2.4

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権、男女平等･共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全　体	1,248	5.8	5.0	2.9	5.4	4.6	3.3	4.0	6.0	5.3	2.3	7.6	7.3	5.2	3.1	9.8
男性 計	484	4.5	6.0	2.9	6.6	6.2	3.1	5.2	8.3	5.2	4.1	10.3	8.9	5.0	2.9	10.5
10･20代	54	9.3	1.9	3.7	7.4	1.9	0.0	1.9	3.7	7.4	3.7	11.1	7.4	11.1	1.9	9.3
30代	68	2.9	7.4	0.0	4.4	2.9	2.9	7.4	10.3	0.0	4.4	7.4	8.8	7.4	1.5	11.8
40代	88	4.5	8.0	2.3	10.2	8.0	4.5	0.0	11.4	5.7	5.7	11.4	10.2	4.5	1.1	12.5
50代	91	3.3	7.7	3.3	7.7	6.6	3.3	6.6	9.9	4.4	2.2	11.0	8.8	3.3	3.3	13.2
60代	78	6.4	6.4	2.6	6.4	7.7	3.8	5.1	6.4	5.1	5.1	9.0	9.0	5.1	6.4	11.5
70代	74	1.4	2.7	4.1	2.7	5.4	2.7	10.8	6.8	8.1	2.7	12.2	8.1	2.7	2.7	5.4
80代以上	31	6.5	6.5	6.5	6.5	12.9	3.2	3.2	6.5	6.5	6.5	9.7	9.7	0.0	3.2	6.5
女性 計	748	6.6	4.5	2.9	4.7	3.7	3.5	3.2	4.5	5.5	1.2	6.0	6.4	5.5	3.2	9.2
10･20代	70	2.9	5.7	1.4	4.3	1.4	5.7	4.3	12.9	0.0	0.0	8.6	8.6	10.0	1.4	7.1
30代	103	5.8	2.9	2.9	1.9	3.9	3.9	1.0	5.8	4.9	1.0	4.9	3.9	7.8	3.9	7.8
40代	109	5.5	10.1	1.8	4.6	2.8	6.4	4.6	4.6	4.6	0.9	7.3	2.8	11.9	3.7	19.3
50代	164	6.1	3.0	1.8	7.9	4.9	3.7	3.0	3.7	6.7	0.6	6.1	7.9	2.4	3.0	8.5
60代	120	10.0	4.2	5.0	2.5	5.0	1.7	3.3	4.2	6.7	3.3	6.7	9.2	3.3	5.0	10.0
70代	98	9.2	2.0	4.1	5.1	3.1	1.0	3.1	2.0	8.2	1.0	6.1	8.2	3.1	3.1	6.1
80代以上	83	4.8	4.8	3.6	4.8	3.6	2.4	2.4	1.2	4.8	1.2	2.4	3.6	2.4	1.2	2.4

（2）優先して行ってほしい施策

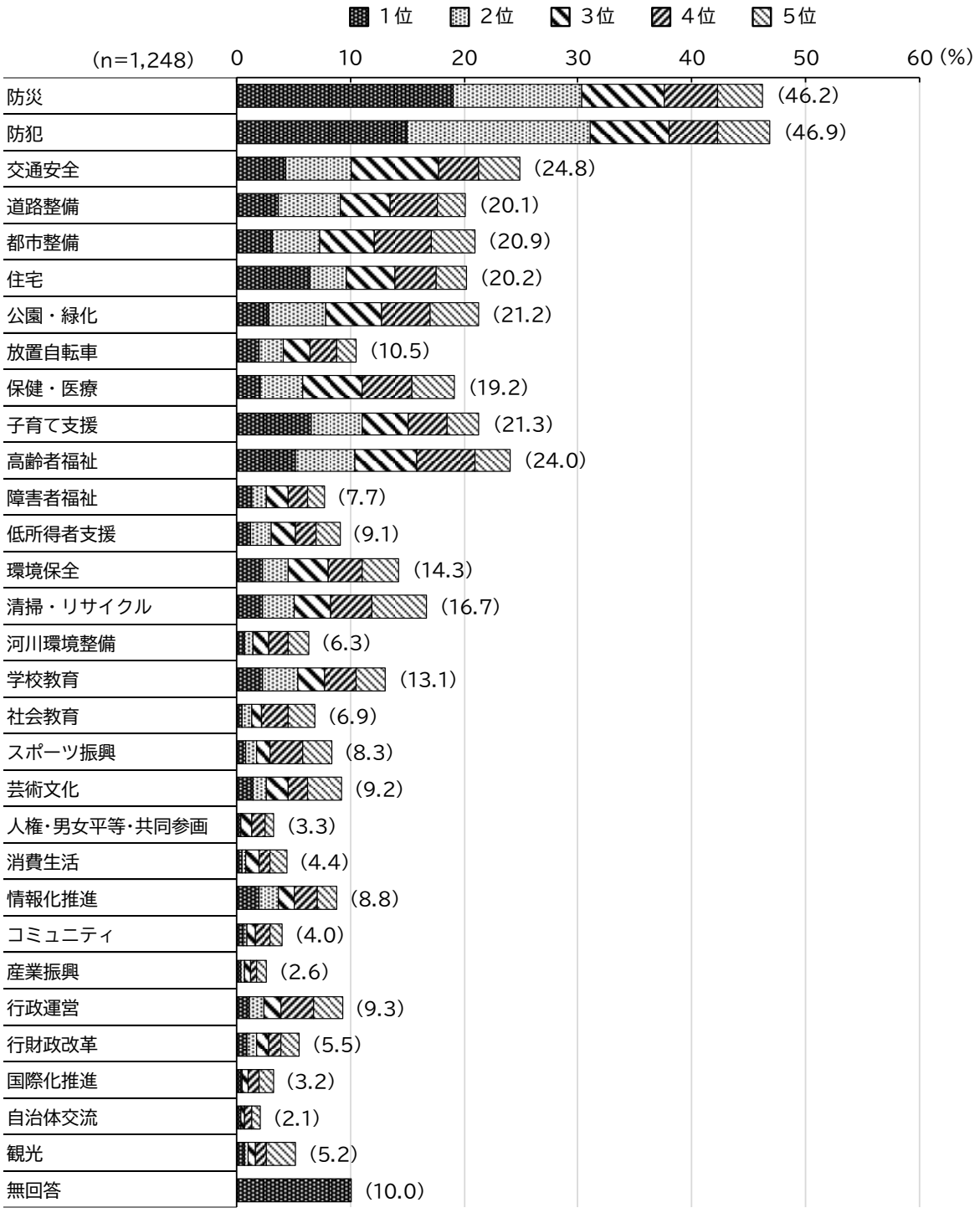
問49　あなたは、区の施策についてどのように思いますか。下表の１～３０の中からそれぞれ５つまで選び、番号を記入してください。
問49-3　優先して行ってほしいところ

①全体

１位に挙げられた施策は、「防災」が19.1%で最も高く、次いで「防犯（15.0%）」、「子育て支援（6.5%）」となっている。

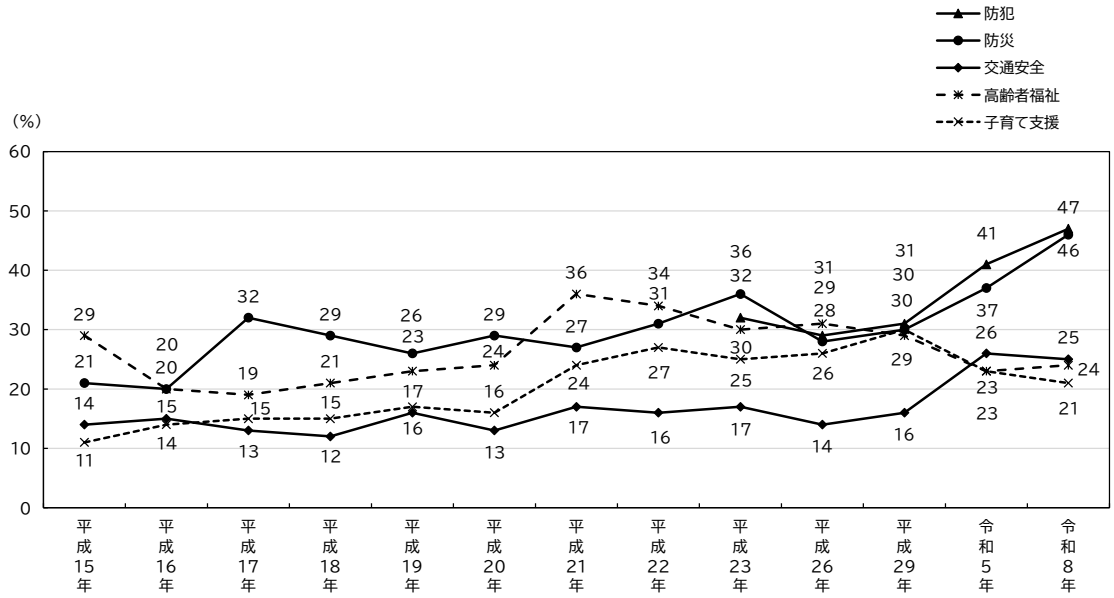
１位～５位を合わせると、「防犯」が46.9%で最も高く、次いで「防災（46.2%）」、「交通安全（24.8%）」、「高齢者福祉（24.0%）」、「子育て支援（21.3%）」、となっている。

図14－2－1　優先して行ってほしい施策（全体）



優先して行ってほしい施策の推移をみると、「防犯」、「防災」は平成23年以降３割前後で推移し令和８年は４割後半と令和５年から増加している。「交通安全」は平成15年以降１割台半ばで推移していたが、令和８年は２割台半ばと令和５年と同程度になっている。「高齢者福祉」は平成21年以降減少し、令和５年から横ばいになっており、「子育て支援」は平成29年までは増加傾向にあったが、令和５年以降は減少している。

図14－２－２　優先して行ってほしい施策の推移【上位５項目】（全体）



（注）平成22年の「防災」の選択肢は「防災・防犯」としていた。
（注）「防犯」は平成23年から新設した選択肢。
（注）このグラフは今回調査における上位５項目の推移である。

②地区別

「防犯」は北部地区（52.5%）、「防災」は南部地区（51.2%）が高くなっている。「高齢者福祉」は南部地区（27.5%）、「清掃・リサイクル」は中央地区（21.2%）が高くなっている。東部地区は都市整備が22.4%と、他の地区に比べて高くなっている。

表14－２－１　優先して行ってほしい施策（地区別）

（%）

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全　体	1,248	46.2	46.9	24.8	20.1	20.9	20.2	21.2	10.5	19.2	21.3	24.0	7.7	9.1	14.3	16.7
北　部	177	44.1	52.5	26.0	17.5	19.2	16.9	24.3	13.6	17.5	24.3	23.2	5.6	4.5	16.4	14.1
東　部	254	46.1	46.1	21.3	16.9	22.4	20.9	18.9	8.3	18.1	19.7	20.9	7.1	11.4	11.0	16.1
中　央	245	46.1	47.8	26.9	21.2	21.2	20.0	20.4	13.5	20.8	21.2	25.7	6.1	8.6	14.3	21.2
南　部	244	51.2	45.5	25.8	21.3	20.5	23.8	17.2	10.2	21.3	23.4	27.5	10.7	9.8	13.9	14.3
西　部	322	44.1	45.0	25.2	22.7	21.1	18.9	25.2	8.7	18.3	19.9	23.0	8.4	9.6	15.8	16.5

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権、男女平等・共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全　体	1,248	6.3	13.1	6.9	8.3	9.2	3.3	4.4	8.8	4.0	2.6	9.3	5.5	3.2	2.1	5.2
北　部	177	10.7	13.6	8.5	13.6	6.8	4.5	4.0	11.3	2.3	2.8	13.6	6.8	3.4	2.8	3.4
東　部	254	10.2	10.2	9.1	9.4	9.1	2.0	7.5	9.1	4.3	2.4	7.9	4.7	4.3	2.8	5.5
中　央	245	6.1	11.0	6.1	6.1	10.6	3.3	5.7	7.8	5.7	2.9	8.6	5.3	1.2	2.9	4.5
南　部	244	2.9	14.8	7.0	5.7	6.6	4.5	2.5	7.0	3.7	4.1	7.8	4.1	1.6	1.2	4.9
西　部	322	3.7	15.5	4.7	8.4	11.8	2.8	2.8	9.6	3.4	1.6	9.9	6.8	5.0	1.2	6.8

③性・年代別

「防犯」は男性の40～50代で６割を超え、女性の10・20代と40代で５割台となっている。「防災」は女性の40代（60.6%）で最も高くなっており、男性の40～50代、女性の30代と50代で５割を超えている。「交通安全」は男性の50代（38.5%）で最も高く、女性の10・20代と40代で３割を超えている。「高齢者福祉」は男性（20.0%）より女性（26.6%）のほうが高い。

表14－２－２　優先して行ってほしい施策（性・年代別）

（%）

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全　体	1,248	46.2	46.9	24.8	20.1	20.9	20.2	21.2	10.5	19.2	21.3	24.0	7.7	9.1	14.3	16.7
男性 計	484	47.1	50.4	27.7	24.4	25.4	18.6	21.5	12.6	20.2	24.0	20.0	8.7	7.0	12.2	17.6
10･20代	54	44.4	44.4	27.8	25.9	25.9	35.2	22.2	11.1	25.9	22.2	9.3	9.3	5.6	7.4	16.7
30代	68	45.6	45.6	26.5	30.9	29.4	27.9	22.1	16.2	19.1	41.2	4.4	4.4	4.4	11.8	14.7
40代	88	53.4	62.5	25.0	26.1	28.4	20.5	25.0	18.2	19.3	31.8	12.5	5.7	9.1	11.4	20.5
50代	91	54.9	62.6	38.5	25.3	36.3	12.1	30.8	12.1	14.3	19.8	16.5	7.7	3.3	13.2	18.7
60代	78	43.6	41.0	20.5	17.9	11.5	17.9	12.8	11.5	29.5	15.4	37.2	11.5	12.8	15.4	20.5
70代	74	36.5	41.9	29.7	25.7	20.3	10.8	14.9	6.8	20.3	20.3	27.0	12.2	6.8	12.2	16.2
80代以上	31	48.4	45.2	19.4	12.9	22.6	3.2	19.4	9.7	9.7	9.7	45.2	12.9	6.5	12.9	9.7
女性 計	748	46.4	45.3	23.5	17.8	18.4	21.5	21.4	9.4	18.9	19.9	26.6	6.8	10.3	15.8	16.2
10･20代	70	48.6	50.0	31.4	17.1	20.0	31.4	20.0	10.0	15.7	30.0	7.1	4.3	14.3	15.7	18.6
30代	103	53.4	48.5	26.2	27.2	29.1	31.1	27.2	9.7	21.4	43.7	4.9	3.9	6.8	13.6	12.6
40代	109	60.6	56.9	33.9	29.4	22.9	26.6	28.4	13.8	19.3	28.4	12.8	5.5	7.3	13.8	16.5
50代	164	54.9	47.0	22.6	14.6	20.7	20.1	23.8	9.1	23.8	15.2	32.9	7.9	12.8	20.1	22.6
60代	120	44.2	47.5	23.3	15.0	16.7	24.2	22.5	8.3	18.3	12.5	40.0	7.5	14.2	21.7	10.0
70代	98	28.6	36.7	18.4	14.3	11.2	12.2	15.3	9.2	15.3	6.1	43.9	7.1	10.2	13.3	15.3
80代以上	83	25.3	25.3	8.4	6.0	4.8	4.8	7.2	4.8	13.3	6.0	36.1	10.8	4.8	7.2	15.7

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権、男女平等･共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全　体	1,248	6.3	13.1	6.9	8.3	9.2	3.3	4.4	8.8	4.0	2.6	9.3	5.5	3.2	2.1	5.2
男性 計	484	6.4	14.0	6.6	8.3	9.1	3.5	4.8	10.1	5.0	3.3	11.4	7.4	4.3	1.4	5.6
10･20代	54	5.6	11.1	9.3	18.5	7.4	5.6	13.0	14.8	9.3	5.6	9.3	7.4	5.6	0.0	11.1
30代	68	2.9	25.0	7.4	13.2	8.8	1.5	7.4	14.7	1.5	2.9	10.3	7.4	1.5	1.5	5.9
40代	88	12.5	18.2	6.8	10.2	11.4	3.4	4.5	11.4	3.4	2.3	8.0	8.0	3.4	1.1	6.8
50代	91	7.7	16.5	2.2	7.7	4.4	4.4	2.2	7.7	8.8	2.2	19.8	9.9	4.4	2.2	4.4
60代	78	6.4	11.5	5.1	5.1	6.4	1.3	3.8	12.8	3.8	2.6	12.8	6.4	5.1	1.3	3.8
70代	74	1.4	6.8	10.8	1.4	13.5	6.8	2.7	4.1	2.7	6.8	6.8	5.4	5.4	1.4	4.1
80代以上	31	6.5	0.0	6.5	0.0	16.1	0.0	0.0	3.2	6.5	0.0	9.7	6.5	6.5	3.2	3.2
女性 計	748	6.4	12.7	7.1	8.6	9.5	3.2	4.1	8.2	3.3	2.0	8.2	4.4	2.5	2.5	5.1
10･20代	70	1.4	17.1	10.0	11.4	7.1	4.3	7.1	12.9	4.3	1.4	11.4	5.7	5.7	4.3	2.9
30代	103	4.9	23.3	8.7	7.8	10.7	3.9	2.9	11.7	1.9	1.0	9.7	5.8	3.9	1.0	3.9
40代	109	5.5	18.3	8.3	12.8	10.1	6.4	3.7	7.3	0.9	1.8	11.0	2.8	2.8	1.8	3.7
50代	164	9.1	6.1	9.1	9.1	9.8	1.2	3.0	12.8	4.3	3.7	6.7	4.3	1.8	3.7	5.5
60代	120	10.8	15.0	5.0	10.0	10.8	1.7	4.2	6.7	3.3	0.8	5.0	4.2	1.7	1.7	5.8
70代	98	6.1	5.1	4.1	5.1	7.1	2.0	6.1	2.0	3.1	2.0	12.2	6.1	2.0	4.1	6.1
80代以上	83	2.4	7.2	3.6	2.4	9.6	4.8	3.6	1.2	6.0	2.4	2.4	2.4	1.2	1.2	7.2

④優先して行ってほしい施策／上位５位

優先して行ってほしい施策上位５位をみると、多くの属性で「防犯」および「防災」が１位または2位となっている。また、高齢者福祉は、高齢層や居住年数の長い層で上位に入っている。男性では４位、５位に「道路整備」や「都市整備」が入っている年代が多くなっている。「交通安全」は「５年未満」を除いてすべての居住年数で上位５位に入っている。

表14－２－３　優先して行ってほしい施策（地区別、性・年代別、居住年数別）

（%）

属性＼順位		n	1位	2位	3位	4位	5位
全　体		1,248	防犯 46.9	防災 46.2	交通安全 24.8	高齢者福祉 24.0	子育て支援 21.3
地区別	北 部	177	防犯 52.5	防災 44.1	交通安全 26.0	公園・緑化／子育て支援 24.3	
	東 部	254	防災／防犯 46.1		都市整備 22.4	交通安全 21.3	住宅 20.9
	中 央	245	防犯 47.8	防災 46.1	交通安全 26.9	高齢者福祉 25.7	道路整備 21.2
	南 部	244	防災 51.2	防犯 45.5	高齢者福祉 27.5	交通安全 25.8	住宅 23.8
	西 部	322	防犯 45.0	防災 44.1	交通安全／公園・緑化 25.2		高齢者福祉 23.0
性×年代別	男 性(計)	484	防犯 50.4	防災 47.1	交通安全 27.7	都市整備 25.4	道路整備 24.4
	10・20代	54	防災／防犯 44.4		住宅 35.2	交通安全 27.8	道路整備 25.9
	30代	68	防災／防犯 45.6		子育て支援 41.2	道路整備 30.9	都市整備 29.4
	40代	88	防犯 62.5	防災 53.4	子育て支援 31.8	都市整備 28.4	道路整備 26.1
	50代	91	防犯 62.6	防災 54.9	交通安全 38.5	都市整備 36.3	公園・緑化 30.8
	60代	78	防災 43.6	防犯 41.0	高齢者福祉 37.2	保健・医療 29.5	交通安全 20.5
	70代	74	防犯 41.9	防災 36.5	交通安全 29.7	高齢者福祉 27.0	道路整備 25.7
	80代以上	31	防災 48.4	防犯／高齢者福祉 45.2		都市整備 22.6	交通安全 19.4
	女 性(計)	748	防災 46.4	防犯 45.3	高齢者福祉 26.6	交通安全 23.5	住宅 21.5
	10・20代	54	防犯 50.0	防災 48.6	交通安全／住宅 31.4		子育て支援 30.0
	30代	68	防災 53.4	防犯 48.5	子育て支援 43.7	住宅 31.1	都市整備 29.1
	40代	88	防災 60.6	防犯 56.9	交通安全 33.9	道路整備 29.4	公園・緑化 28.4
	50代	91	防災 54.9	防犯 47.0	高齢者福祉 32.9	公園・緑化／保健・医療 23.8	
	60代	78	防犯 47.5	防災 44.2	高齢者福祉 40.0	住宅 24.2	交通安全 23.3
	70代	74	高齢者福祉 43.9	防犯 36.7	防災 28.6	交通安全 18.4	公園・緑化 15.3
	80代以上	31	高齢者福祉 36.1	防災／防犯 25.3		清掃・リサイクル 15.7	保健・医療 13.3
居住年数別	5年未満	263	防災 54.8	防犯 47.9	都市整備／子育て支援 29.3		道路整備 28.9
	5年以上～10年未満	164	防犯 56.1	防災 47.0	子育て支援 30.5	交通安全 29.9	公園・緑化 28.0
	10年以上～20年未満	212	防犯 54.7	防災 48.1	公園・緑化 26.4	子育て支援 25.0	交通安全 24.1
	20年以上～30年未満	181	防災 52.5	防犯 45.9	高齢者福祉 32.6	交通安全 30.4	都市整備 22.7
	30年以上～40年未満	106	防災 46.2	防犯 42.5	高齢者福祉 34.9	交通安全 24.5	住宅 23.6
	40年以上	311	防犯／高齢者福祉 38.9		防災 34.7	交通安全 17.7	保健・医療 17.4

⑤最も優先して行ってほしい施策／上位５位

最も優先して行ってほしい施策（１位に挙げられた施策）の上位5位をみると、男性の30代のみ「子育て支援」が１位になっており、他の属性では「防災」「防犯」が１位となっている。

表14－２－４　最も優先して行ってほしい施策（地区別、性・年代別、居住年数別）

（%）

属性＼順位		n	1位	2位	3位	4位	5位
全　体		1,248	防災 19.1	防犯 15.0	子育て支援 6.5	住宅 6.4	高齢者福祉 5.1
地区別	北 部	177	防災 17.5	防犯 16.9	子育て支援 9.0	高齢者福祉 5.1	学校教育 4.5
	東 部	254	防災 22.0	防犯 13.0	住宅 8.7	子育て支援 6.3	交通安全 3.9
	中 央	245	防災 17.6	防犯 16.7	高齢者福祉 8.6	住宅 5.3	子育て支援 4.9
	南 部	244	防災 19.7	防犯 13.1	高齢者福祉 7.4	住宅 7.0	子育て支援 5.7
	西 部	322	防災 18.3	防犯 15.5	子育て支援 7.1	住宅 6.5	道路整備 4.7
性×年代別	男 性(計)	484	防災 18.2	防犯 16.7	子育て支援 7.6	高齢者福祉 5.8	住宅 5.2
	10･20代	54	防災 16.7	住宅 9.3	防犯 7.4	道路整備／子育て支援 7.4	
	30代	68	子育て支援 17.6	防災 14.7	防犯 13.2	住宅 8.8	交通安全 7.4
	40代	88	防犯 21.6	防災 14.8	子育て支援 11.4	住宅 5.7	高齢者福祉 4.5
	50代	91	防災／防犯 23.1		交通安全 5.5	道路整備／行政運営 5.5	
	60代	78	防災 21.8	高齢者福祉／防犯 12.8		住宅／子育て支援 7.7	
	70代	74	防犯 18.9	防災 13.5	高齢者福祉 6.8	都市整備 6.8	交通安全 5.4
	80代以上	31	防災 25.8	高齢者福祉／防犯 12.9		放置自転車／都市整備 3.2	
	女 性(計)	748	防災 19.9	防犯 14.2	住宅 7.2	子育て支援 5.9	高齢者福祉 4.7
	10･20代	54	防災 22.9	防犯 12.9	住宅 11.4	交通安全 8.6	子育て支援 7.1
	30代	68	防犯 17.5	子育て支援 16.5	防災 14.6	住宅 10.7	交通安全 4.9
	40代	88	防災 23.9	防犯 16.5	子育て支援 9.2	住宅／道路整備 5.5	
	50代	91	防災 23.8	防犯 12.8	住宅 6.7	環境保全 6.1	高齢者福祉 4.9
	60代	78	防災 25.0	防犯 11.7	住宅 9.2	高齢者福祉 5.8	道路整備 5.0
	70代	74	防犯 17.3	防災／高齢者福祉 11.2		住宅／清掃･リサイクル 5.1	
	80代以上	31	防災 14.5	高齢者福祉 10.8	防犯 9.6	交通安全 4.8	住宅 2.4
居住年数別	5年未満	263	防災 19.4	防犯 16.3	住宅／子育て支援 8.7		交通安全 5.7
	5年以上～10年未満	164	防災 21.3	防犯 15.2	子育て支援 12.2	住宅 7.9	情報化推進 4.9
	10年以上～20年未満	212	防犯 19.3	防災 17.5	子育て支援 6.1	公園･緑化 5.7	住宅 5.2
	20年以上～30年未満	181	防災 24.3	防犯 9.4	子育て支援 7.2	高齢者福祉／住宅 6.1	
	30年以上～40年未満	106	防災 19.8	防犯 10.4	高齢者福祉 7.5	交通安全 6.6	住宅 5.7
	40年以上	311	防災／防犯 15.8		高齢者福祉 10.9	住宅 4.8	交通安全 3.2

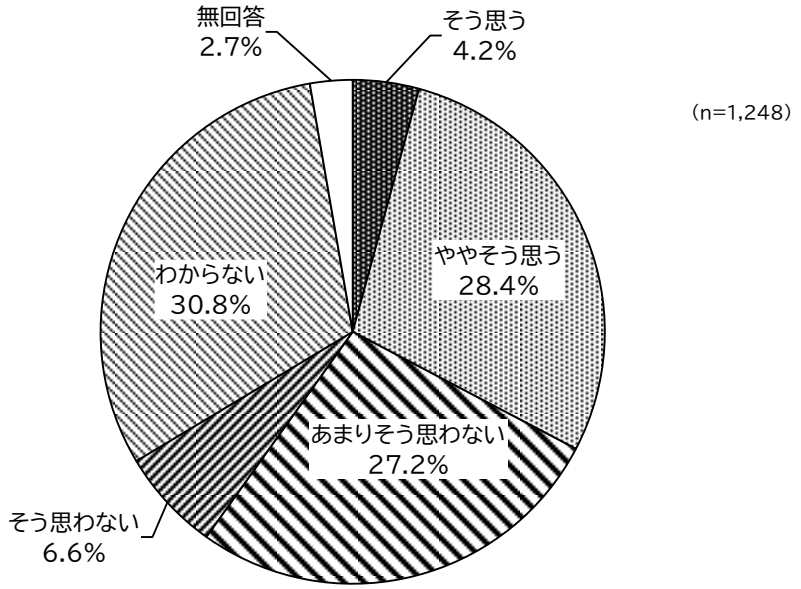
（３）区政に区民の意見が反映されているか

問50　あなたは、区政には区民の意見が十分に反映されていると感じていますか。
（あてはまるもの１つに○）

①全体

「わからない」が30.8%で最も高くなっている。「そう思う（4.2%）」と「ややそう思う（28.4%）」を合わせた『そう思う』は32.7%、「あまりそう思わない（27.2%）」と「そう思わない（6.6%）」を合わせた『そう思わない』は33.7%である。

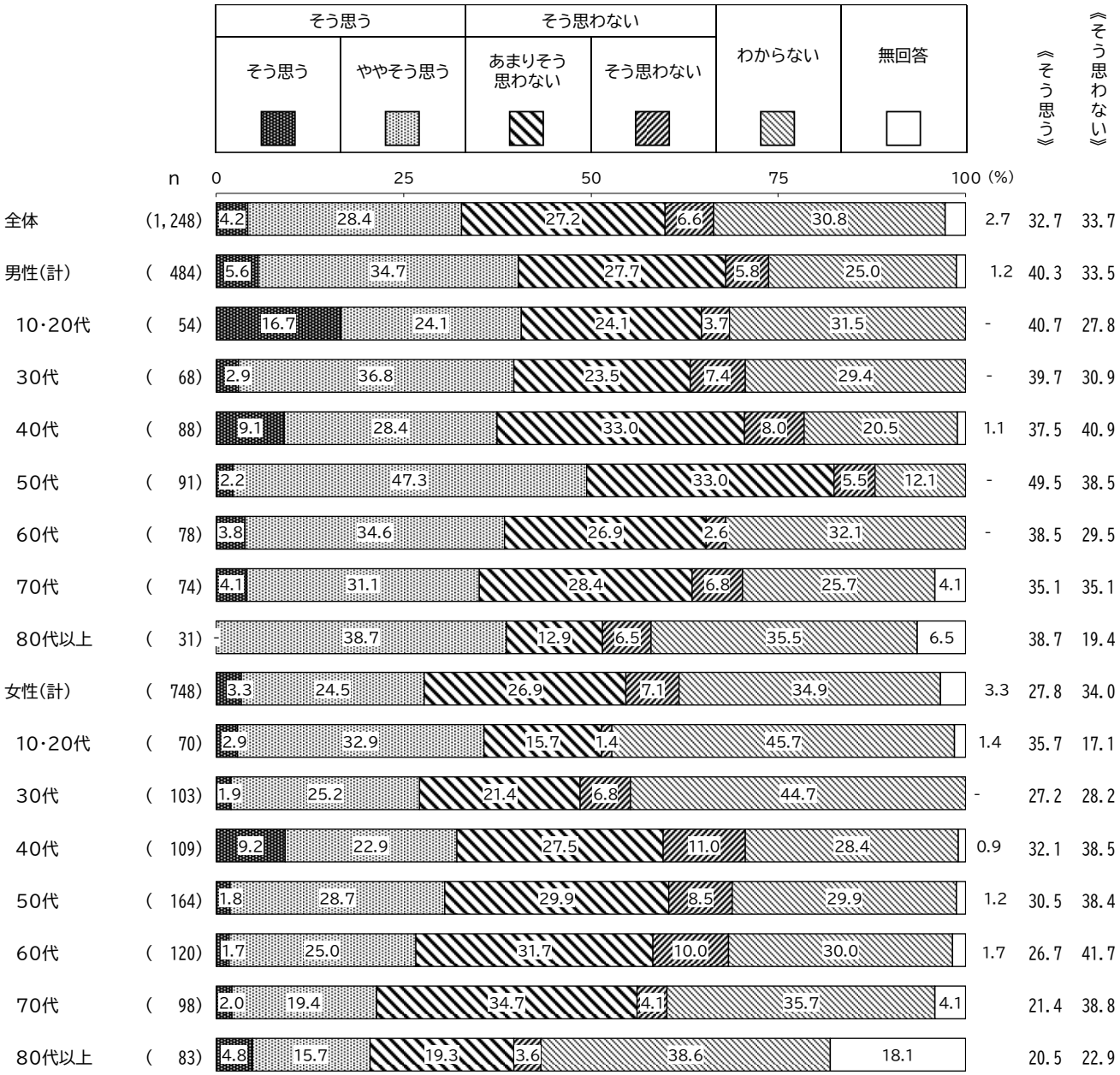
図14－３－１　区政に区民の意見が反映されているか（全体）



②性・年代別

『そう思う』は男性の50代（49.5%）が最も高く、次いで男性の男性の10・20代（40.7%）が高くなっている。一方、『そう思わない』は男性の40代、女性の60代で４割を超えている。

図14－３－２　区政に区民の意見が反映されているか（性・年代別）



（4）区政への意見

問51　区政について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

記述式の回答に256名から371件の意見が寄せられた。

区政への意見（一部抜粋、編集）

＜区政全般・議会・他区との比較に関する意見＞　49件
・区議会議員と区政について話す機会とそれが反映される手ごたえがほしい
・議員数が多すぎる
・区長の任期上限を設けてほしい
・新しい取り組みが周囲の区に比べて遅れている
・区政に区民への思いが伝わってこない

＜公共施設・まちづくりに関する意見・要望＞　47件
・公共施設をきれいにしてほしい
・大型スーパーや複合施設を作ってほしい
・区民センターの再整備を推進してほしい
・ベンチを設置してほしい
・美術館の解体をやめてほしい

＜行政サービス・情報発信・デジタル化に関する意見・要望＞　41件
・もっと情報を発信してほしい
・高齢者でデジタル化についていけない
・住民サービスと対応がおざなりに感じる
・手続事は手数が多い上に時間もかかる
・窓口一つで完結してない

＜環境・美化・ゴミ・喫煙に関する意見・要望＞　35件
・たばこ、ごみ、空き缶などのポイ捨てに対して条例を作って罰金を徴収してほしい
・粗大ごみのごみ収集日以外の自主的持ち込みを認めるべき
・緑道にまた新しい桜の木を植えてほしい
・路上たばこをもっと厳しく取り締ってほしい

＜道路・交通・自転車に関する意見・要望＞　34件
・自転車のマナーが悪い
・道を広くしてほしい
・歩道を安全に歩行できる環境を整備してほしい
・自転車専用道路をもっと作ってほしい

＜区政への感謝・肯定的な意見＞　30件
・目黒区は長い間住んでいて安心･安全で住みやすい
・区役所に伺うと、いつも笑顔で優しく対応していただきありがたい
・目黒区は緑が多く、年代を問わず安全・安心に暮らせる街(区)であり続けてほしい

＜生活・経済・税金・財政に関する意見・要望＞　27件
・生活が苦しい
・低所得者層に対する支援をお願いしたい
・税金を安くしてほしい

＜子育て・教育・学校に関する意見・要望＞　26件
・子どもたちが自由に遊ぶ場所が少ない
・子供への支援を品川区のように取り組んでほしい、まもるっち配布など
・子育て支援をもっと厚くしてほしい

＜本調査に対しての意見・感想＞　17件
・質問の数が多すぎる
・コストとパワーをかけてこのような調査を行う意味があるのか、疑問を感じる

＜治安・防犯に関する意見・要望＞　15件
・監視カメラを増設してほしい
・深夜の酔っ払い対策をしてほしい

＜高齢者支援・福祉に関する意見・要望＞　13件
・高齢者支援にも力を入れてほしい
・高齢者の地域交流、サークル紹介が少なく参加したくてもできない。もっと情報発信してほしい

＜外国人住民・多文化共生に関する意見＞　12件
・外国人の生活保障にお金がかかっている。透明性はあるのか。とても今の状態が良いとは思えない
・マナーの悪い外国人を放置するのではなく、しっかり教育してほしい

＜防災・災害対策に関する意見・要望＞　9件
・地震や防災に備えた整備への助成があると助かる(石垣の補強)
・最近、豪雨時に目黒川氾濫危険の情報が出されることが多くなったと感じる。氾濫防止の措置を継続的にしてほしい

＜障害者支援に関する意見・要望＞　5件
・障害者の方達が安心して生活できる障害者施設(グループホームなど)を増やしてほしい

＜その他＞　11件
・町内会の存続は無理、行政が担うべき
・目黒区で婚活支援のイベントを行なってほしい

資　料　編

【調査票ID：　　】

回答締切：令和８年６月３０日（火）

【インターネットで回答する場合】
・同封の「インターネットでの回答がとても便利です」をご参照ください。
【郵送で回答する場合】
・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。
・返信用封筒には、お名前・ご住所などを記入しないでください。

※ＩＤは無作為に配付していますので、個人を特定するものではありません。
　どなたがどのＩＤであるかは照合できません。

〈お問合せ先〉

世論調査について　**目黒区　企画経営部　広報広聴課**

電　話　０３－５７２２－９４１６
ＦＡＸ　０３－５７２２－９３９５

所 在 地　〒１５３－８５７３　東京都目黒区上目黒二丁目１９番１５号
受付時間　月～金曜日※祝日除く 8：30～17：00

第４８回　目黒区世論調査

■ 目黒区での居住

問１　あなたは、目黒区に住んで何年になりますか。（あてはまるもの１つに○）

１．５年未満	２．５年以上～１０年未満	３．１０年以上～２０年未満
４．２０年以上～３０年未満	５．３０年以上～４０年未満	６．４０年以上

問２　あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。（あてはまるもの１つに○）

１．生まれてからずっと同じ場所
２．目黒区内
３．世田谷区、渋谷区、港区、品川区、大田区のいずれか
４．上記以外の東京都の区内
５．東京都（23区以外）
６．神奈川県、埼玉県、千葉県のいずれか
７．その他の道府県・国外

問3　あなたが、目黒区に住んでいる理由は何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

1．通勤・通学に便利、交通の便がよいから
2．自分や家族の持家だから
3．昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから
4．親や親戚が近くに住んでいるから、親と同居しているから
5．社宅や官舎などがあったから
6．身近な商店街など買い物に便利だから
7．緑の多い落ち着いた住環境だから
8．目黒区のイメージがよいから
9．地域コミュニティなど近隣の人間関係がよいから
10．公園や街路樹がよく整備されているから
11．保健・医療施設などがよく整備されているから
12．集会施設や文化施設などがよく整備されているから
13．小中学校など子どもの教育環境がよいから
14．高齢者福祉サービスなどの内容がよいから
15．保育園など子育て支援サービスの内容がよいから
16．リサイクル活動や環境対策が進んでいるから
17．その他（具体的に　　）

問4　あなたは、目黒区に今後も住みたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1．ずっと住んでいたい	2．当分の間は住んでいたい
3．あまり住んでいたくない	4．できれば引っ越したい

（問4で「3」「4」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問4-1　あまり住んでいたくない・できれば引っ越したいと思うのは、主にどのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

1．家賃相場が高いから
2．通勤・通学に不便、交通の便が悪いから
3．身近な商店街などの買い物環境が不十分だから
4．スーパーや商店街における、日用品の物価が高いから
5．住環境や治安に不満を感じるから
6．保健・医療体制に不満を感じるから
7．集会施設や文化施設などに不満を感じるから
8．小中学校など子どもの教育環境に不満を感じるから
9．高齢者福祉サービスなどの内容に不満を感じるから
10．保育園など子育て支援サービスの内容に不満を感じるから
11．東京都心部は感染症拡大の危険性が高いから
12．リモートワークやオンライン授業の進展により、東京都心部に居住する必要性が低くなったから
13．その他（具体的に　　）

問5　今後の住環境においては、どのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

1．住居の広さ	2．住居設備の充実
3．家賃の安さ	4．身近な商店街などの買い物環境
5．通学先や通勤先への交通アクセス	6．周辺環境の良さ（緑が豊か、など）
7．地域コミュニティのつながり、地域活動の活発さ	
8．その他（具体的に　　）	

■ 暮らし向き・仕事

問6　あなたの暮らし向き（経済状況）は、昨年の今ごろと比べてどうですか。（あてはまるもの1つに○）

1．非常に苦しくなった	2．苦しくなった	3．変わらない
4．楽になった	5．非常に楽になった	

（問6で「1」「2」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問6-1　暮らし向きが苦しくなったのは、主にどのような理由からですか。（あてはまるもの1つに○）

1．営業不振などで給料や収益が増えない、または減った
2．失業、退職、病気などで働けなくなった、あるいは働き手が減った
3．自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた
4．教育費が増えた（3．以外）
5．家族が増えて、毎日の生活費が増えた
6．結婚、出産、病気など特別な出費があった
7．家や自動車、電化製品などの出費が増えた
8．年金の支給額が減少した
9．その他（具体的に　　）

■ 防災

問7　災害時に備えていますか。（あてはまるものすべてに○）

1．飲料水や非常食を常備している
2．携帯トイレを備蓄している
3．家具が転倒しないよう固定している
4．都や目黒区からの防災情報を収集している
5．火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している
6．自宅の耐震工事を行った
7．その他（具体的に　　）
8．災害時に備えて行っていることはない

問8　「在宅避難」という言葉を知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

1．はい	2．いいえ

問9　区内で実施されている防災訓練・防災イベント（めぐろ防災フェスタ・防災講演会等）に参加したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．めぐろ防災フェスタ	2．目黒区防災講演会	3．地域の防災訓練
4．その他（具体的に　　）		5．参加したことはない

（問9で「5」と回答した方にお尋ねします。）

問9-1　防災訓練・防災イベントに参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．防災訓練・防災イベントがあることを知らない	2．仕事等で都合がつかない
3．防災訓練・防災イベントに興味がない	4．誰でも参加できるとは思っていなかった
5．居住している地域で訓練が実施されていない	
6．その他（具体的に　　）	

問 10　あなたが災害情報を収集する手段は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．区公式ウェブサイト	2．区公式 X	3．区公式 LINE アカウント
4．区防災地図アプリ	5．緊急速報メール	6．防災無線
7．テレビ	8．ラジオ	9．ケーブルテレビ
10. 民間のアプリケーション(Yahoo！等)		
11. その他（具体的に　　）		

問 11　建築物の耐震診断や改修工事に関する助成制度があることを知っていますか。
（あてはまるもの１つに○）

1．知っており、利用したことがある	2．知っているが、利用したことはない
3．知らない	

問 12　お住いの住宅の耐震化の必要性についてどう考えていますか。（あてはまるもの１つに○）

1．築年が古く、耐震化は必要で、早く取り組みたい
2．耐震化は必要だと思うが難しい（すぐには取り組めない）
3．耐震性がある（築年が新しい又は耐震改修済み）ので必要ない
4．その他（具体的に　　）

（問 12 で「２」と回答した方にお尋ねします。）
問 12-１　耐震化が難しい理由は何ですか。（あてはまるもの１つに○）

1．費用負担が大きい	2．建替えや転居の予定がある
3．改修工事や仮住まいなどが面倒	4．家族や権利者の合意形成が難しい
5．その他（具体的に　　）	

■ 地域活動・コミュニティ

問 13　あなた（またはあなたの世帯）は、町会・自治会に加入していますか。（あてはまるもの１つに○）

1．加入している	2．加入したことはない	3．以前加入していた

（問 13 で「２」「３」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）
問 13-１　町会・自治会に加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．加入方法がわからない	2．加入の勧誘がない
3．活動内容がわからない	4．役員になりたくない
5．時間的な余裕がない	6．加入の必要性を感じない
7．人間関係がわずらわしい	8．その他（具体的に　　）

問 14　町会・自治会や住区住民会議※1が行っている地域活動※2を知っていますか。
（あてはまるものそれぞれ１つに○）

町会・自治会	1．よく知っている	2．知っている
	3．あまり知らない	4．まったく（ほとんど）知らない
住区住民会議	1．よく知っている	2．知っている
	3．あまり知らない	4．まったく（ほとんど）知らない

※1　目黒区ではおよそ小学校区単位を「住区」と定め、住区ごとに「住区住民会議」という住民協議組織があります。
※2　「地域活動」とは、一定の範囲に居住する人たちが中心になって行う公益的な活動（問 15-1 に掲げる活動）をいいます。（行政機関と共催するものも含みます。）

問 15　あなた（またはあなたの世帯）は、下記の問 15-１に掲げるような地域活動に参加したことがありますか。（あてはまるもの１つに○）

１．よく参加する	２．参加したことがある	３．参加したことがない

（問 15 で「１」「２」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問 15-１　次の地域活動のうち、「あなたが参加している・参加したことがある分野」は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．防犯活動（地域安全パトロールなど）
２．防災活動（地域防災訓練など）
３．交通安全活動（交通安全教室、自転車点検など）
４．子育て支援活動（子育て相談や保育手伝いなど）
５．子どもの居場所づくり活動（キャンプや学校開放など）
６．福祉・介護支援活動（家事援助や介護、ひとり暮らし高齢者等の見守りなど）
７．地域の伝統継承（お祭り、もちつき大会など）
８．環境保全や美化活動（公園や緑道等の花壇の手入れ、地域清掃など）
９．スポーツ活動（地域スポーツ大会・教室など）
10．その他（具体的に　　）

■ 運動・スポーツ

問 16　目黒区では、「誰もがスポーツを楽しみ、笑顔あふれるまち“めぐろ”」を目指し、障害の有無や年齢、性別、国籍等に関わらず誰もが参加できる「インクルーシブスポーツ」を推進しています。あなたは、障害者手帳※をお持ちですか。（あてはまるもの１つに○）

１．はい	２．いいえ

※障害者手帳とは、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を指しております。身体障害者手帳は、身体の機能に一定以上の障害があると認められた方に交付されます。視覚障害、聴覚障害、音声言語障害、肢体不自由、内部障害等があります。

※愛の手帳は、知的障害者（児）の障害の程度を総合判断し、１度から４度に区分して記載する手帳で、東京都が交付している療育手帳です。

※精神障害者保健福祉手帳は、精神障害のある方が、一定の障害にあることを証明するもので、精神障害のため日常生活や社会生活に制約のある方が申請することにより交付されます。

問 17　あなたは、この１年間にどのくらいの頻度で運動やスポーツを行いましたか。（あてはまるもの１つに○）

１．ほぼ毎日	２．週に２～３回程度	３．週に１回程度
４．月に２～３回程度	５．年に数回程度	６．ほとんど行わなかった

（問 17 で「１」～「５」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問 17-１　どのような運動をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

１．ランニング（ジョギング）、ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩、意識的な階段利用などを含む）
２．体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニング、パルクールを含む）
３．球技（キャッチボール、卓球、ドッジボール、バドミントン、テニス、バレーボール、サッカー、フットサルなど）
４．ボクシング、レスリングなど格闘技及び柔道、剣道、空手、相撲、合気道など武道
５．陸上競技
６．室内運動器具（ウエイト器具、ランニングマシーン、バランスボールなど）を使う運動
７．水泳（水中歩行、水中運動を含む）
８．登山、クライミング、ボルダリング
９．ダンス（フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、民謡踊り、ヒップホップ、ブレイキン、車いすダンスを含む）
10．その他（具体的に　　）

（問 17 で「4」～「6」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問 17-2　この１年間にスポーツや運動を行わなかった、または実施した頻度が週に 1 日に満たなかったのはどのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

1．仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから	2．身近に場所や施設がないから
3．お金がかかるから	4．年をとったから
5．仲間がいないから	6．機会がなかったから
7．面倒だから	8．移動手段が確保できないから
9．病気やケガをしているから	
10．その他（具体的に　　）	

問 18　あなたは、スポーツを通じて健康になっていると感じますか。（あてはまるもの１つに○）

1．とてもそう思う	2．ややそう思う	
3．あまりそう思わない	4．まったくそう思わない	5．わからない

問 19　あなたは、スポーツを通じたつながりが創出されていると感じますか。（あてはまるもの１つに○）

1．とてもそう思う	2．ややそう思う	
3．あまりそう思わない	4．まったくそう思わない	5．わからない

問 20　あなたは、スポーツを通じて幸福感を感じますか。（あてはまるもの１つに○）

1．とてもそう思う	2．ややそう思う	
3．あまりそう思わない	4．まったくそう思わない	5．わからない

問 21　あなたは、この１年間にスポーツ観戦をどのくらいの頻度で行いましたか。（あてはまるもの１つに○）

1．ほぼ毎日	2．週に２～３回程度	3．週に１回程度
4．月に２～３回程度	5．年に数回程度	6．ほとんど行わなかった

（問 21 で「1」～「5」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問 21-1　この 1 年間でスポーツ観戦を行った方法を選択してください。（あてはまるものすべてに○）

1．現地観戦	2．テレビ	3．インターネット配信
4．ラジオ	5．その他（具体的に　　）	

問 22　あなたは、この１年間にスポーツを支える活動をどのくらいの頻度で行いましたか。（あてはまるもの１つに○）

1．ほぼ毎日	2．週に２～３回程度	3．週に１回程度
4．月に２～３回程度	5．年に数回程度	6．ほとんど行わなかった

※スポーツ関連イベント等のボランティアのほか、クラブ等での競技指導、スポーツ系の習い事の送り迎え等も含みます。

（問 22 で「１」～「５」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問 22-１　この１年間に行ったスポーツを支える活動の種類を選択してください。
（あてはまるものすべてに○）

1．スポーツ活動などの運営や支援（クラブ・スポーツ団体等の活動、町会・地区のイベント、学校施設開放等の活動）
2．スポーツを通じたボランティア（スポーツ大会などの活動）
3．スポーツイベントでの募金やオークションなどのチャリティ活動
4．スポーツ団体・選手への寄付・クラウドファンディング等への参加
5．子どものスポーツや運動の部活動やクラブ等の運営や支援（試合の審判・応援、地域等のスポーツチーム監督・コーチなど）
6．スポーツ選手・チームの応援（サポーターなど）
7．仕事としてスポーツに関わっている（インストラクター、教員、スポーツ用品販売員、イベント協賛事業への従事者など）
8．スポーツをしている子どものグループの送り迎え
9．その他（具体的に　　）

■ 多文化共生

問 23　多様性を認め合う地域社会の実現について重要だと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

1．重要である　　2．まあ重要である　　3．あまり重要でない
4．重要でない　　5．わからない

問 24　過去１年間で、コンサートや美術展、映画、文化財、アートや音楽のフェスティバル等の芸術文化イベントを、美術館や博物館、映画館、劇場、ホール、図書館、公共施設、公園、広場等の現地で鑑賞しましたか。（あてはまるもの１つに○）

1．はい　　2．いいえ

問 25　過去１年間で、美術館や博物館、劇場、ホール、図書館、公共施設、公園、広場等の現地で、美術展、演劇公演、音楽のコンサートやフェスティバル等に出演・参加・体験しましたか。（習い事やサークル活動等も含みます。）（あてはまるもの１つに○）

1．はい　　2．いいえ

■ 福祉・子育て

問 26　あなたは、安心して介護や育児をするためには、どのような支援が必要だと思いますか。
（あてはまるもの３つまでに○）

1．介護（または育児）と仕事の両立に関する情報提供の充実
2．介護や育児に関する情報提供の充実
3．介護や育児に関する総合的な相談支援窓口の充実
4．相談支援窓口の夜間・休日等開設時間の拡充
5．介護や育児の費用負担の軽減（経済的支援）
6．日常の生活支援サービスの充実（家事援助や通院の付き添いなど）
7．居住する地域の支援（地域による見守りや子育て支援等）
8．介護者等が休養できるサービスの充実（ショートステイや一時預かりサービスなど）
9．緊急時に利用できるサービスの充実（緊急ショートステイや一時預かりサービスなど）
10．家族会や介護者の会など当事者や経験者同士が気軽に相談し合える場の充実
11．介護・障害者支援・育児のサービスや施設の整備充実
12．その他（具体的に　　）
13．特にない
14．わからない

■ 都市計画・街づくり

問 27　「生物多様性」について知っていますか。（あてはまるもの１つに○）

１．意味を理解している	２．言葉は知っている	３．知らない

問 28　身近ないきものやみどりを守り育てるために、あなたが現在取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

１．いきものが訪れる、花や実がなる植物などを庭やベランダなどに植えている
２．公園や緑道を散歩したり、健康遊具などを利用し、健康的な運動習慣を作っている
３．公園で開催される講座やボランティアなどに参加し、いきものやみどりに関わる楽しさを体験している
４．東京産の野菜や果物を食べて、エシカル消費※を実践している
５．いきものやみどりについて学んだことを周りの人に伝えている
６．身近ないきものやみどりを観察したり、情報を共有や発信したりしている
７．サクラ基金への寄付など、サクラの保全事業に参加している
８．その他（具体的に　　）
９．特にない

※エシカル消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと

問 29　魅力あるみどりのまちづくりのために、あなたが協力できること、やってみたいことは何ですか。（もっともあてはまるもの１つに○）

１．自宅の庭や玄関などで植物を育てる
２．屋上や壁面を緑化する
３．庭に樹木を植える
４．建て替えの際に樹木をできるだけ保全する
５．公園や緑道などで花壇の世話や清掃などのボランティア活動に参加する
６．サクラ基金への寄付など、サクラの保全事業に参加する
７．みどりの普及啓発活動に参加する
８．自然と親しむため、身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する
９．その他（具体的に　　）
10．特にない

問 30　公園の魅力を向上させるために、あなたが必要だと思うことは何ですか。（もっとも必要だと思うこと１つに○）

１．四季折々の花やみどりが感じられること
２．障害のある子もない子もだれもが一緒に遊べる環境づくり
３．工作、泥んこ遊びなど、子どもが屋外で自由な遊びができる環境づくり
４．キャッチボールなどのボール遊びができる環境づくり
５．健康遊具の設置など公園を利用した健康づくりができること
６．飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること
７．花壇づくり、農作業など、土に触れることができること
８．災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実
９．自然観察や環境学習ができること
10．その他（具体的に　　）

問 31　あなたは、外出時の交通手段に不便を感じていますか。（あてはまるもの１つに○）

１．不便を感じている　　２．特に不便はない

（問 31 で「１」と回答した方にお尋ねします。）

問 31-１　あなたが、外出時の交通手段に不便を感じていることは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

１．公共交通機関までのアクセスが悪い
２．バスの利用が不便
３．タクシーの利用が不便
４．シェアサイクルや電動キックボードなどの利用が不便
５．使いやすい公共交通の選択肢がない

■ 地球温暖化対策

区では２０５０年ゼロカーボン（脱炭素）シティの実現を目指すことを表明し、「目黒区環境基本計画」に基づき地球温暖化対策を推進しています。

問 32　あなたは、地球温暖化を防止するために、今後何を優先して行いたいと思いますか。
（あてはまるもの３つまでに○）

１．節電・節水などの省エネルギー行動
２．環境に配慮した製品（省エネ家電など）の購入
３．太陽光発電システムなどの再生可能エネルギー設備の設置
４．住宅の省エネルギー性能を向上させるリフォーム・改築等
５．再生可能エネルギー由来の電力の購入
６．エネルギー使用量の「見える化」等によるエネルギー管理
７．自動車・自動二輪車の使用抑制
８．ごみの減量、リサイクル
９．屋上緑化や身近なみどりを増やす
10．環境学習講座や環境イベントへの参加
11．その他（具体的に　　）
12．特にない

問 33　地球温暖化を防止するために、区に特に力を入れて取り組んでほしいと思うことは何ですか。
（あてはまるもの３つまでに○）

１．日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供
２．地球温暖化やその対策にかかる講演会の開催
３．屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成
４．再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成
５．学校での環境教育・学習の推進
６．学校等の区有施設を環境配慮型施設に改築
７．公共交通機関利用やエコドライブの普及、啓発
８．環境にやさしい自動車の率先導入、普及、啓発
９．みどりの保全・創出への取組
10．環境省が提唱する「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の普及、啓発
11．その他（具体的に　　）
12．特にない
13．わからない

■ 生涯学習

区では、「目黒区生涯学習実施推進計画」を策定し、区民一人ひとりが生き生きと主体的に学び、その成果や経験を地域社会に生かすことができる生涯学習社会の実現を目指しています。

問 34　あなたは、この１年間に、生涯学習活動※を行いましたか。（あてはまるもの１つに○）

※生涯学習活動とは、一生を通じて自ら進んで学び続ける活動のことです。具体例は問 34-1 を参照してください。

１．生涯学習活動を行った	２．活動したいと思ったができなかった
３．活動したいと思わなかった	

（問 34 で「１」と回答した方にお尋ねします。）

問 34-１　どのような生涯学習活動を行いましたか。（あてはまるものすべてに○）

１．健康・スポーツ（水泳、ヨガ、体操、ダンス、健康法など）
２．趣味的なもの（楽器演奏、生け花、書道、絵画、陶芸、囲碁、将棋など）
３．教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、講演会など）
４．パソコン、インターネットなどITに関すること
５．生活に役立つ活動に関すること（料理、編み物、和裁、洋裁など）
６．暮らしに役立つ活動に関すること（消費生活、リサイクルなど）
７．仕事に役立つなど、キャリアアップに関すること(資格取得、技能向上など)
８．育児・教育に関すること
９．自然体験など体験活動に関すること
10．図書館の本や資料を利用すること
11．その他（具体的に　　）

（問 34 で「２」「３」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問 34-２　あなたが生涯学習活動をできなかった、またはしなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない
２．生涯学習活動をサポートする仕組みが整っていない
３．（講座など）自分が希望する内容・時期・時間帯がない
４．生涯学習に関する情報が少ない
５．一緒に活動したり学んだりする仲間がいない
６．生涯学習に関心がない
７．健康上の理由で活動が困難
８．その他（具体的に　　）

問 35　あなたが生涯学習を行うために、どんなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの３つまでに○）

１．気軽に参加できる講座や関心がある講座がある
２．講座やサークル活動などの情報が得やすい
３．生涯学習に関心を持つ人が利用しやすい施設がある
４．生涯学習活動をサポートする仕組みがある
５．活動している人同士が交流できる機会がある
６．インターネットなどを使って、家庭等で生涯学習活動ができる環境が整っている
７．その他（具体的に　　）

問 36　あなたはこの１年間に、「これまで学校や社会で得た知識や経験」を生かして地域の活動など（例：地域イベント等で楽器演奏や作品展示を行う、児童館で工作や遊びを教える等）を行いましたか。（あてはまるもの１つに○）

１．既に地域の活動を行った・行っている
２．地域の活動等を行いたいと思っているが、方法が分からない
３．地域の活動等を行いたいとは思わない
４．その他（具体的に　　）

問 37　あなたは、この１年間に、目黒区立の図書館を利用したことがありますか。（あてはまるもの１つに○）

１．利用したことがある	２．利用したことがない

（問 37 で「１」と回答した方にお尋ねします。）

問 37-１　利用した図書館はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

１．八雲中央図書館	２．大橋図書館	３．中目黒駅前図書館
４．目黒区民センター図書館	５．守屋図書館	６．目黒本町図書館
７．洗足図書館	８．緑が丘図書館	９．めぐろ電子図書館

（問 37 で「１」と回答した方にお尋ねします。）

問 37-２　この１年間でどのぐらいの頻度で利用しましたか。（あてはまるもの１つに○）

１．ほぼ毎日	２．週に２～３回程度	３．週に１回程度
４．月に２～３回程度	５．月に１回程度	６．年に数回程度
７．年に１回程度		

問 38　今後の区立図書館に期待するサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．図書資料の充実
２．電子書籍のコンテンツの充実
３．地域、目黒に関する資料のデジタル化
４．資料相談（レファレンス）の充実
５．読み聞かせ、ブックリストなどによる読書支援サービス （高齢者、児童、青少年、成人一般、赤ちゃん、子育て中、障害のある方、外国人の方など）
６．利用者参加イベント（読書会、講座、クイズラリーなど）
７．閲覧席利用の予約サービスの拡大及び充実
８．データベース提供サービスの充実
９．図書館資料による課題解決支援サービス（ビジネス支援や、医療健康情報、法情報の提供など）
10．開館日・開館時間の拡大
11．静かに勉強できる場所
12．会話をしながらグループで勉強や研究等ができる場所
13．１人で静かに過ごせる場所
14．その他（具体的に　　）
15．特にない

（問 38 で「1」と回答した方にお尋ねします。）

問 38-1　充実を期待する図書資料は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．小説・文芸書	2．入門書・実用書	3．専門書・学術書
4．事辞典類、参考図書	5．新聞・雑誌	6．児童書・えほん
7．外国語資料	8．郷土資料・行政資料	
9．その他（具体的に　　）		

■ 情報推進

問 39　あなたは、区の手続きや相談がデジタル化によって便利になったと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1．思う	2．どちらかと言えば思う	3．どちらとも言えない
4．どちらかと言えば思わない	5．思わない	

問 40　区のＤＸ※の取組の中で、より充実してほしいと思うサービスは何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

※ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）とは、デジタル技術を活用して、あらゆる面で生活をより良い方向に変えていくこと

1．窓口でできる行政手続（１つの窓口で複数手続きの完了、１度の書類提出で再提出は不要、キャッシュレス決済）
2．オンラインでできる行政手続（24時間、365日のオンライン手続申請、受付）
3．必要としている情報のオンライン提供サービス（自分にあった情報の配信）
4．スマートフォンの活用教室、利用相談会
5．区が保有しているデータの活用（防犯・防災、人口、地図データなど）
6．オンラインを活用した個別相談会の実施
7．その他（具体的に　　）

問 41　行政手続のオンライン化について、オンライン化した方がよいと思う分野は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．戸籍・住民登録	2．妊娠・子育て
3．教育・学校	4．国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金
5．健康・介護・福祉	6．税金
7．ごみ・リサイクル	8．防災・防犯・安全
9．その他（具体的に　　）	
10．行政手続のオンライン化は必要ない	

■ 広報・ウェブサイト

問 42　あなたは、日ごろ、区政情報をどのように入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

1．めぐろ区報（自宅に配布されたもの）
2．めぐろ区報（区施設や駅、金融機関やコンビニエンスストアなど公共施設に置いてあったもの）
3．めぐろ区報（区公式ウェブサイトにあるPDF版）
4．くらしのガイド
5．リビングガイド（「くらしのガイド」の外国語版）
6．町会・自治会などの回覧板
7．掲示板
8．区施設の窓口や掲示板などにおけるチラシやポスター
9．区公式ウェブサイト（スマートフォン・タブレット）
10．区公式ウェブサイト（パソコン）
11．区公式X
12．区公式LINE
13．区公式YouTube
14．新聞・テレビ・ラジオなどのマスメディア
15．インターネットニュースやSNS、アプリなどのデジタルメディア
16．口コミ
17．その他（具体的に　　）

問 43　あなたは、現在の「めぐろ区報」の紙面に満足していますか。（あてはまるもの１つに○）

1．満足	2．どちらかと言えば満足	3．どちらとも言えない
4．どちらかと言えば不満	5．不満	6．読んでいない

（問 43 で「４」「５」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問 43-１　あなたは「めぐろ区報」のどんなことに不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1．必要な情報、ほしい情報が少ない	2．発行回数が多い
3．発行回数が少ない	4．ページ数が多い
5．ページ数が少ない	6．その他（具体的に　　）

問 44　区内すべての世帯に紙の「めぐろ区報」をお届けしていることについて、どのようにお考えですか。（あてはまるもの１つに○）

1．良い、評価する	2．どちらかと言えば良い
3．どちらかと言えば評価しない	4．評価しない

問 45　目黒区公式ウェブサイトの満足度について教えてください。（あてはまるもの１つに○）

1．満足	2．どちらかと言えば満足	3．どちらかと言えば不満
4．不満	5．見たことがない	

（問 45 で「1」～「4」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問 45-1　目黒区公式ウェブサイトの使い勝手で改善してほしい点はありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．メニューやカテゴリを分かりやすくしてほしい
2．検索機能を充実してほしい
3．スマートフォンでの表示を改善してほしい
4．ページの読み込み速度を速くしてほしい
5．写真や動画を増やしてほしい
6．その他（具体的に　　）

問 46　目黒区公式 LINE についてお伺いします。あなたは、目黒区公式 LINE の友だち登録をしたことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

1．登録したことがあり、現在も友だちである　　2．登録したことがない
3．登録したことはあるが、既にブロックした

（問 46 で「1」と回答した方にお尋ねします。）

問 46-1　あなたは、現在の目黒区公式 LINE に満足していますか。（あてはまるもの1つに○）

1．満足　　2．どちらかと言えば満足　　3．どちらとも言えない
4．どちらかと言えば不満　　5．不満

（問 46 で「2」と回答した方にお尋ねします。）

問 46-2　あなたが、目黒区公式 LINE を友だち登録したことがない理由を教えてください。
（あてはまるもの1つに○）

1．LINEを使っていない
2．LINEを使っているが、友だち登録をする必要性を感じない
3．LINEを使っているが、友だち登録したくない

（問 46 で「3」と回答した方にお尋ねします。）

問 46-3　あなたが、目黒区公式 LINE をブロックした理由を教えてください。
（あてはまるものすべてに○）

1．必要な情報、ほしい情報が少ない
2．区から情報が届く頻度が多すぎる
3．使用感が悪い、使いづらい
4．新型コロナウイルスのワクチン接種の予約以外では使うつもりがなかった
5．その他（具体的に　　）

問 47　今後、目黒区公式 LINE に期待することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．情報・メッセージの配信の充実
2．AIチャットボットにより、24時間、自動でさまざまな問い合わせに対応
3．住民票の写しや納税証明書の請求など、申請行政手続きのオンライン化
4．粗大ごみ収集の申し込み、処理手数料のキャッシュレスによる支払い
5．災害発生時の情報収集、災害情報などの緊急連絡の伝達
6．給付金などの申請、デジタル通知、デジタル送金
7．がん検診や幼児健診などの予約機能
8．その他（具体的に　　）
9．特に期待はない

■ 自転車の安全利用

問 48　あなたは日常生活の中で、自転車を利用していますか。（あてはまるもの１つに○）

１．はい　　２．いいえ

（問 48 で「１」と回答した方にお尋ねします。）

問 48-１　あなたは、自転車を安全に利用するために、どのような意識を持っていますか。（あてはまるものすべてに○）

１．自転車は道路交通法で軽車両であり、子どもや高齢者を除き車道走行が原則であることを知っている
２．交通ルール、マナーを理解し守っている
３．事故を起こした際の高額な損害賠償の事例を知っている
４．対人・対物の自転車保険に加入すべきであると考えている
５．利用する際はヘルメットを着用すべきであると考えている
６．令和8年4月から傘さしなどのながら運転等が反則金(青切符)の対象となったことを知っている
７．その他（具体的に　　）

（問 48 で「１」と回答した方にお尋ねします。）

問 48-２　あなたは自転車保険に加入していますか。（あてはまるもの１つに○）

１．自転車店のTSマーク以外の単体の自転車保険に加入している
２．自動車保険や火災保険の特約に加入している
３．職場などの団体保険に加入している
４．自転車店で購入や点検の際、保険に加入している
５．加入していない
６．わからない

（問 48 で「１」と回答した方にお尋ねします。）

問 48-３　あなたは自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。（あてはまるもの１つに○）

１．日常的に着用している
２．着用する時としない時がある
３．着用していない

（問 48-３で「２」「３」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問 48-３-１　あなたがヘルメットを着用しない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

１．必要性を感じていない
２．着用が面倒くさい
３．髪型が崩れる
４．着用している人が少ない
５．罰則がない
６．ヘルメットを購入する金銭的負担が大きい
７．その他（具体的に　　）

■区の政策など

問 49　あなたは、区の施策についてどのように思いますか。下表の１～３０の中からそれぞれ５つまで選び、番号を記入してください。（それぞれあてはまる施策の番号を５つまで記入）

問 49-１　良いと思うところ

問 49-１　回答欄				

問 49-２　悪いと思うところ

問 49-２　回答欄				

問 49-３　優先して行ってほしいところ

問 49-３　回答欄				
１位	２位	３位	４位	５位

番号	施　策	内　　容
1	防災	避難所整備、食糧・水・防災資機材の備蓄など
2	防犯	犯罪に強い街づくりの強化、地域安全パトロールの推進
3	交通安全	交通安全の啓発、カーブミラー・ガードレールや歩道の整備など
4	道路整備	道路の維持管理、都市計画道路の整備など
5	都市整備	都市計画、都市景観の整備、地区計画、建物の不燃化促進、駅周辺整備など
6	住宅	公営住宅等の供給、家賃助成、住宅に関する相談など
7	公園・緑化	公園や緑道の整備、生垣づくりや屋上緑化の助成、身近な自然の啓発など
8	放置自転車	駐輪場の整備、放置自転車の撤去など
9	保健・医療	健康診断や健康づくり、在宅療養の支援、食品衛生、環境衛生など
10	子育て支援	保育園・児童館・学童保育クラブの整備や充実、子育ての相談、児童虐待への対応など
11	高齢者福祉	在宅生活支援、生きがい対策、高齢者福祉施設の整備、介護保険など
12	障害者福祉	障害福祉サービスの充実、障害福祉施設の整備、障害理解・差別解消の推進、建物のバリアフリー化推進など
13	低所得者支援	就労相談の充実、生活の援助や自立支援など
14	環境保全	公害対策、地球温暖化対策、ポイ捨て防止対策や路上喫煙禁止対策など
15	清掃・リサイクル	ごみの収集、資源の分別回収・ごみ減量の推進など
16	河川環境整備	河川の水質浄化、川沿いの通路や橋の環境整備など
17	学校教育	小中学校や幼稚園・こども園の整備、特色ある学校づくり、教育内容の充実など
18	社会教育	図書館、社会教育館の整備、各種社会教育講座、青少年の健全育成など
19	スポーツ振興	体育館・プール等の整備、各種スポーツ教室、健康スポーツの啓発など
20	芸術文化	文化ホール・美術館の整備、コンサート・展覧会の開催、芸術文化活動の支援など
21	人権、男女平等･共同参画	人権尊重、男女平等・共同参画及び性の多様性尊重の推進など
22	消費生活	消費者相談、消費生活情報の提供、各種消費生活講座など
23	情報化推進	区政情報の提供、デジタル技術の活用による区民サービスの向上など
24	コミュニティ	地域活動支援、隣近所との交流や助け合いなど
25	産業振興	区内事業者への融資あっせん、商工相談、工業・農業振興、商店街活性化の支援など
26	行政運営	区政の透明性向上、契約事務改善、情報公開・個人情報保護など
27	行財政改革	事務事業や職員数の見直し、組織改正など
28	国際化推進	国際交流、外国人への支援、平和記念事業など
29	自治体交流	他の自治体の市民との交流、災害時の相互協力など
30	観光	観光資源の発掘と活用、訪れたいまちへ向けた環境づくりなど

問 50　あなたは、区政には区民の意見が十分に反映されていると感じていますか。
（あてはまるもの１つに○）

1．そう思う
2．ややそう思う
3．あまりそう思わない
4．そう思わない
5．わからない

問 51　区政について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

■ あなた自身のことについて

問 52 あなたご自身についてお答えください。

（1）性別（あてはまるもの1つに○）

※この調査では、回答結果を統計的に処理するために性別の選択肢を「男性・女性」の二択としています。回答に当たっては、自分の自認する性別を選んでください。自認する性別がどちらでもない方は、住民登録上の性別をお答えください。

1．男性	2．女性

（2）年齢（満年齢）（あてはまるもの1つに○）

1．10代	2．20代	3．30代	4．40代
5．50代	6．60代	7．70代	8．80代以上

（3）お住まいの地区（あてはまるもの1つに○）

地区名	該当する町丁名
1．北部地区	駒場 1～4 丁目、青葉台 1～4 丁目、東山 1～3 丁目、大橋 1～2 丁目、 上目黒 1 丁目 1 番・6～22 番、2 丁目 46～49 番、3 丁目 1～3 番・6～44 番、 5 丁目
2．東部地区	上目黒 1 丁目 2～5 番・23～26 番、2 丁目 1～45 番、3 丁目 4～5 番、 中目黒 1～4 丁目、5 丁目 1～7 番・22～23 番、 三田 1～2 丁目、目黒 1～3 丁目、下目黒 1～6 丁目、目黒本町 1 丁目
3．中央地区	上目黒 4 丁目、中目黒 5 丁目 8～21 番・24～28 番、目黒 4 丁目、 中町 1～2 丁目、五本木 1～3 丁目、祐天寺 1～2 丁目、中央町 1～2 丁目、 碑文谷 5～6 丁目、鷹番 1～3 丁目
4．南部地区	目黒本町 2～6 丁目、原町 1～2 丁目、洗足 1～2 丁目、 南 1～2 丁目、碑文谷 1～4 丁目
5．西部地区	南 3 丁目、平町 1～2 丁目、大岡山 1～2 丁目、緑が丘 1～3 丁目、 自由が丘 1～3 丁目、中根 1～2 丁目、柿の木坂 1～3 丁目、 八雲 1～5 丁目、東が丘 1～2 丁目

（4）ご職業（主なもの1つに○）

1．自営業・事業主	2．常勤の勤め人	3．パート・アルバイト
4．自由業	5．学生	6．主に家事に従事
7．無職	8．その他（具体的に	）

（5）世帯の構成（あてはまるもの1つに○）

1．一人暮らし	2．夫婦のみ
3．二世代家族（親と子ども）	4．三世代家族（親と子どもと孫）
5．その他（具体的に	）

（6）配偶者（事実婚のパートナーを含む）（あてはまるもの1つに○）

1．配偶者がいる	2．配偶者がいない

（6）-1（（6）で「1」と回答した場合にお答えください。）

1．共働き（パート・アルバイトを含む）をしている	2．共働きではない

（7）ご家族には次に該当する方がいらっしゃいますか。（それぞれ1か2のどちらかに○）

	いる	いない
就学前の乳幼児	1	2
小・中学生	1	2
65 歳以上の方（ご本人を含みます）	1	2

（8）お住まいの住宅の種類（あてはまるもの1つに○）

1．一戸建持家	2．分譲マンション
3．一戸建借家	4．賃貸の鉄筋アパート・マンション
5．賃貸の木造アパート	6．都営・区営住宅などの公営住宅
7．社宅・公務員宿舎など	8．同居・間借り・住み込みなど
9．その他（具体的に	）

― 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。―

※ 返信用封筒に入れて、6月30日（火）までにご投函をお願いいたします。

第４８回　目黒区世論調査

令和８年１１月発行
発行　目黒区
編集　目黒区　企画経営部　広報広聴課
東京都目黒区上目黒二丁目１９番１５号
電話　０３（５７２２）９４１６

調査委託先　株式会社リサーチワークス
東京都中央区新富1丁目14番3号 STUDIO南八丁堀1F
電話　０３（６８３３）４６４１

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。